

令和7年度 松本市小中学校 環境教育支援事業 報告書



松本市

松本市小中学校環境教育支援事業について

1 本事業について

学校における環境教育の推進を図るため、環境分野の専門性を持つ地域の企業・団体等が外部講師となる「環境学習プログラム」を小中学校へ紹介しています。

平成22年度から、民間（環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク）、松本市教育委員会、松本市の3者による協働事業として実施しています。

2 経過

令和7年5月15日 松本市小中学校教頭会で周知
小中学校へプログラム一覧配布、随時実施

3 実施状況（令和8年3月現在）

- (1) 実施校 17校（小学校17校）
- (2) 実施人数 1,767人
- (3) 実施事業 30事業（19種類）
- (4) 実施団体 14団体

4 報告書目次

- (1) 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書 1～73頁
- (2) 令和7年度学習プログラム一覧 74～97頁
- (3) 信州の環境学習サポートサイト 紹介 98頁
- (4) 【附録】松本市環境・地域エネルギー課からのお知らせ 99～100頁

【表紙写真】

左：安曇小学校

「水殿ダムラフトピクニック」

中央：梓川小学校

「自然素材で簡単工作」




右：並柳小学校

「山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境」

令和7年度 松本市小中学校環境教育支援事業 報告書一覧

No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
1	並柳小	25 水辺の観察会	NPO法人えんどっこ	2学年 (27)	7/4	1
2	安曇小	30 水殿ダムラフトピクニック	合同会社リトルピークス	5年 (8) 6年 (5)	7/9	2~3
3	清水小	28 女鳥羽川大好きリバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (83)	7/1	4~7
4	大野川小	28 地元の川大好きリバーアドベンチャー (小大野川)	合同会社リトルピークス	3年 (3) 4年 (6)	7/10	8~10
5	鎌田小	27 川の生き物研究プロジェクト	松本ホテル学 (まなぶ) 会	4年 (30)	7/14	11~12
6	梓川小	30 水殿ダムラフトピクニック	合同会社リトルピークス	4年 (104)	6/27	13~14
7	梓川小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	4年 (103)	7/11	15~16
8	並柳小	3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境	認定NPO法人信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ	5年 (47)	5/22 6/6	17~19
9	梓川小	14 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	5年 (112)	7/17	20~23
10	梓川小	37 体験！体感！外あそび！！	信州やがいたいけん楽校がらす	5年 (112)	7/17	24~28
11	源池小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (47)	9/1	29~30
12	開智小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	2年 (80)	9/12	31~34
13	開智小	29 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	3年 (86)	9/12	35~37
14	信大附属小	8 学校の地下はどうなってる？知ろう触ろう	株式会社 サクセン	3年 (34)	9/5	38~39
15	開智小	13 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドル作り	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	特別支援学級 (12)	12/18	40
16	源池小	35 いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファームin松本推進協議会	3年 (29)	10/1	41
17	波田小	31 地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス	5年 (135)	9/3.4	42~43
18	中山小	13 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと)	特別支援学級 (5)	12/16	44
19	波田小	38 体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	特別支援学級 つつじ 3.4.5組 (18)	11/14	45
20	波田小	32 里山ってどんなところ？林業でどんな仕事？	株式会社 柳沢林業	4年 (31)	12/1	46~47
21	波田小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	4年 (121)	9/16	48~49
22	並柳小	18 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局 下水道課	4年 (42)	6/26	50
23	波田小	7 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス	3年 (172)	9/9	51~52
24	波田小	28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス	3年 (172)	9/19	53~59
25	二子小	14 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	特別支援学級 (22)	11/12	60

No.	学校名	講座番号、講座名	講師	学年 (人数)	実施日	頁数
26	二子小	14 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん	2年 (21)	9/25	61~62
27	二子小	12 めかくどご飯炊き体験	信州やがいたいけん楽校がらす	3年 (32)	12/12	63~64
28	安曇中	10 気候変動 大人の責任【ゼロカーボン学習プログラム】	自然エネルギーネットまつもと	3年 (6)	1/19, 1/29, 2/24	65~69
29	島内小	21 手作りろ過機で飲み水作り (水の循環と森の役割を学ぶ)	すえなみBC防災スクール	5年 (34)	10/27, 11/4, 11/11	70~71
30	安曇小	31 地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス	5年 (8)	2/26	72~73

授 業 名	川の生き物探し		
学校名、学年、学級	松本市立並柳小学校2年	参加人数	53人
担当者	鈴木真弓 窪田隆央	記入者	鈴木真弓
実施日（期間）	令和7年7月4日		
講師名	NPO法人えんどっこ 大月 健二氏		
実施概要	学校付近の用水路に住む生き物を採集し、観察した。		
実施状況 （授業風景）	<p>大月さんが、活動のための道具を貸して下さったり、川に向かう前に生き物の探し方のヒントを子どもへ教えてくださったりしたことで、どの子もわくわくした表情で川に入りました。川の壁側に生き物がいることがわかると、「いた！」と嬉しそうに網を動かして探し、友だちと見つけた生き物を見せ合ったり、大月さん生き物の名前を覚えてもらったりしてました。</p>  <p>最初は、「生き物は、捕まえたことがないし、今日も見つけれないと思う。」と、不安そうだった児童も、だんだんにコツをつかんで、「初めてドジョウを見たよ！」と、目をキラキラさせていました。</p>  <p>最後に、みんなで捕まえた生き物を集めて、「ミニ水族館」をしました。大月さんが、生き物を透明なカップに入れて、子どもたちに見えるようにしながら、名前や特徴を教えてください、子どもたちは「オニヤンマのやごは初めて見たよ！○さん、よく見つけたね！」と、お互いの頑張りを認め合いながら、大月さんの話を夢中で聞いていました。</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物を初めて自分で見つけて、捕ることができて、うれしかった。 ・友だちと一緒に、川に入って生き物を探せて、楽しかった。 ・大月さんはなんでも知っていて、見つけた生き物の名前も教えてくれて、勉強になった。 ・生き物がどこにいるか見つからなかった時、大月さんが見つけ方を教えてくれて、ドジョウが見つかったのでうれしかったです。 ・川に色々な種類の生き物がいて、とてもすごいと思ったので、これからも生き物が生きていけるように、川にごみを捨てないようにしたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが興味を持って、自分の地域の川に入り、意欲的に学習活動ができ、とてもよい経験になった。 ・暑い中だったので、30分の生き物探しの活動と、10分のミニ水族館の時間でちょうどよかった。 ・講師の大月さんが、子どもたちに温かく接してくだり、網も全員分準備して下さってありがたかった。 		

授 業 名	水殿ダムラフトピクニック		
学校名、学年、学級	安曇小学校5, 6年	参加人数	児童12名 職員3名
担当者	横山 享司	記入者	横山 享司
実施日(期間)	令和7年7月9日(1日)		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏 笠松氏		
実施概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 河岸段丘稲核地区の地形とそこにつくられたダムの仕組みと役割 2 流れる水と止まっている水の違い体感 3 伏流水である水殿川の観察 4 親水体験 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>1 5年生は一週間前に乗鞍登山キャンプで指導して下さった両氏に再会。6年生は昨年のラフティング以来の再会だ。まず、1970年竣工した水殿ダム建設時に同じ素材を使って設置したコンクリートブロックを見学。このブロックの劣化状況から、実際のダムが現在どうなっているか予想できるようになっている。奥にはダム建設時に資材を運ぶために使った足場のコンクリートがそのまま残されていることも確認できた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>2 本プログラムの3日前に梓川で高校生が亡くなったことを想起し、「水の怖さや自然の危険を正しく知りそれに対応することが大切」と小峰氏より学んだ。ラフティングボートを膨らませて浸水。水深は80m。水深が10m以上になると日光が当たらないためダム湖の水温は低い。この後、子ども達はダム湖に飛び込んで水の冷たさを実感した。水の中に入ると子ども達は自力でボートに戻ることはできない。友達にライフジャケットを引っ張ってもらって戻ってくる。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>3 ダム湖の対岸にある水殿川に上陸。この上流は水が流れているが、この場所はダムができたことによって礫が堆積しているため、伏流水となっている。子ども達は水が湧き出しているところまで歩いて観察した。泥岩やチャートなどが確認された。見上げると東京電力が点検のために設置したつり橋が見える。</p> </div> </div> </div>		

実施状況
(授業風景)



4 水殿川に飛び込んだ子ども達。水殿ダム湖と比べて温かいことが体験できた。「滞留しているダムの水は半分死んでいる。一方で水殿川の水は生きている」と小峰氏は語った。魚や石の観察、水切りなど思い切り親水体験をし、

ボートを漕いでスタート地点に戻った子ども達の顔は笑顔に変わっていった。

5年生は昨年度学校近くの梓川、6年生は奈良井川と梓川の合流地点で「流れる水」の体験をしていた。今回は「止まっている水」を初めて体感した。発電のためにダムが建設され、60年前の川と状況が異なっていることを推察することができた。梓川右岸の山の上には、関東方面への送電線を見ることができた。また、両学年とも上高地や梓川の地質について関心をもっているので、水殿川の石から上流の霞沢岳の様子も思い浮かべることができただろう。秋には霞沢発電所と大正池浚渫の見学を予定している。




授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

ダムの水が想像以上に冷たくて最初に入ったらギャーっとなってしまいました。水に飛び込むと一瞬体が沈んですぐにプカッと浮くのでライフジャケットって大切だなと思いました。最初は怖かったけど人の体は浮くからパニックにならないことが大切だなと思いました。水殿川にはきれいな石がたくさんありました。水切りしやすい丸くて平たい石は泥岩でした。やっぱりチャートは角張っていました。

2 先生方の感想、要望等


安曇地区の地形と地質も関心をもつ子ども達が、実際にダム湖に入り、水の温度や滞留を体感できた経験は非常に大きい。単に「楽しい」だけでなく「水の特長・役割・怖さ」等について、体で感じる事ができていた。また、昨年度までの地質の学びや秋に予定している発電の学びにも結びつけて考えるよい機会となった。こうした本校のカリキュラムを鑑みたと、子ども達に体験を通した学びの場を提供して下さったりトルピークスの小峰氏には心より感謝している。

授 業 名	女鳥羽川大好きリバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立清水小学校 2学年1組	参加人数	29名
担当者	岩倉 茂孔	記入者	工藤 尚美
実施日（期間）	令和7年7月1日		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	虫の探し方、川の危険と楽しさを知る。 自分たちの地域の楽しいもの、魅力を知る。		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>ヘルメットとライフジャケットを着用し、川遊びの楽しさや危険なことについて教えていただきました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>生き物の捕まえ方を教えていただき、網を使って生き物を探しました。小エビやヤゴなどが取れて、とても嬉しそうでした。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>浮き方を教えていただきました。クロールで泳いでいる人もいて、とても気持ちよさそうでした。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid #ccc; padding: 5px;"> <p>足がつかないところに入ること、川の怖さ体験しました。</p> </div> </div> </div>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前より女鳥羽川のことがとても大好きになりました。またいろんなことを教えてください。 ・えびとかの生き物をとることやおくから流れるのが楽しかったです。 ・深いところが怖くて、びっくりしました。 ・生き物の捕り方や川の楽しさを教えてくれてありがとうございました。 ・とても楽しかったようで、また行きたいという人が多かったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女鳥羽川のことについて、子どもでもわかりやすい話をしていただいて、楽しく学ぶことができました。 ・生き物は、草の下辺りにいるということを子どもたちも、私自身も初めて知りました。あんなに生き物がある川はあまりないと思うので、綺麗な川であることを実感しました。 ・川の楽しさや怖さを学ぶことは、学校生活ではできないことなので、子どもたちにとって貴重な体験となりました。 ・講師の方が大勢いてくださったおかげで、安心して学ぶことができました。ありがとうございました。
---------------	--

環境教育支援事業実施報告書


【番号：3-2】

<p>授業名</p>	<p>女鳥羽川大好きリバーアドベンチャー</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立清水小学校 2学年2組</p>	<p>参加人数</p>	<p>27名</p>
<p>担当者</p>	<p>岩倉 茂孔</p>	<p>記入者</p>	<p>横山 香緒里</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和7年7月1日</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス</p>		
<p>実施概要</p>	<p>虫の探し方、川の危険と楽しさを知る。 自分たちの地元の楽しいもの、魅力を知る。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2; padding-left: 10px;"> <p>体を守るためのライフジャケットとヘルメットを借りて、身に着けました。ライフジャケットのひもは、講師の方々にはしっかりとめていただきました。</p> <p>川についての説明を聞きました。危険なことに気がつけば、川はとても楽しいというお話でした。</p> <p>水中の生き物の捕まえ方を教えてもらい、網を持って川に入りました。子どもたちは、エビやカニ、虫などをすぐに捕まえることができました。</p> <p>少し深いところへ歩いて、浮く体験をしました。ライフジャケットのおかげで、空を見て浮くことができ、川の流れを感じていました。</p> </div> </div>		

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の捕まえ方のポイントを教えてくださいました。言われたとおりその方法でやってみました。本当にできました。 ・網で捕るといろいろな生き物がいました。特にヌマエビがいっぱいとれてうれしかったです。 ・エビを捕まえました。すごく小さくて驚きました。 ・網を用意して足でジャバジャバしたら、魚がいました。次は虫のようなものが入っていて、最初はびっくりしました。「それはとんぼの子どものようなものです」と教えてもらって、よかったと思いました。 ・「女鳥羽川は生き物がたくさんいていい場所ですよ」と教えてくださいました。 ・川には急に深い場所もあったから、危険さと楽しさを知れました。 ・クリオネみたいに泳いだり、魚の名前を教えてくださいました。川はそんなに危険じゃないと教えてもらいました。 ・ラッコ浮きが最初こわかったけれど、やってみたら楽しかったです。 ・安全にするためにライフジャケットを用意してくれたから深い場所も行くようになりました。楽しくできたから、川遊びはやっぱり最高です。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女鳥羽川の近くに住んでいる子どもたちもいますが、なかなか川に入って遊ぶ機会はないので貴重な体験をさせていただいてありがたかったです。 ・生き物が好きな子も、少し苦手な子も、いろいろな種類の水中生物が捕まえられることに驚き、喜んでいて、よい学びがあったと思います。 ・安全に遊ぶことができたのは、リトルピークスの方々のご指導のおかげです。本当にお世話になり、ありがとうございました。
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：3-3】

授 業 名	女鳥羽川大好きリバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立清水小学校 2学年3組	参加人数	25名
担当者	岩倉 茂孔	記入者	岩倉 茂孔
実施日（期間）	令和7年7月1日		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	虫の探し方、川の危険と楽しさを知る。 自分たちの地元の楽しいもの、魅力を知る。		
実施状況 (授業風景)	 <p style="margin-left: 20px;">ライフジャケットとヘルメットを装着して、川についての説明を聞きました。川は下流に向かって流れているが、泡が出て白くなっているところは、沈みやすく危険なことを教えてもらいました。</p> <p style="margin-left: 20px;">みんな真剣に話を聞いていました。</p>		



一人ひとりに網をいただいて、虫や魚をさがしました。捕まえ方のポイントを教えてもらって、石を動かしたり、靴でさぐったりして、生き物を捕まえることができました。

小さなえびをたくさん捕まえていました。



おなかを上に向け、手を広げて、川の流れに身を任せ、浮かびました。初めは、怖がっていた子どもも、楽しかったようで、2回目に挑戦していました。



最後にみんなで写真を撮りました。地元の川について、知ることができ、また、安全に気をつけながら川遊びをすることもでき、みんな大満足の様子でした。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等




- ・初めて川遊びをする子どもが多く、講師の先生のお話をしっかり聞き、積極的に活動に参加していました。
- ・自分たちの住んでいる町にある女鳥羽川に、たくさんの生き物がいることを知り、興味をもって生き物をさがしていました。

<子どもたちの感想から>

- ・リトルピークスの人に、「小さな魚はきれいな水の中にいるよ。」と教えてもらいました。小さいかにかをつかまえてうれしかったです。
- ・川は楽しいけれど、危ない所でもあるって教えてもらいました。ライフジャケットを着て、ぷかぷかういたり、顔を上にあげて泳いだりして楽しかったです。
- ・女鳥羽川にかにやえび等の生き物がいるのを初めて知りました。
- ・最初、浮くのがこわいなあと思ったけれど、やってみたら楽しかったです。また、川に行けるといいです。
- ・川が危険だと知りました。かにやえびを見れてうれしかったです。犬かきをして楽しかったです。リトルピークスの方が来てくれて嬉しかったです。

2 先生方の感想、要望等

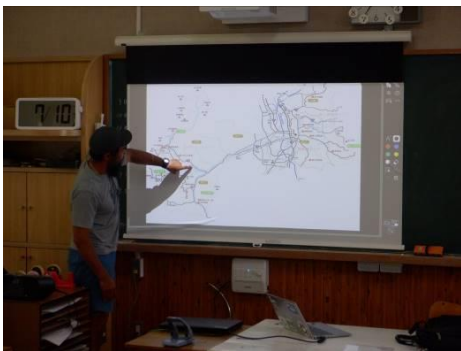

- ・リトルピークスの方が大勢来てくださったおかげで、安全に川遊びをすることができました。
- ・地元の川の魅力を教えていただき、私も大変勉強になりました。
- ・学校の職員だけでは、不安で川遊び連れて行くことはできませんが、リトルピークスの方やe eネットの皆様のおかげで、貴重な体験をすることができました、本当にありがとうございました。

授業名	シャワークライミング		
学校名、学年、学級	松本市立大野川小学校 3・4学年	参加人数	9人
担当者	内城 正登（担任）	記入者	内城 正登
実施日（期間）	令和7年7月10日		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏 笠松 学氏		
実施概要	シャワークライミングをしながら川遊びの面白さを感じるとともに、地元の川の素晴らしさを知る。 水（川）の危険さを教えてもらい、もしもの時の対処法を学ぶ。		
実施状況 (授業風景)	 <p>ウェットスーツに着替えていざ出発！「きつい！動きづらい！」の声が多数ありました。</p> <p>水がかなり冷たいため、まずは自分の後ろの人に水をかけてあげることからでした。たくさんしっかりかけてあげることが愛だということで、たくさんかけました。「きゃー」と言いながらたくさんかけられていました。</p> <p>途中、滑りやすい場所の歩き方や動きやすい石の見分け方などを教えていただきました。子どもたちは手をつき、全身に力をこめながら慎重に沢を登っていききました。</p>   <p>滝つぼにジャンプ。飛び込むまでは恐くて、怖気づいてしまいそうでしたが、飛び込んでしまったら、とても面白かったようで、ほとんどの人が2回目挑戦しました。</p> <p>滝の下の流れが強いところを横断しました。斜め45度に進むのがいいということでした。子どもたちは川の流れの強さを感じながら一生懸命泳ぎました。泳ぎが得意な子でもかなり流されました。川の楽しさと同時にこわさも体感し、命を守る技術を学ぶことができました。</p>		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 みんなシャワークライミングの日を心待ちにしていました。実際にやってみると、途中挫折しそうになり、集団から離れてしまう子もいましたが、インストラクターの方に声をかけてもらいながらゴールまで辿り着くことができました。その他の子については、大変楽しく前向きに活動することができました。またやりたいという声も多かったです。他県から転校してきた子は「乗鞍に来て最高の思い出ができた」と話してくれました。</p> <p>2 先生の感想、要望等 自然や環境に関わるお話を織り交ぜながら様々な体験をさせていただきました。学校の職員だけではできない内容ですので、とてもありがたかったです。学校引率者は1名だけでしたが、インストラクターは2名ついてくださったおかげで、途中、疲れて追いつけない子につきっきりになってもらうことができました。安全面についてもしっかり配慮していただき、最初から最後まで行程を滞りなく進めることができ、大変助かりました。</p>
---------------	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：4-2】

<p>授 業 名</p>	<p>シャワークライミング (梓川 大河の一滴)</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立大野川小学校 3・4学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>9人</p>
<p>担当者</p>	<p>内城 正登 (担任)</p>	<p>記入者</p>	<p>内城 正登</p>
<p>実施日 (期間)</p>	<p>令和7年7月10日</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏 笠松 学氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>「梓川 大河の一滴」のライドショーを見ながらお話をさせていただき、梓川のすばらしさや現在抱えている問題点、わたしたちができることについて学ぶ。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>「梓川 大河の一滴」のライドショーを見ながらお話をさせていただき、梓川のすばらしさを知ることができました。また、川をはじめとする自然が全て自分たちの生活につながっていることを、様々な事例から教えていただきました。今回のお話を通じて、川や自然を守る大切さ、守れるのは自分たちであることを改めてかんがえることができました。</p>		

授業について



1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

終始真剣な表情で話を聞いていました。人工物による自然への影響や生物濃縮などの話を聞いて「川がこんなことになったら心配だ」という考えを持つ子もいました。

2 先生方の感想、要望等

自然や環境に関わるお話を織り交ぜながら様々な体験をさせていただきました。学校の職員だけではできない内容ですので、とてもありがたかったです。

ぜひ3・4学年だけでなく、全校でお話を聞くことで総合的な学習や生活科の学習の手掛かりを得ることができると感じました。

授 業 名	「川の生物研究プロジェクト」 【「信州環境カレッジ」補助事業】		
学校名、学年、学級	松本市立鎌田小学校 4年5組	参加人数	30人
担当者	石澤 和人	記入者	石澤 和人
実施日（期間）	令和7年7月14日（月）		
講師名	藤山 静雄氏 ・ 横山 裕己氏 （松本ホテル学会）		
実施概要	中条橋下（田川および薄川の合流地点）付近における水中生物の採集 採集した水中生物の観察（学校にて）		
実施状況 （授業風景）	 <p>現地に着いたらライフジャケットを身に付け、講師の先生方に水中生物の採集の仕方を教えていただきました。</p>  <p>一人ひとり網を持ち、草の下や石の裏等を中心に採集を行いました。</p>  <p>先生方に教えていただきながら採集を進めました。</p>  <p>学校に戻ってから、採集した生物の種類や数を確認しました。</p>		

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・田川にはどのような生物がいるのかが分かった。
- ・ヌマエビがたくさんいることがわかった。
- ・石の裏に「トビケラ」がたくさんいた。今まで見たことが無い生物でびっくりした。
- ・捕まえた生物の名前を知ることができてうれしかった。
- ・採集した生物から、「田川はややきれいな川」だということがわかった。
- ・この次は、鎌田地区の違う川を調べ田川と比べてみたい。

2 先生方の感想、要望等

社会の水の学習をきっかけに、鎌田地区の川はきれいなのかと疑問を持った子どもたち。指標となる水中生物の有無で、そのことがある程度分かることを知り、今回の活動につながりました。採集結果をもとに、講師の先生から「田川はややきれいな川といえます」というお話を聞きし、「他の川も調べてみたい」「川をもっときれいにしなければいけない」「水中生物を育ててみたい」等々、今後学習や活動が広がっていきそうです。

今回の学習を通して、採集活動の楽しさや観察することの大切さ、そして何よりも自分たちの故郷である「鎌田地区」のすばらしさを感じ取るきっかけをいただけたことを大変うれしく感じています。ありがとうございました。

授 業 名	ラフトピクニック		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年1, 2, 3組	参加人数	104人
担当者	麻和 正志 (町田 都)	記入者	麻和 正志
実施日 (期間)	令和7年6月27日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏		
実施概要	<p>梓川上流東京電力水殿ダム湖にて実施。 梓川小学校児童104名がクラスごと交替でダムに赴き、ダム湖国道側の縁よりラフティングボート5艘におよそ7名ずつ乗船す。 小峰代表率いる合同会社リトルピークスのインストラクターの指示により各自パドルで漕ぎ、ボートをすすめて梓川の支流となる水殿川水源まで渡る。 水殿川水源に上陸し、地形の様子やダムの目的、自然の様子など小峰代表から聴講する。 再びボートに乗船し、対岸のスタート地点まで児童たちが協力して漕ぎ渡る。</p>		
実施状況 (授業風景)		ダム湖にラフトボートで繰り出す	
		水深60mの水殿湖水を5人から7人の児童が乗船し、周辺の地形の様子などをインストラクター氏より聞く。	
		水殿ダムに流れ込む支流である水殿川の上流まですすむと、干上がった源流にたどり着く。そこで上陸し、小峰氏から川の流れについて説明を聞く。	
		再びボートに乗船。水殿ダムを横に見ながらスタート地点へと漕いで渡る。	

授業について




・梓川地区にとって水田の源であり、生きる糧として古より身近に感じてきた梓川。その上流を実際に訪れ、水を深くたたえたダムがある実態に触れるだけでも価値のある体験だ。


・インストラクターの指導により、ヘルメットに救命胴衣を児童たちは身につけ、自ら握るパドルで漕ぎ、湖水に乗りだす体験は梓川を身近に感じているとはいえ、大変な冒険である。国道から眺める風景と全く違う方向から水殿ダム湖をとらえ、水の深さとその水量の多さを実感したことだろう。回転してしまったり、バックしたりとイメージしているのとは違うボートの動きに戸惑いながらも息を合わせ、次第に前方へと進んでいくボートの乗り心地に、少しの恐怖感と、快適さを児童たちは感じていた。協力による成果と自らの力で水面を滑っていく心地よさに興奮したことであろう。


・実際に水中に入り込む児童もおり、「俺は泳げないだった」と改めて実感。救命胴衣のありがたさと水のこわさ、引っ張ってボートに戻してもらったありがたさをいっぺんに感じていた。なおこの児童は水泳の授業では当初5mも泳げなかったが、この体感を基盤としてシーズン中に25m達成を叶えることができた。




・地上からは降り立てない水殿川の源流地面まで深く進み、上陸する体験により児童たちは人知の及ばない自然の驚異を目の当たりにし、そこをさらに徒歩で何日もさかのぼれば上高地にたどり着くと知らされ、地形の変化や方向性の神秘を感じることとなった。

・総括として、間近に自分たちの住む地域の水源の源流を自らの手で漕いで感じる体験は地元の財産であり、取り囲む環境に触れる大変貴重で得るものが大きかった。聞くと100%の児童がこの事業は印象に残り、将来人生の役に立つ時がくると実感していた。





授 業 名	リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	松本市立梓川小学校 4年1, 2, 3組	参加人数	103人
担当者	麻和 正志 (町田 都)	記入者	麻和 正志
実施日 (期間)	令和7年7月11日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏		
実施概要	<p>長野県松本市梓川倭4262-1付近の梓川河川で実施。 梓川小学校児童103名がクラスごと交替で現地に徒歩で赴き、付近駐車場より救命胴衣、ヘルメットを装着の上、リトルピークス小峰代表率いる指導員に付き添われて、堤防を越え梓川河川敷に降下す。 河川敷に流れる小川付近にて、生息する生態の観察と最終。カワニナなど節足動物や小魚を採集。小峰氏より説明を受ける。 小峰氏より川の流され方について説明を受けたあと、梓川本流に向かい、足のつかない激流の中へ児童たちが順々に身を投じていく。 20m～30mほど流された後、浅瀬にたどり着くので自らの足で立ちあがり、川岸へと戻る。 身近な川ではあるが危険もたくさんある。恵みとともに上手な付き合い方を学ぶようにとの小峰氏より説諭を聞く。</p>		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;">  <p>梓川の堤防道路にて救命胴衣を着用し、河川敷へと向かう。</p>  <p>河川敷の小川で水棲生物の採集を各自行う。</p>  <p>採集された水生生物の見分。</p> </div>		

	 <p data-bbox="1050 219 1465 336">梓川の本日の流れの状況と水温、うかび方について指導を受ける。</p> <p data-bbox="1050 510 1465 627">実際に入水し、流れに身を任せ、自力で立って川岸に再び戻る。</p>
<p data-bbox="188 1232 359 1265">授業について</p>	<p data-bbox="486 784 1465 1668"> 前回のラフトピクニックに続いて、水の体験学習最終であった。 4年生の社会科で水の行方について学んでおり、ちょうど上下水道についても社会見学を6月24日に実施し、水への関心が高まってきている児童たちにとって、実際に梓川地域を流れる身近な河川へ実際に入り込む場面は希少である。 直前に付近で痛ましい水難事故があり、計画実施には慎重さが伴われたが、小峰代表が自ら事前に梓川の水の様子を克明に調査し、危険を回避すべく注意点（水温が低い）をつかんでいたことが、無事に実行できた要因であろう。とても教職員だけでは遂行できない活動といえる。 堤防上からまたは橋から眺めると川の流れは穏やかに見えるが、実際には大変な急流である。 児童にとっても相当な覚悟をもち川に身を投じていた。中には泣きだし取りやめる児童もあったがそういった判断も受け止め、十分安全に配慮しながら実施することが望ましい。 救命胴衣を着けているとはいえ、一度流されるとその水流の力によって全くコントロールの利かない状況を体験できる。足を下流に向けてと事前に指導されたが、方向が逆になってしまった。そのような危機的状況でどのように冷静に判断したらよいかも児童たちにとって培われるスキルとなるであろう。 近くにあるからといって、川遊びの危険性は数多くあり、毎日状況が変わる。身をもって川と水の怖さを体感し、川との付き合い方を学んだよい事業であった。 </p>

授 業 名	山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境		
学校名、学年、学級	松本市立並柳小学校5学年	参加人数	47名
担当者	加藤 恵子、百瀬 美咲	記入者	加藤 恵子
実施日（期間）	5月22日（木）登山事前講習会 6月6日（金）美ヶ原高原学習（登山）		
講師名	松場 省吾氏、川上 康人氏 （NPO信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ）		
実施概要	<p>①登山事前講習会 経験に乏しい子どもたちが多く、不安に思っている子どもたちが多かった。その子どもたちに安全で安心な楽しい登山の方法を、スライドや紙芝居を使って丁寧に教えてくださった。</p> <p>②美ヶ原高原学習（登山） 当日は2名の山岳ガイドの方にお越しいただき、2クラスのそれぞれの先頭について頂いた。安全で楽しく登るためのアドバイスだけでなく、美ヶ原の自然環境についてその都度隊列を止めて教えてもらった。</p>		
実施状況 （授業風景）	<p>①登山事前講習会 山登りの経験がほとんどない子どもたちが多く、「きつい、苦しい」というイメージを持っている子どもたちに、安全で楽しむことができる登山の方法を分かりやすくスライドや紙芝居で教えてもらった。 具体的には、「疲れない登り方」、「行動食の大切さ」、「安全な登り方」、「隊列を組んで登る時の注意点」など1時間の授業ではあったが、詳細を教えてもらった。 隊列を組んで登る際は、歩幅は狭くし、前の人のルートと同じところを踏むように登ること、行動食は飴やチョコレートを持って行く登山者が多いが、登山はとて多くのエネルギーを消費するため、パンやおにぎりなどの軽食でないこと、頂上までの体力が持たないこと、人とすれ違うときや山道で休憩するときは山側によけることなどを学んだ。 これらの学習は、当日とても役立ち、安全に、よいペースで登れただけでなく、一人も途中下山することなく、頂上まで楽しく登ることができた。</p>  <p>②美ヶ原高原学習（登山） 当日は、急遽2名の山岳ガイドの方々にお越しいただき、2クラスのそれぞれの先頭についていただいた。子どもたちが登りやすいペース配分や休憩をとるタイミング、衣類の着脱など、細かく指導していただいたおかげで、たくさんの体力を消耗することがなく、しかも安全に登ることができた。 山頂付近になると、気温が下がってきたので、的確な指示のもと、子どもたちに上着やカッパの着脱をさせてくださり、たくさんかいた汗で体温がうばわれることがないように気遣っていただいた。 また、途中の休憩場所（御嶽教山小屋付近）で、スズメバチがおり、危険があったが、ガイドの指示で誰もさされることなく、安全に山頂まで行くことができた。</p>		

	<p>登山の途中で、隊列を止めていただき、高山植物についての知識を教えてくださいました。例えば松の木の背丈が低いこと、その葉が山の下よりも柔らかいこと、ヒカリゴケについてなど子どもたちは美ヶ原の自然について様々なことを学びながら、登山の学習をすることができた。</p> <p>山頂では、気温が低く、風が強かったので、ガイドのアドバイスで、美しの塔付近ではなく、風よけを考えて、王ヶ頭ホテル付近で弁当を食べた。</p> <p>頂上では、「塩くれ場」の説明や、四方の山々の説明、松本市と反対側には上田市が見えることなどを教えていただいた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>また、雨天の場合は登山中止の予定であったが、その際のネイチャーゲームや、美ヶ原の自然学習の内容についても準備しておいてくださり、雨天でも美ヶ原について学ぶ機会があることがとてもありがたかった。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山に行く前は、「自分は本当に登れるだろうか。」ととても不安だった。けれども、川上さん（山岳ガイド）が僕の前を歩いてくれて、いつも励ましてくれたので頂上まで登ることができた。 ・登山に行く前は、正直「行きたくない」と思っていた。けれども松場さん（山岳ガイド）のアドバイスで頂上までいくことができた。頂上に着くと、遠くに富士山が見えて、とても感動した。 ・自分がいけるかどうか、不安だったけれど、みんなで声を掛け合ったり、ガイドさんがいろいろ教えてくれたりしたので登ることができた。王ヶ頭まで来た時の達成感が半端なかった。 ・ガイドさんが休憩のときに植物について教えてくれた。下の方と同じ植物が生えているが、背が低かったり、葉が柔らかかったりすることが分かった。 ・頂上が寒くて、ご褒美が頂上での「アイスクリーム」だと聞いていたので、「寒いのにアイス？」と思ったけれど、登山を頑張った後のアイスの味は格別だった。 ・登っている途中は、「きつい」と思うことがあったけれど、みんなで励まし合ったり、ガイドさんが教えてくれたり、富士山が見えたりして楽しく登ることができた。登山をして成長できたと思う。 ・家族でまた行きたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任が二人とも登山経験に乏しく、山の変わりやすい天気にもどのように対応していったらよいかほとんどわからなかったもので、登山経験がほとんどない子どもたちを連れていくことが不安だったが、ガイドの方々のおかげで子どもたちが全員無事に、そして楽しく登ることができた。

	<p>・ガイド料が高いため、トライやるや信州環境カレッジの補助金を申請しても足りない。補助金が捻出できない場合は、学年費から支払うが、本校は徐々に人数が減っているため、それも難しく、ガイド要請を断念して学校の職員だけで引率するか、パークボランティアの方をお願いする方法しかない。しかしながら、けが人やリタイアの児童が出たときの対応がどうしても不十分になる。そのため、登山自体をしないことを検討せざるを得ないときも出てくると思う。子どもたちが安全に美ヶ原登山を経験できるように、補助金を増やしてもらい、毎年、無料で山岳ガイドをお願いできるようにしてほしい。</p> <p>・今年度、パークボランティアの方々にもついて行ってもらえたのだが、近年パークボランティアの方々が、子どもたちを連れていくことが不安に思うことがあるようだ。今年「やまたみさん（山岳ガイド）についていってもらえるなら安心だ」と言って、お二人がついてきてくださった。ボランティアの方々の確保のためにも、山岳ガイドの完全無料化の実現をお願いしたい。</p>
--	---

授 業 名	ネイチャーゲーム（雨天:クラフト体験）		
学校名、学年、学級	梓川小学校 5年1組	参加人数	39人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日（期間）	令和7年7月17日(木)		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇氏 山田 直美氏		
実施概要	<p>(1) ネイチャーゲームを中心に自然の中でできる様々な遊びを体験する。</p> <p>(2) 雨天の場合は、室内にてクラフト体験を行う。</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>《小雨のため雨天案で行う》</p> <p>(1) 鳥ビンゴゲーム</p> <p>① たくさんの名前の中から、鳥だと思えるものを36種類選びマスに書く。</p> <p>② 選んだ鳥の説明をしてもらいながらビンゴを行う。</p> <p>(2) 鳥のキーホルダーづくり</p> <p>① 自分がデザインしたい鳥を選んで、木でできた鳥に色を塗る。</p> <p>② 羽とホルダーを付けて出来上がり</p>	    	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない鳥の種類が多かったけれど知ることができて楽しかった。 ・鳥ビンゴクイズの時「これはないでしょ。」と思ったものも本当にいたから驚いた。 ・キーホルダー作りでメジロを作ったから、目の周りを白くしようとして色をぬるときはみ出したり、ポンドもはみ出したりして本当に大変だったけれど、楽しかった。 ・オオシマシコというピンク、白、黒の三色の鳥を作ったけれど、色をぬるのが難しかった。でも、かわいいチャームが作れてうれしかった。楽しかったのでまたやりたい。 		


	<ul style="list-style-type: none"> ・自然にあるものでいろいろなものが作れるから、自然に感謝して作りたい。 <p>2 先生方の感想・要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊学習中の体験学習に取り入れた講座だったが、天候が悪かったためクラフト体験になった。打ち合わせの時から、天候が悪く外で活動が行えない場合も、室内で行ってもらえる計画をしてくれたので、ありがたかった。 ・クラスの子どもたちの様子に合わせて、活動内容を工夫してくださりありがたかった。 ・子どもたちは、鳥一つ選ぶにもじっくりとこだわりをもって選び、色をぬる姿が見られた。自然界の鳥や動物に興味をもつことができる体験だったと思う。
--	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：9-2】

授業名	ネイチャーゲーム（雨天：クラフト体験）		
学校名、学年、学級	梓川小学校 5年2組	参加人数	35人
担当者	清水 亮	記入者	清水 亮
実施日（期間）	令和7年7月17日(木)		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇氏 山田 直美氏		
実施概要	<p>(1) ネイチャーゲームを中心に自然の中でできる様々な遊びを体験する。</p> <p>(2) 雨天の場合は、室内にてクラフト体験を行う。</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>《小雨のため雨天案で行う》</p> <p>(3) 鳥ビンゴゲーム</p> <p>① たくさんの名前の中から、鳥だと思えるものを36種類選びマスに書く。</p> <p>② ビンゴを行い、選ばれた鳥について説明をしてもらう。</p> <p>(4) 鳥のキーホルダーづくり</p> <p>① 自分がデザインしたい鳥を選んで、木のキーホルダーに色を塗る。</p>		













	<p>② 羽と目を付けて鳥の形に仕上げる。</p> 
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いたことのない鳥がいておどろいた。鳥ビンゴクイズを通して鳥のことに少し詳しくなれた。 ・世界には1万種類以上も鳥の種類がいるのがおどろきだった。 ・シマエナガがかわいかったので、キーホルダーに選んだ。色を塗るのが難しかったけど、上手く作ることができて楽しかった。 ・コルリという、水色と黒がメインの鳥が図鑑の中でも特に気に入ったので、ていねいに色をぬって作った。とても楽しかった。完成後は鳥の羽や葉をけんび鏡で見てみた。羽は拡大して見るととても細かくて、葉には小さい模様があることがわかった。 <p>2 先生方の感想・要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネイチャーゲームの雨天時案としてクラフト体験を行っていただいたが、雨天時でも体を動かしながら楽しく学べる授業を構想してくださっていたため、子どもたちは90分間の活動時間を目一杯使って学びに向かうことが出来た。 ・特に本学級では、キーホルダーのデザイン検討と色塗りに時間をかけて熱心に取り組む児童が多かった。時間的制約がある中でも、講師の方々が温かく見守って下さると共に、時には模様の書き方や色塗りのやり方をご指導いただくことで、多くの児童が満足いく作品を完成させることが出来た様子だった。 ・これまで馴染みのなかった鳥の名前を知り、驚きを感じている児童が多い様子だった。別の環境教育の機会などでも鳥ビンゴゲームを体験することが出来れば、新しく学んだことが知識として定着しやすいのではないかと感じた。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：9-3】

授業名	ネイチャーゲーム（雨天：クラフト体験）		
学校名、学年、学級	梓川小学校 5年3組	参加人数	38人
担当者	沼尾 浩輝	記入者	沼尾 浩輝
実施日（期間）	令和7年7月17日（木）		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇氏 山田 直美氏		
実施概要	<p>(1) ネイチャーゲームを中心に自然の中でできる様々な遊びを体験する。</p> <p>(2) 雨天の場合は、室内にてクラフト体験を行う。</p>		


<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>《小雨のため雨天案で行う》</p> <p>(3) 鳥ビンゴゲーム</p> <p>① たくさんの名前の中から、鳥だと思 うものを36種類選びマスに書く。 ② 選んだ鳥の説明をしてもらいながら ビンゴを行う。</p> <p>(4) 鳥のキーホルダーづくり 自分がデザインしたい鳥を選んで、 木でできた鳥に色を塗る。</p> <p>① 羽とホルダーを付けて出来上がり</p>    
<p>授業について</p>	<p>3 授業を通しての子どもたちの反応、感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めて知る名前の鳥がたくさんいてびっくりした。 ・こんな名前の鳥いないと思っていたのに、いてびっくりした。 ・思っていた以上にたくさんビンゴになってうれしかった。 ・キーホルダーをつくるときに、図鑑を見ながら丁寧にぬって作ることができた。 ・オリジナルの鳥のキーホルダーが作れてよかった。 <p>4 先生方の感想・要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候不良により急遽であったが、子どもたちが楽しめる企画を考えてくださりありがたかった。 ・鳥ビンゴは、楽しみながら、鳥の名前などをするのでよかった。 ・普段あまりすすんで活動に取り組めない児童も、ビンゴや工作に真剣にのめりこんでいる姿があった。キーホルダーのように、形に残る体験もすてきだと感じた。

授業名	火起こし体験		
学校名、学年、学級	梓川小学校 5年1組	参加人数	39人
担当者	守矢 久美	記入者	守矢 久美
実施日(期間)	令和7年7月17日(木)		
講師名	信州やがいたいけん楽校ぷらす 降幡 光幸氏		
実施概要	<p>(1) 自然を大切に 人の一生と火の一生(講義)</p> <p>(2) 火起こし体験</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>(1) 自然を大切に 人の一生と火の一生〈講義〉</p> <p>○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。</p> <p>○火起こし器の説明を聞く。</p>  <p>(2) 火起こし体験〈実技〉</p> <p>①実技の説明を聞く。</p> <p>②火口作り</p> <p>③摩擦の力を利用して、火をおこす</p>      <p>・3人一組になり交代で行った。</p> <p>・講師の方が、煙が出てきた児童に補助をしてくださるので、半数以上の児童が、火を起こすことに成功した。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と火の一生についての話の中で、「人は約180万年前から火を使っている」ということが印象に残った。 ・火を起こすのは手が疲れたけれど、火が付いた時は頑張った甲斐があったなと思ひ、達成感が感じられて楽しかった。 ・火が付いた時は少し怖かったけれど、友達が手伝ってくれたので良かった。 		

	<ul style="list-style-type: none"> やり方を説明してもらっているときは意外と簡単そうだなと思って楽しみました。だけどやってみたらすごく難しかったです。火が付いた時は嬉しかったです。すごく良かったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の一生と火の関係を、映像を使って話してくださったので、子どもたちは興味をもって聞くことができた。 簡単に火起こしができると思っていた子どもたちは、なかなか火がつかなくて大変そうでしたが、諦めず火が付くまでやりたいという子がほとんどで、普段の様子とは違う一面が見られる体験になりよかった。 普段一緒に遊ばない児童同士で3人組を作ったが、その友達同士でコツを教えたり、手伝ったり、頑張っている友達を応援したりと、友達関係を深めていくきっかけにもなった。
--	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：10-2】

授 業 名	火起こし体験		
学校名、学年、学級	梓川小学校 5年2組	参加人数	35人
担当者	清水 亮	記入者	清水 亮
実施日(期間)	令和7年7月17日(木)		
講師名	信州やがいたいけん楽校ぷらす 降幡 光幸氏		
実施概要	<p>(1) 自然を大切に 人の一生と火の一生(講義)</p> <p>(2) 火起こし体験</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>(1) 自然を大切に 人の一生と火の一生 〈講義〉</p> <p>○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。</p> <p>○火起こし器の説明を聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(2) 火起こし体験〈実技〉</p> <p>①実技の説明を聞く。</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>②火口作り</p>  </div> </div>		

③摩擦の力を利用して、火をおこす



- ・ 3人一組になり交代で行った。
- ・ 児童は火を起こすことに苦戦している様子だった。講師の方が、煙が出てきた児童だけでなく煙を出す段階まで到達できない児童まで補助してくださったため、最終的には十名程度の児童が火を起こすことに成功した。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・ 火は人と関わりが深く、人の一生は火の一生と似ているということが分かった。火の力が人の命をつないでくれているんだと感じた。
- ・ 人には火が欠かせないものだけど、180万年前からしか使っていないということを知っておどろいた。
- ・ 講師の先生がやってくれた時にはかんたんなんじゃないかと思っていたけど、実際にやってみるとなかなか火がつかないし、ものすごく手や腕が痛くなって大変だった。でも、またやりたいと思った。
- ・ 3人の班で、2人は板を押さえる、1人は火起こし器を動かす、など協力して2回も火をつけられて、うれしかったし楽しかった。テレビでしか見たことのない、まいきり式でのきちょうな火起こし体験が出来て良かった。

2 先生方の感想、要望等

- ・ 雨天時案となり、火起こし体験自体が実施可能か不安に思っていたが、講師の方々のご協力のおかげで、参加児童全員が舞切り式の火起こし器を扱ってみることが出来た。
- ・ 児童は火起こしにかなり苦戦している様子だった。自身もコツを掴んで何か指導できることがあれば、と考え火起こしを行ってみたが、自力では火を起こせなかった。
- ・ 講師の方に「上手く火がつかなかったら火きり板の別の切れ込みの場所を使ってみること」「火きり板と火口との接触の状態を変えること」をご指導いただき、実践してみると今度は火が起こせた。
- ・ 児童と共に「なぜ今のやり方ではうまく火を起こせないのか?」「どこを変えれば火を起こしやすくなるのか?」などを理論的に追及しながら取り組めると、さらに学習に深まりが生じると感じた。今回、火が起こせずに「くやしい。またやってみたい。」と発言する児童も多かった。本時内で全てを満足することは難しいが、ぜひ別の機会に改めて探究的に火起こしする活動を検討したいと考えた。
- ・ 安全面にも十分配慮いただいたため、子ども達は熱中して火起こし体験に取り組むことが出来ている様子だった。一点、活動に熱中するあまり火口を処分する缶の存在に気付かず、ぶつかりそうになる様子が見られたため、缶はもう少し目立つ(大きな)ものが良いかもしれないと感じた。




授 業 名	火起こし体験		
学校名、学年、学級	梓川小学校 5年3組	参加人数	38人
担当者	沼尾 浩輝	記入者	清水 亮
実施日（期間）	令和7年7月17日(木)		
講師名	信州やがいたいけん楽校ぶらす 降幡 光幸氏		
実施概要	(1) 自然を大切に 人の一生と火の一生(講義) (2) 火起こし体験		
実施状況 (授業風景)	(1) 自然を大切に 人の一生と火の一生 〈講義〉 ○自然からの恵み、命の大切さ、自然への謙虚な心、畏敬の心などについて学んだ。 ○火起こし器の説明を聞く。  (2) 火起こし体験 〈実技〉 ①実技の説明を聞く。  ②火口作り  ③摩擦の力を利用して、火をおこす    ・3人一組になり交代で行った。 ・児童は火を起こすことに苦戦している様子だった。講師の方が、煙が出てきた児童だけでなく煙を出す段階まで到達できない児童まで補助してくださったため、最終的には十名程度の児童が火を起こすことに成功した。		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・火おこしは初めてやったし難しかったけど、火をつけることができてうれしかった。 ・火おこしを昔やったことがあったから、すぐにつけることができた。 3回もつけることができてよかった。		

- ・難しかったけど、木をこするだけで火がつくなんてすごいと思った。
- ・友達と協力して、交代してがんばったら、最後に何とかつけることができた。

2 先生方の感想、要望等

- ・雨天時案となり、火起こし体験自体が実施可能か不安に思っていたが、講師の方々のご協力のおかげで、参加児童全員が舞切り式の火起こし器を扱ってみることが出来た。
- ・安全面にも十分配慮いただいたため、子どもたちは安心して火おこし体験をすることができたように思う。
- ・なかなか難しい内容であったが、三人一組で協力しながら取り組んだり、経験のある児童が他の児童のサポートをしてあげたりする姿が見られたのがよかった。
- ・講師の方も複数いていただき、児童のサポートをしていただいたおかげで、予想以上の児童が火をおこすことができた。

授 業 名	地元の川大好き！リバーアドベンチャー		
学校名、学年、学級	源池小学校 2年2組	参加人数	22名
担当者	白井 彩音	記入者	白井 彩音
実施日（期間）	令和7年9月1日（月）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	水辺、川辺の安全講習会 水辺の生き物採集 ライフジャケットを着用しての水浮かび体験		
実施状況 (授業風景)	<p>川って安全に遊ぶことが大事なんだな～</p>  <p>川の生き物捕まえるぞ！</p>  <p>足がつかないけれど、ぶかぶか気持ちいい！</p>  		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・珍しい生き物を見つけられてうれしかった ・薄川であそんだことはあったけど、ライフジャケットを着て遊ぶのは初めてだった。 ・足のつかないところに行くのは少し怖かったけど、流れる方法が分かったら楽しい！ <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの身近にある薄川で、安全に遊ぶ方法や万が一が一流されてしまったときはどうしたらいいのかなど教えていただきとてもありがたかったです。 ・水生生物採集では、「〇〇が取れたらきれいな川ということだよ」と、生物について詳しく教えてもらい勉強になりました。 		

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	開智小学校 2年1組	参加人数	25人
担当者	成田 陽介	記入者	成田 陽介
実施日（期間）	令和7年9月12日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	女鳥羽川に行き、水辺の安全学習及び川遊び・川の生き物探し ・身近にある川と関わることで、今まで気づかなかった自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、発見したりする。 ・川との安全なかかわり方について知る。		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>〈川の安全講習〉 川の流れについてやペットボトルを使った実験で、川の危険箇所を教えてくださいました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり、草むらを動かしたりして出てきた生き物を捕まえました。水生昆虫やエビなど、たくさんの種類の生き物を捕まえることができました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>〈ぶかぶか浮いてみよう〉 川の流れに身を任せ、浮いてみました。足のつかない場所も力を抜くと、ライフジャケットのおかげでぶかぶか浮くことが分かり、楽しんでできました。</p> </div> </div> </div>		
授業について	1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 ・川はこわいこともあると分かった。子どもだけで遊ばないようにしたい。 ・女鳥羽川にはたくさんの生き物がいることを知れてよかった。おうちの人も探しに行ってみたい。 ・はじめはこわかったけれど、ライフジャケットのおかげで、浮くことができて、楽しかった。		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>最初はこわがっていた子も体験していくうちに「もう一度やりたい」「もっとやりたい」と、のめり込んで活動していました。地元の川でこんな体験もできるのだと、新たな発見ができたようです。自然に親しみ、学ぶことができたよい体験でした。</p> <p>準備等も含め、学校職員だけではなかなか体験させてあげられない楽しい内容を教えてくださった講師の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。</p>
--	--

環境教育支援事業実施報告書

【番号：12-2】


授業名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	開智小学校 2年2組	参加人数	28人
担当者	杓掛 恵子	記入者	杓掛 恵子
実施日(期間)	令和7年9月12日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>女鳥羽川に行き、水辺の安全学習及び川遊び・川の生き物探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある川と関わることで、今まで気づかなかった自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、発見したりする。 ・川との安全なかかわり方について知る。 		
実施状況 (授業風景)	 <p>〈川の安全講習〉 川の流れてについてやペットボトルを使った実験で、川の危険箇所を教えてくださいました。</p>	 <p>〈川の生き物さがし〉 一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり、草むらをかきわけて出てきた生き物を捕まえました。水生昆虫やエビなど、たくさんの種類の生き物を捕まえることができました。</p>	 <p>〈ぶかぶか浮いてみよう〉 川の流れてに身を任せ、浮いてみました。足のつかない場所も力を抜くと、ライフジャケットのおかげでぶかぶか浮くことが分かり、楽しんでできました。</p>



授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の白く泡立っているところは深いことや、空気では浮かないということがわかった。 ・川でおぼれそうになったらラッコみたいに浮かぶといいことがわかってよかった。 ・川にはいろんな生き物がいて楽しかった。また家の人と行きたい。 ・川に入るのは怖かったけれど、スタッフの人たちがいてくれて勇気を出せてよかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>最初はこわがっていた子どもも体験していくうちに「もう一度やりたい」「もっとやりたい」と、のめり込んで活動していました。地元の川でこんな体験もできるのだと、新たな発見ができたようです。自然に親しみ、学ぶことができたよい体験でした。</p> <p>準備等も含め、学校職員だけではなかなか体験させてあげられない楽しい内容を教えてくださった講師の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。</p>
--------	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：12-3】

授 業 名	川であそぼう		
学校名、学年、学級	開智小学校 2年3組	参加人数	27人
担当者	廣池 加奈子	記入者	廣池 加奈子
実施日（期間）	令和7年9月12日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>女鳥羽川に行き、水辺の安全学習及び川遊び・川の生き物探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある川と関わることで、今まで気づかなかった自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、発見したりする。 ・川との安全なかかわり方について知る。 		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 20px;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>〈川の安全講習〉</p> <p>川の流れについてやペットボトルを使った実験で、川の危険箇所を教えてくださいました。</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>〈川の生き物さがし〉</p> <p>一人ひとり網を持ち、石をひっくり返したり、草むらを動かしたりして出てきた生き物を捕まえました。水生昆虫やエビなど、たくさんの種類の生き物を捕まえることができました。</p> </div> </div> </div>		


	 <p>〈ぶかぶか浮いてみよう〉 川の流りに身を任せ、浮いてみました。足のつかない場所も力を抜くと、ライフジャケットのおかげでぶかぶか浮くことが分かり、楽しんでできました。</p>
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めは怖いと思ったけれど、色んな生き物を見つけられた。 ・水が冷たくてドキドキしたけれど、生き物を探すのが楽しかった。 ・水の中は滑っていっぱい転んだけれど、浮くのがとても楽しかった。 ・もっといっぱい生き物を見つけたり、浮いたりして遊びたかった。 ・怖いところもあるけれど、遊び方をしっかり覚えてもっと楽しみたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>最初は「冷たい」「怖い」と言っていた子どもたちも、体験していくうちに「もう一度やりたい」「もっとやりたい」と、のめり込んで活動していました。こんな近くにこんな体験ができる場所があるんだと、新しい発見ができたようです。自然に親しみ、学ぶことができたよい体験でした。</p> <p>準備等も含め、学校職員だけではなかなか体験させてあげられない楽しい内容を教えてくださった講師の先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。</p>

授 業 名	女鳥羽川リバーアドベンチャー②		
学校名、学年、学級	開智小学校 3年1組	参加人数	30人
担当者	山地 理恵	記入者	山地 理恵
実施日（期間）	令和7年9月12日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>女鳥羽川での水辺の安全学習および川遊び・川の生きもの探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある女鳥羽川と関わり、普段気づかない自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、再発見したりする。 ・川との安全な関わり方について知る。 		
実施状況 (授業風景)	<p><川の安全講習></p> <p>川の危険性や危険に遭遇した際の対処法などを具体的に教えていただきました。</p>  <p><生き物探し></p> <p>一人ひとり網を持ち、水中生物を捕まえました。昨年教えていただいたことを思い出し、草の根元に網を入れたり、石をひっくり返したりして、エビやサワガニ、魚などをたくさん捕まえることができました。</p>   <p><女鳥羽川探検></p> <p>川の流れに身を任せて、ライフジャケットで浮いてみました。昨年より長く狭い道程で緊張していたようですが、終わった後は「もう一度やりたい！」と楽しんでいました。</p> 		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな生き物を捕まえられてうれしかった。女鳥羽川にはたくさんの生き物がいると分かった。 ・去年と下のコースが違ってドキドキしたけど、やってみたらすごく楽しかった。慌てずにやったら、すぐに浮くことができた。 ・教えてもらったことに気をつけながら、たくさん川で遊びたい。 		

	<p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>小雨が降って肌寒い中での実施でしたが、子どもたちは「それでもやりたい!」と楽しみにしていました。昨年からさらにレベルアップした内容にしてください、子どもたちはドキドキしながらもとても楽しんでいました。昨年の経験を想起させながら、さらに知識や経験を増やしていただきました。普段なかなかできない、でも大切な体験ができ、講師の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。今後もこのような機会をぜひ作っていただきたいと思います。</p>
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：13-2】

授 業 名	女鳥羽川リバーアドベンチャー②		
学校名、学年、学級	開智小学校 3年2組	参加人数	29人
担当者	片桐 智也	記入者	片桐 智也
実施日(期間)	令和7年9月12日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>女鳥羽川での水辺の安全学習および川遊び・川の生きもの探し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある女鳥羽川と関わり、普段気づかない自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、再発見したりする。 ・川との安全な関わり方について知る。 		
実施状況 (授業風景)	<p>○川の安全講習</p> <p>川で遊ぶ時に気を付けること、川の危険な場所、安全な場所について教えていただきました。</p>  <p>○川の生き物探し</p> <p>一人1つ網を使って、川の中にいる生き物を捕まえて観察をしました。スジエビや小魚、水カマキリを捕まえることができました。</p> <p>○リバーアドベンチャー</p> <p>女鳥羽川を天然のウォータースライダーのように流れてみました。足を下流の方に向け、両手を広げて浮くように教えていただき、一人ひとり川に浮かんで流れていきました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <p>昨年の経験を活かしながら、網で生き物を捕まえて観察をしました。今年はエビがたくさんとれるということで、子どもたちも喜んでいました。</p> <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>原体験を積むということが減ってきている今、このような機会を作っただけでとてもうれしく思いました。また、「川は怖いところ」という考えから、「川を知っていれば怖くない」という考えに変えてもらうことができました。</p>		

<p>授 業 名</p>	<p>女鳥羽川リバーアドベンチャー②</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>開智小学校 3年3組</p>	<p>参加人数</p>	<p>27人</p>
<p>担当者</p>	<p>和田 幸恵</p>	<p>記入者</p>	<p>和田 幸恵</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和7年9月12日（金）</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス</p>		
<p>実施概要</p>	<p>女鳥羽川での水辺の安全学習および川遊び・川の生きもの探し ・身近にある女鳥羽川と関わり、普段気づかない自然の様子や川の生き物を自分の目で見たり、再発見したりする。 ・川との安全な関わり方について知る。</p>		
<p>実施状況 （授業風景）</p>	<p><川の安全学習> 川の流れや岸の名称、天気判断の仕方、川の危険な場所を説明していただきました。川での浮き方も教えてもらいました。</p> <p><川の生き物探し> 一人ひとり網を持ち、水中生物を捕まえました。捕まえたものを水槽に入れお互いに見合いました。どんな生物がいるか興味を持って見ていました。 女鳥羽川の探索の後に、生き物の名前を教えてくださいました。</p> <p><女鳥羽川の探検> 川に入り、深い所では川の流に身をまかせて浮かび、足元に気をつけながら川を歩き、川を楽しみました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>		
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等 身近な女鳥羽川に、いろいろな生物が棲んでいることを知ることができ、楽しそうでした。持ち帰ってきた生物を家に持ち帰った子も多くいました。 川は、安全に気をつければとても楽しい場所であること、一方で、間違った遊び方をすると怖い場所であることを、身を持って学んでいたようでした。</p> <p>2 先生方の感想、要望等 身近な生物や身近な自然に触れ合う機会を作りたいと思いつつも、川遊びは素人の大人一人では怖くてとても連れていきません。今回、川について詳しい方が何人もついてくださり、安全に楽しく川遊びをすることができました。ありがとうございました。</p>		

授 業 名	学校の地下はどうなってる?知ろう触ろう		
学校名、学年、学級	信州大学教育学部附属松本小 3年西組	参加人数	34名
担当者	北澤 亮介	記入者	北澤 亮介
実施日(期間)	令和7年9月5日		
講師名	株式会社サクセン 劔持 龍司氏・鴨田 知幸氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の井戸水を使った手押しポンプ体験 ・地下水模型による体験(どのように地下水になるかを学ぶ) ・水質の比較実験(残留塩素・リトマス紙・洗剤・飲み比べ) 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>手押しポンプ</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>地下水模型</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>水質検査</p> </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  <p>水の飲み比べ</p> </div> </div> <p>株式会社サクセンの皆様にご来校いただき、「丸池の水」について学ぶ体験を行いました。</p> <p>本校には「丸池」と呼ばれる、子どもたちがよく集まる人気の場所があります。池にはメダカやカエルなどさまざまな生き物がすみ、子どもたちにとって身近で親しみのある自然の一部です。1年生のときには、その水を「井戸水だから飲めるんだ」と言って口にしてしまう子もおり、子どもたちの中に“丸池の水=きれいな水”というイメージがあることがわかりました。</p> <p>そこで今回は、サクセン様のご協力をいただき、「丸池の水はどこから来ているのか」「井戸の水はどのようにしてわき出るのか」を学ぶ学習を行いました。実際に手押しポンプを使って井戸水をくみ上げる体験では、水の冷たさや重さを肌で感じることができ、子どもたちは「すごく冷たい!」「本当に地下から出てきているんだ」と驚きの声を上げていました。地下水模型を使って、雨水がどのように地面にしみ込み、地下水となっていくかを観察したことで、井戸と地下水のつながりを実感することができました。</p> <p>教室に戻ってからは、身近な水をテーマに実験を行いました。 ①水道水 ②浅間温泉の水 ③丸池の井戸水 の3種類を用意し、残留塩素の</p>		

	<p>有無を調べたり、リトマス紙で酸性・アルカリ性を比べたり、洗剤の泡立ちの違いを観察したりしました。さらに、軟水と硬水の飲み比べ体験も行い、水の性質の多様さを感じ取ることができました。</p> <p>このような体験や実験を通して、子どもたちは「丸池の水」についての理解を深めるとともに、普段何気なく使っている水の大切さや、地下水を支える自然の仕組みに興味を広げることができました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手押しポンプを動かしたら、つめたい水が出てきてびっくりしました。地下にこんな水があるなんてすごいと思いました。 ・丸池の水がどこから来ているのかがわかってうれしかったです。前はなんとなくきれいな水だと思っていたけれど、ちゃんと地下からきていると知っておどろきました。 ・水道の水と丸池の水とで、色やにおいがちがっておもしろかったです。のこっている塩素があるのはじめて知りました。 ・地下水模型で水がしみこんでいくようすを見て、「雨って大事なんだな」と思いました。 ・丸池の水はきれいだけど、そのまま飲んではいけないことがわかりました。これからも大事にしていきたいです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>今回の学習では、株式会社サクセン様のご協力のもと、「丸池の水のひみつ」をテーマに、井戸や地下水について体験的に学ぶ活動を行いました。</p> <p>本校のシンボルでもある丸池は、子どもたちが毎日のように集まる大切な場所です。中には「井戸水だから飲めるんだ」と言う子もおり、身近な自然への関心の高さと同時に、正しい知識を身につける必要も感じていました。</p> <p>サクセン様には、学校の井戸を使った手押しポンプ体験や、地下水ができる仕組みを学ぶ地下水模型の実演、水質の比較実験など、多岐にわたってご指導いただきました。実際にポンプを動かして冷たい水をくみ上げた瞬間の子どもたちの歓声や、実験結果を比べながら「水ってちがうんだね」と気づく姿がとても印象的でした。</p> <p>体験や実験を通して、子どもたちは自分たちの身近な「丸池」への理解を深めるとともに、水の循環や安全、環境とのつながりを実感することができました。今回の活動を支えてくださった株式会社サクセンの皆様に、心より感謝申し上げます。</p> <p>(左)信濃毎日新聞(上)松本市民タイムス</p> 

授 業 名	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり		
学校名、学年、学級	開智小学校 特別支援学級 たいよう1、2組 1～6年	参加人数	12名
担当者	胡桃澤 智子 平野 結	記入者	平野 結
実施日（期間）	12月18日（木）		
講師名	エコネットまつもと 代表 鈴木氏 他		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境や竹に関する講話を聞き、地球温暖化などの環境への意識を高めた。 ・一人ひとり電動ドリルを使って穴をあけ、オリジナルの竹筒キャンドルを作った。 ・松本市立博物館キャンドルナイト（12/19）で展示をした。 		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【環境について学ぼう】 この地球、色が変わっておもしろい！</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【電動ドリルで竹筒に穴をあけよう】 竹がかたくて大変だったけど、上手にできたよ！</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>【竹筒キャンドルの完成】 明かりを灯すととてもきれい！</p> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル地球儀で地球の色が変わっていくのがおもしろかった。 ・熊の話は、熊が思っていたより大きくてびっくりした。 ・電動ドリルの音にびっくりしたけど、上手にできて嬉しかった。 ・電動ドリルの振動がおもしろかった。 ・電動ドリルで上手に穴をあけることができた。 ・キャンドルを光らせたるとてもきれいだった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に竹筒をもらうことができたので、どんな活動をするのか、どのようなデザインにするか等の事前学習をすることもでき、見通しを持って活動に参加することができた。 ・環境の話は少し特別支援学級の児童には難しかったが、デジタル地球儀は初めて見るということもあり、興味を持って見ている児童もいた。タブレットを使って、自分で興味がある事象を見ることもできて楽しそうだった。 ・竹筒キャンドル作りでは、たくさんの講師の方にお越しいただき、電動ドリルの穴あけ等丁寧に支援をしていただいた。安心して活動することができ、とてもありがたかった。 		

授 業 名	あがたの森のたつ人になろう		
学校名、学年、学級	源池小学校 3年1組	参加人数	29名
担当者	細山 ゆかり	記入者	細山 ゆかり
実施日（期間）	令和7年10月1日（水）		
講師名	いきものみつけファーム in 松本推進協議会 代表 藤村 哲 氏 他1名		
実施概要	<p>・あがたの森公園で、植物や昆虫や池の小魚などを観察したり実際に捕まえたりしながら、身近なあがたの森に自分たちがふだんなかなか気づけない豊かな自然が息づいていることを再発見することができた。</p> <p>・ネイチャービンゴや鹿ゲームなどをしながら、生態系や人間と自然の関わりについて学び考えることができた。</p>		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>この虫の名前は何ですか？</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>小さな魚がたくさんいるね</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>鹿になった気持ちで鹿ゲーム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>自分は自然とどう関わればいいのか</p> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あがたの森にこんなに虫がいるとは知らなかった。 ・池に魚がいることは知っていたけれど名前が教えてもらえて良かった。 ・初めてこん虫さいしゅうをして虫をつかまえることができて良かった。 ・しかゲームをして、ぼくたちも自然にかんけいしているんだなということがわかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源池小学校ではここ数年、3年生が学習をお願いしているが、子どもたちが授業を通して身近な遊び場としてのあがたの森を、広い遊び場としてだけでなく自然という観点からとらえる気づきが生まれてくるように思う。 ・専門家に案内していただきながら実際の体験を通して学ぶことができるのがあるが、学区にある素材としてのあがたの森を生かすのに、学校職員だけではなかなか知識や経験の十分でないところに支援事業を利用させていただけるのはありがたいと思う。 		

授 業 名	乗鞍宿泊学習		
学校名、学年、学級	波田小学校 5 学年	参加人数	135名
担当者	柏原美紀、堀口正貴、 小林南実、青柳智之	記入者	柏原 美紀
実施日（期間）	9月3日、4日		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰氏 他		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍岳トレッキング（大黒岳・富士見岳） ・アドベンチャーパークの体験 ・イワナのつかみ取り→焼いて食べる ・はし作り ・ジャムづくり（アドベンチャーパーク不参加の子のみ） 		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>左は、1日目のトレッキングの写真です。</p> <p>大黒岳と富士見岳の2つの山をクラスごとに登りました。途中斜面が急なところや細い砂利道で歩きにくいところがありましたが、みんなで声をかけあって登ることができました。山頂からの景色が良く、私たちが住む波田地区が見えると、歓声が上がっていました。</p> <p>2日目は学年を3グループに分け、アドベンチャーパーク（高所が苦手な子はジャムづくり）、イワナのつかみ取り、はし作りの3つの体験活動をグループごとにローテーションをして行いました。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>2日目アドベンチャーパークの体験活動の様子です。</p> <p>自然の中、空中に作られた様々な木製のコースを、ハーネスをつけて体験しました。最初は恐る恐る渡っていく子もいましたが、慣れてくると笑顔も出てきて、貴重な体験となりました。「もう一回やりたい！」と、何度もチャレンジする様子も見られました。</p> <p>2日目イワナのつかみ取り体験の様子です。小さな池の中にいるイワナを一人1匹手づかみで取り、その場で調理をして食べました。魚をさばく体験も初めての子が多かったですが、ガイドの方に教えてもらいながら、調理ができました。普段は魚を食べるのが苦手な子も「おいしい！これなら食べられる！」と、笑顔で食べていました。</p> </div> </div> <div style="width: 45%;">  </div> <div style="width: 45%;">  </div>		

実施状況
(授業風景)



はし作りの様子です。
ヒノキを、カッターナイフを使って削りながら、はしの形にしていきました。削り具合で形が変わるので難しいですが、集中して削っていきました。
納得のいく作品に仕上がり、満足そうな様子でした。さっそく、給食で使っている子もいます。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・乗鞍では、自然の良さをとても感じた。自然はずすしくて生き物がたくさんいる過ごしやすいところだった。上高地と乗鞍と似ていて景色がとても良かった。
- ・私も乗鞍の人を見習って、もっと自然を大切にしたいと思った。乗鞍のような自然を大切に、その自然にあるものを生活に利用するところが増えたらいいなと思った。
- ・2日目の体験活動がとても楽しかった。特に、アドベンチャーパークは、高いところに行くにつれてとても怖かったけど、みんなで励まし合って達成できた。最後のジップラインがとても気持ちよかった。

2 先生方の感想、要望等

- ・リトルピークスの方主導で進めてくださったので、職員は子どもたちの指導に専念できてとてもありがたかったです。
- ・自然環境の現状や未来について、子どもたちにも身近な話題から触れていただき、自然の大切さを改めて意識できる子が多くいました。
- ・普段はできない自然体験がたくさんできて、とても貴重な時間になりました。

授 業 名	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり（講座No.13）		
学校名、学年、学級	中山小学校 特別支援学級	参加人数	5名
担当者	祝迫なおみ	記入者	祝迫なおみ
実施日（期間）	令和7年12月16日（火）		
講師名	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク（エコネットまつもと） 鈴木 喜一郎氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・竹についてお話を聞いた。 ・出来上がりの作品を見て完成のイメージを持った。 ・竹に粘土をしっかり詰めた。 ・和紙に絵を描いたりもみじの葉をボンドでついたりシールを貼ったりして、キャンドルを作った。 		
実施状況 （授業風景）		<p>ライトを置く場所が安定するように、竹の中に粘土をしっかり詰めました。粘土を伸ばしたり丸めたりしながら詰めました。「これでいいかな？」と鈴木さんに聞いて確認しながら進めました。</p>	
		<p>気に入ったもみじを選んで和紙の上に置き貼る場所を決めました。もみじにボンドをつけてもみじが破れないように慎重に貼りつけました。その後絵を描いたりシールを貼ったりしました。</p>	
		<p>和紙を筒状にして、粘土を入れた竹の上に被せると完成です。 中にライトを入れるともみじや絵、文字などが映し出されました。とてもきれいで、どの児童もうれしそうでした。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思い思いにもみじを貼りつけたり絵を描いたりシールを貼ったり楽しんでいました。 ・「絵をたくさん描いたりシールを貼ったりして楽しかった。」「もみじをボンドでつけるところががんばった。」など感想を発表しました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>児童の姿に合わせて材料を用意してくださいました。製作中も児童一人ひとりの様子を見ながら声をかけたり一緒にやってくださったりしてどの子どもも完成した作品を見てうれしそうでした。</p>		

授 業 名	体験を通して学ぶ「自然や環境」について		
学校名、学年、学級	波田小学校つつじ3・4・5組	参加人数	16名
担当者	石川俊浩・寺田智子・勝家里佳子	記入者	石川俊浩
実施日（期間）	令和7年11月14日（金）		
講師名	体験創庫かけはし 藤村 哲氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・生きものと触れ合う ・自然のものビンゴ ・自然と触れ合う ・林の中で遊ぶ 		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: flex-start;"> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>「チャボをさわったよ。からだがあたたかかったよ。」</p> <p>「わたしは、こわかったけど、〇〇くんがだっこしてわたしてくれたから、だっこできたよ。」</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-bottom: 10px;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>「やぎさん、この大根の葉っぱもおいしいから食べてね。」</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%;"> <div style="text-align: center;">  <p>「あの柿をとりたいなあ。」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>「小川をせき止めて、ダムをつくったよ。」</p> </div> </div> </div>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャボやヤギにさわられてよかった。 ・林の中で、ブランコやたんけんができて楽しかった。 ・小川をせき止めて、ろ過装置を作った。水がきれいになった。 ・柿を網で取ることができたよ。 ・ここから見た山が紅葉していてとてもきれいだった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、この体験をさせていただき、生き物に触れることに抵抗がある児童が少ない。 ・普段、学校ではできない体験が多く、子どもたちも楽しみしているので、今後も継続していきたい。 		

授 業 名	「全校が気持ちよく過ごせる松林をつくろう」		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校、4年2組	参加人数	31人
担当者	久保田晃宇	記入者	久保田晃宇
実施日（期間）	令和7年12月1日（月）、12月3日（水）		
講師名	(株)柳沢林業 本間氏 百瀬氏 高力氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・全校児童が使える棚の制作。 ・松林の自然を生かす取り組みに必要な物作り（鳥の巣箱、看板など） 		
実施状況 (授業風景)	<p>松林での活動は4チームに分かれて活動（空間作りチーム・自然チーム・遊具作りチーム・調査チーム）</p>  <p>空間作りチームでは、水筒や紅白帽子をかけてから遊べるように枝状の棚を作りました。のこぎりで切ったり、やすりで磨いたりして3カ所に設置しました。</p>  <p>自然チームでは、生き物も気持ちよく過ごせる松林を目指して、鳥の巣箱を制作して、松林に3つに設置しました。</p>		

実施状況
(授業風景)



遊具作りチームでは、切り株や切断した木を並べたり埋めたりして、その上を跳んで進める遊具を設置しました。



調査チームでは、松林の裏側（崖になっている場所）に看板を設置して、全校児童が安全に遊べるようにしました。

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

<活動後の振り返り>

- ・安全で楽しい遊具を作るために、柳沢林業さんにアドバイスなどをもらってどうしたら安全な遊具になるのかとか、どう工夫すればいいかなど色々なことをアドバイスしてもらって安全で楽しい遊具を作ることができてうれしかったです。
- ・柳沢林業の百瀬さんに巣箱の作り方を教えてもらって木に穴を開けられるようになりました。松林が整備されても絶対に生き物が消えないように気持ちよく住んでくれたらいいなと思って作りました。みんなが気持ちよく過ごせる松林になってほしいと思います。

2 先生方の感想、要望等

- ・子ども達のアイデアや学校内だけの活動では、実現できないことを今回実現させていただいて本当に良かったです。活動の中で、「次はこうしてみよう」「この方がいいかな？どう？」などと子ども同士の対話から、願う松林の姿に近づいていった様子が多く見られ、貴重な体験をさせていただきました。また、地域とつながることの良さを改めて感じました。

授業名	梓川リバーハイク		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校、4学年、4学級	参加人数	121人
担当者	中澤瑞穂、久保田晃宇、吾妻このか、上條亜矢子、青山康郎	記入者	久保田 晃宇
実施日（期間）	令和7年9月16日（火）		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏、笠松 学氏、宇賀神 志保氏 福谷 愛子氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・梓川にて水中や水辺の生き物の観察 ・川の成り立ち・河岸段丘の学習 ・正しく「危険」を知る（ライフジャケット・ヘルメットを着用して実施した。） 		
実施状況 （授業風景）	 <p>・梓川や河岸段丘の成り立ち、川の流れ方などについて小峰さんご自身の体験を踏まえながら、教えていただきました。</p>  <p>・水中や水辺の生き物調査・観察を行いました。ヘビトンボ、ゲンゴロウ、カジカなど普段見られない生き物調査に夢中になって取り組みました。</p>  <p>・川について正しく「危険」を知るために、ライフジャケットを着用して、実際に流される体験をしました。川の流れを感じながら、いざという時の対処を学びました。</p>		

授業について


1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

～児童の振り返りより～

川では、あわてない、立たない、泳がない、という3つのことをやってはいけないということが分かりました。川は危険だけど、決まりを守ることで楽しく遊べました。川を知らないまま、大人になるのはいやだから、安全にきけんをしれてよかったです。

2 先生方の感想、要望等

川の危険性やルールを学んだうえで実際に体験できたことが、とても有意義でした。正しい知識をもって自然と向き合うことの大切さを知ることができ、貴重な経験となりました。小峰さんのお話にあった「原体験を大切にす

授 業 名	わくわく下水道教室		
学校名、学年、学級	並柳小学校4学年（1，2組）	参加人数	1組20名 2組22名
担当者	永田 豊 池田 恭子	記入者	永田 豊
実施日（期間）	6月26日（木）10：50～11：35 11：40～12：25		
講師名	松本市上下水道局 下水道課 水質担当		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化センターまでの下水の流れ ・ペットボトルを使った紙の溶け方実験 ・顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察 		
実施状況 （授業風景）			
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡の映像を、もっと長い時間見たかった。 ・他にも、どんな微生物がいるのか知りたい。 ・トイレトペーパーが、思ったより水に溶けていて驚いた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡の映像を見る時間を、もっと多くとってもよいように感じた。一番子どもたちが興味を示した場面だった。メモを取りたいと感じた児童もいたので、前半の下水の流れについてを、もう少し短縮して、顕微鏡の場面に時間的なゆとりをもたせていただけると、より児童の関心をひくことができると感じた。 		

授 業 名	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3学年	参加人数	172名
担当者	清沢基臣	記入者	清沢基臣
実施日（期間）	令和7年9月9日		
講師名	合同会社リトルピークス 小峰 邦良 氏		
実施概要	○私たちのくらしと川 ○源流から海のつながり ○海洋プラスチック問題 ○上高地のルール		
実施状況 (授業風景)	○私たちのくらしと川 ・私たちのくらしに川はなくてはならないものである。水があるから農作物を育てられる。  ・川と豊かに関わる機会が少なくなってきた。川で遊ぶ経験や関わる経験が大事だが、近年は「危険」といって遠ざけていることが多い。 ・波田の良さに気づいてほしい。波田にいと気づかないが、日本中、世界中から上高地へ観光客が来ている。 ○身近な梓川と上高地とのつながり ・私たちの波田を流れる梓川の水は上高地や周辺の山々に降る雨雪から始まる。 ・上流の環境や水質を守ることで、下流に住む人々にきれいな水を送ることができる。 ・梓川⇒犀川⇒千曲川⇒信濃川⇒日本海へとつながっていく。 ・川は水を運ぶ水路としての役割だけではなく、自然や文化、人の心を支える役割も果たしている。 ○海洋プラスチック問題 ・海のごみが問題になっている。海のごみを魚や鳥が誤って食べてしまい死んでしまっている。川に流されたプラスチックはやがて海に運ばれ、マイクロプラスチックとなる。それを小魚が食べ、その小魚を魚が食べ、その魚を人間が食べることで結果的に人間に害が及ぶ。 ○上高地のルール ・生き物をとらない。サルと目を合わせない。 ・観光客が大勢来ている。マナーを守って		

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等


- ・きれいな上高地の写真を見て、上高地学習への意欲が高まり、素晴らしい場所が身近にあることに気づくことができた。
- ・学校近くを流れる梓川の水は、もともとは上高地や周辺の山々の雨や雪からつながっていることを理解していた。
- ・環境を守る取り組みの大切さに気づき、環境を保全していかないと美しい自然が失われてしまうことに気づいていた。

2 先生方の感想、要望等

- ・身近な梓川が上高地周辺の山々から流れてきていることを写真やお話を通して理解できたようで、川の流れや上高地への関心が高まっている様子が見られた。
- ・上高地の話だけにとどまらず、環境問題や自然全般についてのお話、生き方についてのお話など様々なお話やスライドを見せていただき、環境に対する考えが深まっていったので、とてもありがたかった。

授 業 名	上高地源流学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3学年	参加人数	34人
担当者	清沢基臣	記入者	井口有紀子
実施日（期間）	令和7年9月19日（金）		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>○身近な梓川の源流が上高地にあることを知る。 ○同じ川でも、流れや色に違いがあることに気付き川への愛情を深める。 ○ダム役割を理解し、生活とのつながりを考える。</p>		
実施状況 （授業風景）	<p>○水殿ダム 実際にダムの上を、その大きさや、役割について説明を聞きながら歩いた。 初めてダムを間近に見た児童が多かったため、左右を行ったり来たりしながら違いを見比べている様子が印象的だった。</p> <p>○上高地学習開始</p>  	<p>初めは鬱蒼とした森の中からスタートしたことで、子どもたちは「どうしてこんなところを歩くのかな」という気持ちがあったが、最初の小さな橋を渡った時に見た水の透明度や泳いでいる魚の様子に上高地に来た実感を持った様子だった。その後、大きな川の横を歩き、その青く澄んで、底まで見える流れに食い入るように魅入っていた。 また、自然豊かな上高地の生き物（昆虫や魚、ほ乳類）の話も興味深く聞き、メモしていた。</p>	
実施状況 （授業風景）		<p>○清水川で 清水川の流れはとてもきれいで、「近くのホテルがこの水を生活に使っている」というお話を聞き、実際に飲んでみる児童もいた。「冷たくておいしい！」と驚いていた。 また、とても冷たかったので「先生温度計って！」と依頼があったので計ってみた。この日の水温は8度で「すごく冷たい」と何度も手を浸して体験していた。この後、源流をたどって川の音に耳を澄ました。自分たちの生活に欠かせない「梓川」の源流の様子を知ることができた。</p>	

授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダムがとても大切だということがわかったし、右と左で水のかさが違ったのでびっくりした。 ・とても水がきれいで、川を泳いでいる魚が見えてびっくりした。ウェストン碑の前の川に小さな魚が泳いでいたし、大きい川にはとても大きな魚がいて、自然がたくさんある場所なんだと思った。 ・ウェストン碑の前の水と河原の水と清水川の水を触ったらとても冷たくてびっくりした。特にウェストン碑の水が一番冷たく感じた。飲めるくらいきれいだ、ということもすごいと思った。 ・大きい石や小さい石、鉱石についてもいろいろ教えてもらって面白かった。泥石をこすったら本当に溶けて泥みたいになったので、またやってみたい。 ・梓川の水はここからくるから、あんなにきれいなんだなあと思うことができてよかったし、これからも大切にしていきたい。 ・いろいろ教えてもらったことを家族に伝えて、また今度家族で行きたいと思った。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気を心配していた中だったが、絶好の散策日和で子どもたちも元気に歩き、見たり、聞いたり、触ったりすることができ良い経験になった。 ・源流をさがして清水川をたどっていく中で、川の歴史や今につながる学びをお聞きすることができたことは良い学びとなった。 ・三年生には難しい部分もあったが、一生懸命聞いていた。できれば、昼食の時間がもう少しあればよかった。
--------	---



授 業 名	上高地源流学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3学年	参加人数	30人
担当者	清沢基臣	記入者	岩崎日南
実施日(期間)	令和7年9月19日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス		
実施概要	<p>○身近な梓川の源流が上高地にあることを知る。</p> <p>○同じ川でも、流れや色に違いがあることに気づき川への愛情を深める。</p> <p>○ダムの役割を理解し、生活とのつながりを考える。</p>		
実施状況 (授業風景)	 <p>○ダムの見学 水殿ダムを見学する中で、ダムから感じる風を体感し、ダムの広さや深さに驚く様子が見られた。「どうしてこんなに大きなダムがあるの?」「この水はどこに繋がっているの?」などダムへの疑問や役割について考えていた。</p>		


	 <p>○上高地の梓川について理解を深める河原に降り、石や水に触れる中で普段流れている梓川をより身近に感じていた。波田の梓川と上高地の梓川の違いや石の形、川幅、水温などについて考え、気づいたことをワークシートにまとめていた。体を動かして学ぶ中で、主体的に学ぶ姿が多く見られた。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○梓川の源流について学ぶ</p>  <p>見学を進めていく中で、徐々に源流に近づき水温の違いや水量の違い、川幅が狭くなってきたことに興味を示し始めた。源流の近くに行くと水のきれいさや川の流れをじっくりと観察する様子が見られた。「上高地に来てよかった」と感想を話す児童の姿が印象的だった。改めて、松本市のよさに気づくことができた学習だった。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上高地の景色がとてもきれいでした。梓川は、水が透き通っていました。砂がさらさらできもちがよかったです。 ・清水川の水が澄んでいてきれいでした。触ってみるととても冷たくてびっくりしました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候にも恵まれ、上高地の素晴らしい景色を見ることができ、子どもたちにとって大変貴重な経験となった。 ・清水川を上流に向かって歩き、流れがなくなるところまでたどったことは、川の始まりを理解するには有用な活動であったように思う。 ・河童橋付近の河原に降りて、梓川の河原で遊びながら、実際に見て触れて感じたことで、梓川をより身近に感じることに繋がったと思う。


授業名	上高地源流学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3学年	参加人数	33人
担当者	清沢基臣	記入者	齊藤竜士
実施日(期間)	令和7年9月19日(金)		
講師名	合同会社リトルピークス		



<p>実施概要</p>	<p>○身近な梓川の源流が上高地にあることを知る。 ○同じ川でも、流れや色に違いがあることに気付き川への愛情を深める。 ○ダム役割を理解し、生活とのつながりを考える。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○ダムの上を歩く</p>  <p>水殿ダムの上からダム湖や放流口を見下ろし、「すごい高さだね」とその規模に驚く子どもたち。ガイドさんからレールの存在を教えてもらい、「これが動くんだ」「今年動いたことはあるんですか」とダムについて興味関心を深めている様子であった。</p> <p>○波田の梓川と上高地の梓川の違いを体感する</p>  <p>上高地を流れる川を見て「透き通ってる!」「魚が見えるよ!」と川の美しさに感動する子どもたち。川の水や石に触れて水温の低さを実感したり、石の形の違いを考えたりする中で、川の変化や成り立ちに興味を示していた。</p>
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○川の始まりをたどる</p>  <p>清水川の上流へ進むと、川がどんどん狭くなっていることに気づいていた。上高地のホテルで料理に使われるほどきれいな水であることを聞いた子どもたちは「そんなに綺麗なんだ」「だから魚がいっぱいいるのかな」と考えていた。やがて川の音が聞こえなくなると「ここが川の生まれる場所だよ」とガイドさんに言われ、耳を澄ませたままその静けさに浸っていた。</p>





授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の水がすごく冷たくてびっくりしました。 ・歩くのが大変だったけど、上高地の綺麗な景色を見られてよかったです。 ・外国人がたくさんいて、上高地が人気のある場所ということがわかりました。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの中から丁寧な案内をしてくださり、我々職員も勉強になる1日であった。 ・川の音が聞こえなくなる地点まで、実際に歩いて川を辿ったことは、川の始まりや生まれた場所を学ぶのに大変有効であった。 ・川や景色の美しさだけでなく、たくさんの観光客で賑わう様子からも上高地がなぜ大切にされているのかが分かった。そのような場所が自分たちの近くにあるということがどれだけ素晴らしいことかが子どもたちにも伝わったという点で、非常に有意義な活動となった。
--------	--

授業名	上高地源流学習		
学校名、学年、学級	松本市立波田小学校3学年	参加人数	31人
担当者	清沢基臣	記入者	清沢基臣
実施日(期間)	令和7年9月19日(金)		
講師名	リトルピークス		
実施概要	<p>○身近な梓川の源流が上高地にあることを知る。</p> <p>○同じ川でも、流れや色に違いがあることに気づき川への愛情を深める。</p> <p>○ダム役割を理解し、生活とのつながりを考える。</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>○ダムの上を歩く</p>  <p>水殿ダムを上から見下ろし、その大きさに圧倒された子ども達。「水の上に浮いているものは何?」「どうしてこんなに水を溜めているの?」など気になることをガイドさんにどんどん質問し、ダムの果たす役割について理解を深めていた。</p> <p>○「上高地の梓川」と「波田の梓川」の違いを考える</p>  <p>河原に降り、石や水に触れて自分たちの身近な波田の川と上高地の川の違いを見つけようと進んで自然と関わっていた。同じ梓川であっても石の形や川幅、川の流れなどに違いがあることに気づき、川の成り立ちや変化に興味を示していた。</p>		

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○梓川の源流に近づく</p>  <p>上高地を歩いていくにつれて、だんだんと水量が減り、川幅が狭くなってきた。源流に近づいてきたことを知ると、子ども達は一斉に駆け出し、源流の近くへと向かった。そして、みんなで耳を澄ませ、川の流れを確かめた。大きな梓川の始まりがこんなにも小さくてひっそりとした場所から始まることを知り、川への愛着を深める機会となった。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上高地の景色がとてもきれいでした。梓川は、波田の梓川よりも水が透き通っていました。それは、砂が白いからだと言ってくれました。 ・清水川の水が澄んでいてきれいでした。手を入れてみると冷たすぎてじんじんして痛かったです。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天候にも恵まれ、上高地の素晴らしい景色を見ることができ、子どもたちにとって大変貴重な経験となった。 ・清水川を上流に向かって歩き、流れがなくなるところまでたどったことは、川の始まりを理解するには大変有用な活動であったように思う。また、河童橋付近の河原に降りて、梓川の河原で遊べたことも、波田の梓川とのつながりを意識できてとてもよかった。

<p>授業名</p>	<p>上高地源流学習</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立波田小学校3学年</p>	<p>参加人数</p>	<p>31人</p>
<p>担当者</p>	<p>清沢基臣</p>	<p>記入者</p>	<p>横川晋平</p>
<p>実施日(期間)</p>	<p>令和7年9月19日(金)</p>		
<p>講師名</p>	<p>リトルピークス</p>		
<p>実施概要</p>	<p>○身近な梓川の源流が上高地にあることを知る。 ○同じ川でも、流れや色に違いがあることに気づき川への愛情を深める。 ○ダム役割を理解し、生活とのつながりを考える。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>		<p>○水殿ダムで梓川の水をためている</p> <p>最初に水殿ダムへ行く。ダム湖と放流口の様子などを上から眺めた。</p> <p>○上高地で梓川の様子をたどる</p> <p>田代橋から梓川に沿って歩く。途中にウェストン碑や河童橋、梓川の河原で遊びながら清水川をたどった。</p>	

<p>実施状況 (授業風景)</p>	<p>○上高地の水は冷たい！</p> <p>河川で遊びながら、担任が水温を測った。子どもたちの予想は様々。結果は13℃だったが、おもっていた以上の低さに驚く児童もいた。やはり上流になると冷たいということを感じたようだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウェストンさんが、上高地に来て山登りを楽しくしてくれたんだと感じました。 ・上高地の水は、のめるくらいきれいな水だった。 ・かっぱ橋をわたったら、橋がゆれてちょっとこわかったです。外国人もたくさんいました。楽しかったです。 ・かっぱ橋がつりばしだった。上高地の川に大きい魚も泳いでいた。あずさ川は思ったよりつめたかったし、しみず川の水はおいしかった。 ・かっぱ橋から見るあずさ川が一番きれいだった。水殿ダムと、いねこきダムは大きくてきれいだったから、また見たい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にある上高地の様子を、梓川をキーワードに十分実感することができた。 ・世界的に有名になった上高地へ学校の活動として行き、ガイドの方に教わる経験は貴重なものだった。


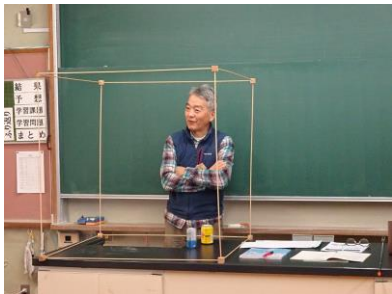
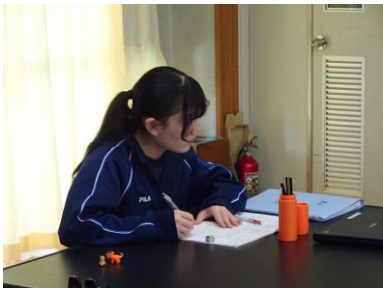
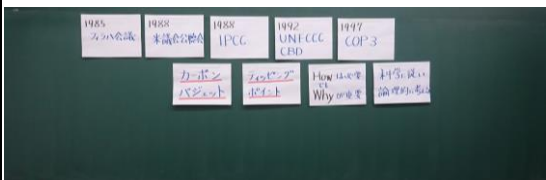
授 業 名	自然素材で簡単工作		
学校名、学年、学級、参加人数	松本市立二子小学校 特別支援学級	参加人数	22人
担当者	担任 戎春菜	記入者	戎春菜
実施日（期間）	令和7年11月12日（水）		
講師名	NPOわおん 代表 山田 勇氏		
実施概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の周りでお気に入りの枝をひとり一本見つける。 ・キーホルダーになるサイズに木を切る。のこぎりは2人1組で使用する。 ・目玉・ヒートン・ストラップをつける。時間が余った児童は色を塗ったり、やすりをかけたりする。 		
実施状況 (授業風景)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>二人一組でのこぎりを使いました。友だちが切りやすいように、力を入れて木をおさえました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>最後の仕上げ。好きな色をつけました。 素敵なキーホルダーができました。</p>		
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で選んだ枝が、かわいいキーホルダーになって嬉しい。 ・作り方が分かったから、家族にもプレゼントしたい。 ・のこぎりで切るのが難しかった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・のこぎりの使い方を丁寧に教えていただいたのがよかったです。子どもたちは一生懸命話を聞いていました。 ・木の枝にもいろいろな種類があること、それぞれの木の種類なども丁寧に教えていただき、児童も職員も知識が増えました。 ・1年から6年までの異年齢での活動でしたが、「のこぎりで切りたい子はたくさん切ってもいいよ！」など臨機応変に対応してくださり、低学年も高学年もそれぞれの楽しみ方ができました。 		

授 業 名	自然素材で簡単工作		
学校名、学年、学級	松本市立二子小学校 2年1組	参加人数	21名
担当者	降籬 妙子	記入者	降籬 妙子
実施日（期間）	令和7年9月25日（木）		
講師名	NPO法人わおん 山田 勇氏 山田 直美氏		
実施概要	<p>ノコギリ（小）の使い方を教えていただき、小枝の輪切りを体験する。また、切り分けた中から自分で選んだものを使って、木肌や木の節、年輪等を生かしたキーホルダーを作る。</p> <p>（小枝は、二子小学校の校地内にある木を伐採したのものを使った。また、校地内の木の観察を事前に担任が行い、木の秘密（樹皮や年輪、木肌）に触れ生命体としての「木」への思いを各自が心に宿したり、二子小学校にある様々な「木」に興味関心をもったりするきっかけづくりの機会をとった。）</p>		
実施状況 （授業風景）	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">小枝の輪切りに挑戦</p>  <p>木の種類によって、硬さが違うことが分かりました。</p> <p>木の香りに、ほっとした気持ちを楽しんでいました。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p style="text-align: center;">やすりがけに挑戦</p>  <p>やすり(紙)は、番号でザラザラ感が違うことを肌で感じ取りました。のこぎりで切った表面が、つるつる・さらさらになって、びっくり！</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div> <p>木の種類によって、木肌や年輪、色、形が違うことに、不思議さ（面白さ）を感じています。心を込めてやすりがけをしながら、キーホルダーにするパーツをどれにしようか、悩みながら選んでいます。</p> <p>この後、動眼をつけ、ヒートンをつけ、自分の好きな色のリリアンを結び付けて世界に一つのキーホルダーを完成させました。</p>		

	<p>* 9月2日に、校地内の木の観察をし、キーホルダーに変身させたい木の枝を自分で選びました。(木の枝は、伐採作業で出たものを使用) 9月25日まで、乾燥させる活動を、自身で責任を持って行いました。</p>
<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木って、結構太いんだな。強い風が吹いても倒れたりしないからすごい。根っこも見えたらいいのにな。 ○木の表面が縦に裂けていたり灰色っぽい色だったりして、木の色ってこげ茶色って思っていたから、本当は違うんだって知って勉強になった。 ○つるつるもざらざらも、他の生き物(動物)から自分のことを守ったり、逆に他の動物のことを守ってあげたりするための工夫にもなっているって知って、木は黙っているけどすごく頭がよくて優しいんだって分かった。 ○何か、すごくいい匂いがした。 ○バウムクーヘンみたいなもようは、木が生きてきた証拠って知って、それを見ていたら、「お誕生日おめでとう」って言いたい気持ちになった。 ○木の種類で硬さも違うことを知って、びっくりした。 ○のこぎりで切るのもやすりをかけるのも結構大変だった。大工さんとかはすごいお仕事をしているんだなって思った。 ○木の節とかでこぼこを鼻にして、目を付けたら可愛くなって、キーホルダーを自分で作れてうれしかった。 ○どこに目をつけるか考えている時に、ずーっと木を見ていて、こんなに木を見続けたことは今までなかったなあって思った。 ○みんな同じ材料から作っているのに、全部違う感じのキーホルダーになっていて、本当に世界に一つだと思った。自分で作ったから大切にしたい。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <p>9月25日の講座の前に、二子小学校の校地内にある木の観察をしました。木の特徴などを簡単に話しながら校地内をぐるっと一周散策して観察しました。桜や松、梅、銀杏、楓、榿、栃の木、プルーン、杏、柿、かりん、朴の木まであり、びっくりしていました。また、朴の木の下はあまり草が生えていないことに気づき、朴の木の特性や、木も自分の命を守るために様々な知恵をもっていることを知って驚いていました。改めて自分の学校には、いろいろな種類の木がたくさん植えられていることを知りました。木肌の違いや木の香り、葉っぱの違いを柔らかな感性で感じ取っていた子ども達……。発するつぶやきは、大人では使いこなせない豊かな言葉で、「子どもって、やっぱりすごいな…。」としみじみ感じました。</p> <p>春は、“笹賀鴛鴦桜”の美しさにも見とれていた子ども達。様々な木の息吹を感じるたびに、二子小学校を創設するにあたりこの地域の方が子ども達に…と寄せてくださった思いに心を寄せる子ども達になってくれたらうれしく思います。</p> <p>子ども達にとって、大切な母校となるこの二子小学校の素晴らしさの一つを、“木”から感じ取ってほしいと願い、NPO法人わおんの山田様ご夫妻を講師にお呼びし、二子小学校校地内の木の枝(伐採作業で生じた木の枝)を材料にした簡単な工作をしました。母校に誇りを持つきっかけ作りとして、とてもありがたい体験学習ができました。</p>

授 業 名	ぬかくどご飯体験		
学校名、学年、学級	二子小学校 3年1組	参加人数	32名
担当者	宮崎 正資	記入者	宮崎 正資
実施日（期間）	令和7年12月12日（金）		
講師名	安曇野ふるさと応援団 宮崎 崇徳氏 他4名		
実施概要	ぬかくど釜でご飯を炊き、そのご飯をその場でおにぎりにして試食した。ご飯が炊き上がるまでの時間に、お米やぬかくど釜についての話をしていただき、理解を深めた。		
実施状況 (授業風景)	<p>①「もみがら」を一人一人がお釜の中に入れました。その後点火してもらいました。</p>  <p>②ぬかくどの話とお米の話を行いました。ぬかくど釜については、紙芝居の読み聞かせを講師と学校職員でしました。また、子どもたちに向けて田んぼやお米についてクイズをいろいろと出していただき、子どもたちも進んで答えていたので、楽しく話を聞くことができました。その中で、お釜がとても効率がよく安全であること、燃料がもみがらのため、エコにつながるなどについて教えていただきました。松本や安曇野地区は、水源が豊富であることが一番心に残ったようで、自分たちの地域についての知識も広がりしました。</p>  <p>③ご飯が炊き上がり、お釜の蓋を開けると、もわっとたくさんの湯気が上がり、湯気からは炊き立てのごはんのいい香りを感じることができました。塩で味付けをもらい、専用ケースを使っておにぎりにします。握らない方がおいしいと聞き、みんな大事に扱っていました。</p>  <p>④試食の時間が来ると、何人かで輪になって笑顔で食べる姿があちこちで見られました。「甘い。」「おいしい。」との感想が自然に口から発せられました。また、安曇野の地下水も用意していただき、何杯もおかわりして飲んでいました。終わりの会では、子どもたちに感想を言ってもらいましたが、「いつものごはんよりもおいしく感じた。」と、とても満足そうでした。</p> 		

<p>授業について</p>	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近にあるものを利用して生活にいかしていく昔の人の工夫のすごさを感じることができた。 ・お米を扱ったことで、お米を炊く前にはお米を研ぐことさえ知らなかった子どもも多く、食べ物のおりがたさや家でも手伝いをしてみようという気持ちをもつことができた。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぬかくどという昔の道具や地下水などについて知り、エコロジーや自分たちの住む地域について興味をもった子が多かった。 ・このような活動は、準備が大変なので自分たちだけではなかなか取り組めない。今回は、多くのことを安曇野ふるさと応援団の皆様にごやっていただき、実現することができた。万全の態勢でご準備いただき、大変有難かった。
---------------	--

授 業 名	気候変動と私たちのつながり		
学校名、学年、学級	松本市立安曇中学校3年	参加人数	6人
担当者	斉藤恵太郎	記入者	斉藤恵太郎
実施日 (期間)	令和8年1月19日(月)		
講師名	自然エネルギーネットまつもと 平島 安人氏		
実施概要	<p>気候変動の基本的な知識の獲得と現状を知ることで、環境にかかる事柄を自分事としてとらえるきっかけとしたい。その後「自分は・・・」となる展開の導入として本時間を設定した。</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>・平島さんの自己紹介のあと早速授業に入った。</p>  <p>・世界の空気中に存在する二酸化炭素の割合が増加していることを最新のデータをグラフ化していただき、視覚的に増加している現状を説明いただいた。その後、日本における変化の推移とそれに伴う平均気温の変化も提示いただいた。より生徒に身近で起こっていることを感じてもらうために、周辺地域の気温の変化を示し説明を加えていただいた。</p>  <p>・空気中の二酸化炭素の割合は1%以下であることは、既習内容で数値として理解していても、実際に1m³の枠のなかで、小さい缶程度の割合だということを視覚的に説明いただいた。その中で「割合が小さいからこそ、影響を受けやすい。」生徒たちは、頷きながらメモを取ったり、1m³と缶の大きさを比較しながら話を聴いていた。</p>  <p>・平島さんの話では、原子・分子の内容、大気の様子、炭素の循環などこれまでの理科の授業で学習した内容も含まれ、教科書の終章となるまとめの内容となった。また、身近な上高地の植物や降水量についても触れていただき、これまで総合的な学習の時間で積み重ねてきた学習とも重なる内容に、真剣に記録する様子も見られた。</p> <p>説明</p> <p>・最後に、ここまでの環境変化を人間はどのように関わってきたか。時間経過と世界の流れ、今後キーワードになるであろう用語をリズムよく説明を受けたことで、頭の中が整理されたように感じた。</p> 		

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等


- ・講師の方から提示される資料が教科書になかったり、最新のデータだったりすることから、興味深く資料を見ながら話を聴く姿が印象的だった。
- ・振り返りの記述より（一部）
 - ・いまの日本の現状を改めて感じることができました。他の地域と比べて奈川が上がり方が少し違って面白いなと思ったし、なんでだろうなど疑問にも感じた。
 - ・奈川地区は松本市よりも最高気温の平均が高くなってきていることに驚いた。北半球のほうが二酸化炭素の排出量が多いと知ってなるほどなと思った。
 - ・昔から地球温暖化がわかっていたのに自分の利益のために隠してなんでそんな人達が最初にみつけたんだよと思った。（石炭を掘り出してる人たちだから最初に見つけるのは当たり前っちゃ当たり前だけどそうじゃなく、、、）もう掘り出すのを減らすのではなく二酸化炭素を吸収することに力を入れたほうが解決に近づくのかも？
 - ・地球の温度が1.5度上がるだけでも自然環境が変わってしまったり、オゾン層が破壊されるなどの僕らにとっても地球にとっても悪いことが起こるので、自分のことだと思って考えていきたいと思いました。

2 先生方の感想、要望等

- ・教科書の終章を3年間のまとめの時間と考えたとき、これまで学んできたこと、教科をこえて学び続ける生徒であるためにどのようなことができるかを考え、今回授業をお願いしました。平島さんには最新のデータを基に現在世界で起こっている事実を中学生にもわかりやすく解説いただきありがとうございました。生徒も自分の意見をもって次の時間に向かいそうです。

環境教育支援事業実施報告書

【番号：28-2】

授 業 名	気候変動と私たちのつながり		
学校名、学年、学級	安曇中学校3年	参加人数	6人
担当者	斉藤 恵太郎	記入者	斉藤 恵太郎
実施日（期間）	令和8年1月29日（木）		
講師名	自然エネルギーネットまつもと 平島 安人氏		
実施概要	平島さんのお話をお聴きし、「自分事」として課題を設定し調べ学習を2時間行った。今回は平島さんに生徒一人ひとりと対話していただき、途中経過、疑問、方向模索など多くの話を聴き、これからの調べ学習のヒントとする機会となった。		
実施状況 （授業風景）	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 前回の話を受け、生徒個人で追究課題を設定し2時間弱の調べ学習をおこなった。今回は、途中経過やここまでの成果を平島さんと直接対話し思考の整理を行った。2回目ということもあり、平島さんと交流する表情も和やかに語る姿があった。 		

実施状況
(授業風景)

・1人5分程度の対話の時間を惜しむように、初めは向かい合って説明をしていた生徒が後半は画面を共有し、自分のこだわりや迷いを平島さんに伝えていた。平島さんは、思考のヒントやきっかけを加えながら生徒の話丁寧にアドバイス受けた。



・この日は授業参観日で保護者の方も教室に居ました。平島さんと話をするまでにおうちの方に向けてシミュレーションしたり、自分が学んだことを伝えるたりとこれまでの学びを自信をもって表現する姿が随所で見られた。

・すべての生徒と対話終了後に、この疑問を全体に投げかけつつも、日本の、世界の状況と今後のシナリオ予想を提示し異、今後我々に残された方法をいくつかシミュレーションを交え説明し、授業を締めくくった。



授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

・振り返りの記述より（一部）

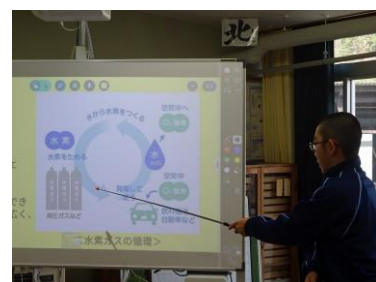
- ・ 生物多様性について考えてひらさんにプレゼンしてみて、言葉にすることで自分がこれから何を調べたらいいのかが少し分かりました。その後、ひらさんからの言葉を聞いて、やはり生物多様性については、難しくいろいろな事情が絡まっている問題なんだと理解したけど、だからこそ、知らないことを調べる価値があるのだと感じました！ひらさんが言っていた本も読んでみたいです。
- ・ 自分が調べてきたものを見てもらって、最後の話でもメタンの話が出てきて大事なことだと気づいたのでこのあともメタンについて詳しく調べたいと思いました。
- ・ リジェネラティブ農業などの革命に目を向けたいと思った。対策と適応、温暖化は止まっても、気温が下がることは不可能だと思うので、適応にもちゃんと向き合っていきたいと思った。
- ・ 10年、20年は二酸化炭素の排出量を減らしたとしても気温上昇は続くことを初めて知った。目標1.5℃以内はなかなかお話を聞いていると難しそうなので気温が上がったときに自分たちがどのように過ごしていくか、備えることが重要だと学んだ。
- ・ 自分で調べたものをしっかり伝えられてよかった。改めて話を聞いて自分で調べたものを完成させたいと思った。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上がり続けはしてしまうけれど、その後をどうやって抑えるかが重要だとわかった。気温上昇を抑えるだけじゃなく、それに適応する力も身に着けなければいけないということがとても印象的だった。 <p>2 先生方の感想、要望等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「自ら学びに向かって獲得したことは、他者に伝えたい」という学習の本質を目の当たりにした。教師主導の一斉授業にも価値はあるが、平島さんからきっかけをいただき、探究したい方向へ進んだ生徒の推進力と発信力に驚かされた1時間だった。
--	---

環境教育支援事業実施報告書

【番号：28-3】

授 業 名	気候変動と私たちのつながり		
学校名、学年、学級	松本市立安曇中学校 3年	参加人数	6人
担当者	斉藤 恵太郎	記入者	斉藤 恵太郎
実施日（期間）	令和8年2月24日（水）		
師名	自然エネルギーネットまつもと 平島 安人氏		
実施概要	<p>「気候変動と私たちのつながり」第3時間目として、生徒が自ら調べた環境問題を発表した。発表後平島さんからSDGsの本質である人権や「声を上げる」等の行動の大切さのメッセージ平島さんとの授業を終えた。</p>		
実施状況 (授業風景)	<p>・ 事前の授業において、自らの関心に基づきテーマを深掘りする「個人追究の時間」を2時間設定した。そして迎えた本時は、これまで各々が調べ上げたこと、そこから深く考えたこと、そして素直に感じたことをクラス全体に向けて発表し合う共有の時間とした。発表の直前には、互いに「緊張するね」とそわそわしながら不安を口にしていた生徒たちでしたが、いざ自分の順番が回ってくると、その表情は真剣そのものへと変わった。みんなの前に立つと、先ほどの緊張を微塵も感じさせないほど堂々とした態度で自らの調査内容を語り、さらには「この問題に対して、今の自分に具体的に何ができるのか」という実践的な一歩までも力強く発表する生徒もいた。</p> <p>・ 発表の場面では、単に原稿を読み上げるだけでなく、提示した図表を指さしながら重要なポイントを強調し、聞いている仲間に向けて熱心に訴えかける姿が教室が多く見られた。これは、第1時の授業で平島さんの貴重なお話を直接聴き、気候変動という問題を「自分ごと」として深く受け止めたことが大きく影響している現れだと感じた。その強い思いを原動力にして、自らが追究したいテーマを主体的に掘り下げて調べてきたからこそ、生徒たちの語る言葉には確かな説得力と熱を帯びた力があり、終始堂々とした自信に満ちた素晴らしい発表が続いた。</p>		



・一人の発表が終わるたびに平島さんから短評をいただき、「みんなは？」と全体に投げかけをしてくださいました。それにより、発表を聴くこと・考えること「自分事として」とより深く考えている様子があった。



・最後に講師の平島さんから総評をいただきました。さらに中学生に向けたメッセージをいただき、授業は終了。平島さんより「国際法上、国家には気候を保護する義務があり、SDGsの本質である「人権」を守り誰もが幸せに生きる社会への変革が求められています。気候危機に対しては、節電や「声を上げる」など誰もが

できる10の行動があります。すでに若者主体の気候訴訟や中学生の環境学習など具体的な行動が広がっており、林業を起源とする「持続可能」な脱炭素社会の実現に向けた歩みが進んでいます。考えることをこれからも大切にしてください」

授業について

1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等

- ・発表が一番最初でとても緊張しました。でも、いままで調べたまとめを発表できて良かったし、話すと、「私けっこう調べてたんだなあ」って思いました。平島さんがipccのことを言ってたようにまだまだ調べることができるんだなと思いました。
- ・調べていたことをしっかり発表できてよかった。これからは未来のことを考えていきたい。
- ・自分が今まで調べてきたことを詳しくみんなに発表することができてよかった。発表を聞いて全然自分とも違う発表が聞けて生物、マイクロプラスチックなどの話の観点からも環境問題を聴けて改めて環境問題の深刻さを知れた。
- ・発表を聞いて、知らないことが多くて、温暖化について考えるには、もっと多くの情報を知りたいなと思った。自分だけじゃなく、世界中の人が知れるようにしてほしいです。
- ・海洋汚染と温暖化の関係について調べて発表して、ひらさんに独特だと言われてなかなかの観点から学ぶことができ良い勉強になった。またひらさんの発表では考えて声を上げる大切さを改めて知ることができた。また、SDGsの本質は人権ということを知って、みんなの人権を守るためにもSDGsについてしっかり考えられるような大人になっていきたいと思う。
- ・自分で調べたり平島さんの資料を見ていく中で、自分の意見をしっかり言うことが世の中を一番変えられるのだと気づけた。自分の調べたことは自分の将来にも活用していきたい。

2 先生方の感想、要望等

- ・今回の最終発表まで、生徒は終始「自分事」として追究していた。中学校を巣立つ生徒たちが、これからは疑問に思うことや気になることを自分の納得解が得られるまで追究する楽しさを、感じ取ってくれたのではないかなと思う。

授 業 名	防災教育「命の5要素について知ろう」		
学校名、学年、学級	松本市島内小学校 5年4組	参加人数	34人
担当者	三村 小百合	記入者	三村 小百合
実施日（期間）	令和7年10月27日、11月4日、11月11日		
講師名	すえなみBC防災スクール代表 末次 克洋氏		
実施概要	<p>①飲み水についてや、ろ過装置の仕組みを知り、実際に自分たちでろ過装置を作り、泥水をろ過する体験を行った。</p> <p>②身近なものを使っての着火の方法を学び、実際、屋内・屋外それぞれで着火体験をした。</p> <p>③着火の時と同様に、身近な道具を使って煮沸する体験をし、グループごとお湯を沸かし、スープを飲んだ。</p>		
実施状況 (授業風景)	 <p>少しずつ、水が落ちてきたよ！ きれいになってる！！</p>	 <p>摩擦の力で火をおこしたいけれど、 なかなか難しいんだね。</p>	
	 <p>頑張って太陽の光を集めよう！</p>	 <p>かまどで調理した時の、薪の置き方と一緒にだね。</p>	
授業について	<p>1 授業を通しての子どもたちの反応、感想等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命の5要素の話を聞いて、家族にも伝えたいと思った。自分は簡単に着火できると思っていたけれど、火をおこすのは難しかった。 ・再利用できる水のことも分かったので、工場などの排水など水が汚染されていくと、自分たちのためにもならないことが分かった。だから環境を守ることが大事だと思った。 ・ろ過装置を使って、泥水がどんどんきれいになっていくのが楽しかった様子。翌日以降も、登校するとまずろ過をしてさらにきれいになる水を楽しむ姿があちこちで見られた。 		

2 先生方の感想、要望等

自分では伝えられない、専門的な内容をたくさんご教示いただき、ありがたかった。講習と体験をうまく組み合わせながら、子どもたちの実態と思考の流れに沿って授業を行ってくださったので、子どもたちはさらに学びたいことや知りたいことを深め、非常に貴重な体験活動でした。

また、発展的に様々な探究活動や、体験活動を考えていかれるよう、たくさん知識を教えていただき、総合の時間の柱としてさらに今後も継続していきたいと感じました。

普段、消極的な子が、いきいきと目を輝かせながら終始、一番前で講師の先生の話を食べるように聞き、体験にのめりこんでいたことがとても印象的でした。また機会があれば、お願いしたいと思いました。

<p>授 業 名</p>	<p>冬の上高地散策</p>		
<p>学校名、学年、学級</p>	<p>松本市立安曇小学校5年</p>	<p>参加人数</p>	<p>8人</p>
<p>担当者</p>	<p>横山 享司</p>	<p>記入者</p>	<p>横山 享司</p>
<p>実施日（期間）</p>	<p>令和8年2月26日(木)</p>		
<p>講師名</p>	<p>合同会社リトルピークス 小峰 邦良氏</p>		
<p>実施概要</p>	<p>1 冬の「平らな上高地」に足を踏み入れ、観光シーズンには入れない場所を散策し、美しさや広さを感じ、その場の自然に親しみ、夏場の景色がどのように変化しているのかを実際に見て体感する。 2 特殊な地形が生み出した「水」の存在について追究する。 3 植物や動物が厳しい寒さをどのように乗り切っているのか観察する。</p>		
<p>実施状況 (授業風景)</p>	<div data-bbox="475 667 869 958"> </div> <p data-bbox="901 667 1482 958"> 初めて「冬の上高地」に足を踏み入れ、治山道の手前で車を降りた子ども達は「バス道」を歩いて徒歩でバスターミナルまで向かった。いきなり目に入ったのは雪崩の痕跡。道中十数カ所あった。小峰氏によると「おそらく昨日起きた雪崩」という。道路にはみ出ている「デブリ」がその生々しさを象徴していた。中には防護柵を突き破って流れ込んでいるデブリを見て雪崩のパワーと怖さを実感した子ども達。かつて渓谷だったこの地に雪崩が発生しこの場所で止まるのは上高地が平らだからであることを実感的にもって学んだ子ども達だった。 </p> <div data-bbox="475 1176 826 1438"> </div> <p data-bbox="874 1176 1482 1438"> これまで何度も上高地を訪れた子ども達だったがバス道を徒歩で歩くのは初めてだった。車では感じなかった緩やかな傾斜が足に負荷がかかっていることを体感。ゆるやかな扇状地のアップダウンを歩くことで実感することができた。道中に湧き水があるのはそこが扇端部であるから、せり出してくる岩盤はかつて渓谷だった上高地の尾根部分にあたることを学びながら、白谷山噴火による「古上高地」の存在を想起する子ども達。今歩いている数百メートル下にかつての渓谷の底があることを想像してみた。また、道路中央の人が行き交う雪面は固くなっているが少し左右を歩くと雪を踏み抜いてしまうことも知った。人が歩くことで雪は「圧密・凝結・沈降」し、固くしっかりした雪になることを教えていただいた。この日は気温が高く、午後はザラメ状態の雪に変わっていった。 </p> <p data-bbox="486 1780 1482 1818"> 焼岳をバックに記念撮影。わずかに噴煙が出ているのが目視できた。現在噴火警戒レベル2で半径1kmの入山が規制されている。小峰氏によると焼岳は三つの沢から構成されているという。東日本大震災時にはここで山鳴りがしたらしい。大正池を出現させたこの山。子ども達は昨年度からこの焼岳に登って平らな上高地を南から俯瞰したいという願いを持っている。昨年同様に噴火警戒レベルが下がることを願う。 </p> <div data-bbox="475 1854 821 2112"> </div>		



庄巻の穂高連峰をバックに河童橋から手を振る子ども達。川には重機が何台もあり、梓川や支流の流路を変える工事をしていた。このようにして「平らな上高地」は人の手によって維持されていることを再認識した。しかし、「自然の力は人の手を加えても元に戻ってしまう」という小峰氏の話。昨年度信州大学原山智名誉教授が語った「何

もしなければ2～300年後に上高地は元のV字谷に戻ってしまう」という話がつながった。これから人はどのように上高地とかわかっていけばいいのか、難しく重要な問題に直面した。



上高地を訪れると必ず立ち寄る清水川の水に触れ、ペットボトルに水を汲んだ子ども達。冬なのに流量は夏と変わらない

ように見えた。水温もあまり変わっていないように見えた。ふと見ると枝にバイカモが吊り下がっていた。想像する子ども達。「サルの仕業かな」「うーん、雪の重みで枝が川に入って、雪が解けたらバイカモを引っかけて元にもどったのかも」と小さな現象にも想像力を膨らませることができるのもこうした自然散策の魅力だ。最後に道路脇にある「雪庇」に登る競争をした。もがいてももがいても登れない子ども達。楽々と登った小峰氏から「雪を落として足場にし、雪庇に手を突っ込んで体を持ち上げると登れるよ」とアドバイスをもらった。コツをつかんだ子から登り始めることができた。登山技術の一つも学ぶことができた。

授業について

【児童のふり返りより】冬の上高地も絶景でした。夏に見る景色と違ってワクワクしました。雪がついているせいかいつもより穂高連峰が大きく見えてびっくりしました。雪崩にも全層や表層などいろいろな種類があることがわかりました。デブリを見て雪崩の迫力が想像できました。サルなどは冬の寒さに負けずに生き延びていることがわかりました。雪の壁を登った時、しっかり固めたら自分の体重をしっかり支えることができてすごいと思いました。来年は焼岳に登りたいと思います。

【担任より】今年度は、自然公園財団上高地支部の方とのフィールドワークで「平らな上高地を維持管理している現場」を見学し、西穂丸山で「平らな上高地」を俯瞰した子ども達。学校花壇に「上高地リアルジオラマ」を製作し、地形の変化を経過観察し、カルデラ噴火実験や槍ヶ岳再現のための氷河実験を行ってきた子ども達。今回初めて冬の上高地に出向いてフィールドワークを行った。小峰氏の案内で「雪」への見方・考え方大きく変わった。雪崩のパワーと怖さ、雪の性質、その中で人は何をすべきか体験を伴って学ぶことができた。また、スノーシーズンだからこそ見やすくなる地形の様子、そしてそこにいる生き物の営みも感じることもできた。教室では絶対に学ぶことができない大自然と向き合う学びをすることができた子ども達は、さらに次への追究とながっていくと思われる。なかなか立ち入ることができない「冬の平らな上高地」で学ぶ機会をくださった小峰氏を始め、関係機関の方に心より感謝したい。

令和7年度

松本市小中学校環境教育支援事業

学習プログラム一覧



令和7年度 小中学校環境教育支援事業 環境学習プログラム一覧

分類	No	講座名称	講師
校内	きく・みる	1 気候変動とSDGs	自然エネルギーネットまつもと
		2 ツキノワグマの生態を知ろう	NPO法人信州ツキノワグマ研究会
		3 山へ行こう！歩いて。感じて。学ぶ自然環境。	認定NPO法人信州まつもとと山岳ガイド協会やまたみ
		4 まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」	松本市環境・地域エネルギー課
		5 地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
		6 生きものから学ぶ環境学習	松本ホテル学(まなぶ)会
		7 梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	合同会社リトルピークス
		8 学校の地下はどうなってる？ 知ろう触ろう『地下水・井戸・地震』	株式会社サクセン
		9 セブン-イレブンとめざす未来～地域や社会と共に～	セブン-イレブン・ジャパン
		10 気候変動 大人の責任【ゼロカーボン学習プログラム】	自然エネルギーネットまつもと
		11 デジタル地球儀で学ぶ地球環境問題、 地球温暖化問題とゼロカーボン【ゼロカーボン学習プログラム】	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
校内	たべる	12 むかくどご飯炊き体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
	つくる	13 竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
		14 自然素材で簡単工作	NPO法人わおん
		15 つくってみよう！私たちのまわりの温暖化対策マップ 【ゼロカーボン学習プログラム】	NPO法人地域づくり工房
	実験する	16 木質バイオマスエネルギー利用方法	自然エネルギーネットまつもと
		17 あかりのエコ教室	パナソニック株式会社エレクトリックワークス社 松本電材営業所
		18 ワクワク下水道教室	松本市上下水道局下水道課
		19 小水力発電機等による自然エネルギー体験	松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)
		20 アウトドアから学ぶ防災・災害対策	すえなみBC防災スクール
		21 手作りろ過器で飲み水作り(水の循環と森の役割を学ぶ)	すえなみBC防災スクール
		22 着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学	すえなみBC防災スクール
23 校庭の生き物(小動物)を探し、観察、実験してみよう！	松本ホテル学(まなぶ)会		
校外	公園等	24 身近な自然観察	自然観察の会 ひこばえ
	川	25 水辺の観察会	NPO法人えんどっこ
		26 水辺の生物の観察会	川の自然と文化研究所
		27 水辺の生き物観察から考えよう！	松本ホテル学(まなぶ)会
		28 地元の川大好き！リバーアドベンチャー	合同会社リトルピークス
		29 梓川&奈良井川&犀川ラフティング	合同会社リトルピークス
		30 水殿ダムラフトピクニック(ダム見学付き)	合同会社リトルピークス
	山	31 地元の山が100倍好きになる登山学	合同会社リトルピークス
		32 里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？	株式会社柳沢林業
	特定の場所 ・その他	33 謎解きウォーク体験	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団
34 手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について		いきものみつけファームin松本推進協議会	
校内外両方で可	35 いきもの探しと観察及び環境教育講座	いきものみつけファームin松本推進協議会	
	36 プランター菜園講座	いきものみつけファームin松本推進協議会	
	37 体験！体感！外あそび！！	信州やがいたいけん楽校がらす	
	38 体験して学ぶ「自然や環境」について	体験創庫かけはし	
	39 火おこしと簡単な野外料理、農業体験	体験創庫かけはし	
	40 自然体感プログラム	NPO法人わおん	
	41 外あそびの達人講座	NPO法人わおん	
	42 キャンプ・野外生活 基礎	すえなみBC防災スクール	


環境学習プログラム 教科・領域との関連について

ご要望に応じ対応可能ですので、あくまで参考としてください。


分類	No	講座名称	関連する主な教科・領域						
			社会	理科	図工 美術	技術 家庭	生活	総合	
校内	きく・みる	1	気候変動とSDGs	○	○				○
		2	ツキノワグマの生態を知ろう					○	○
		3	山へ行こう！歩いて。感じて。学が自然環境。	○	○				○
		4	まつもとの環境について学ぼう 【松本市環境基本計画関連講座】	○					○
		5	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ	○	○				○
		6	生きものから学ぶ環境学習	○	○				○
		7	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー	○	○			○	○
		8	学校の地下はどうなってる？ 知ろう触ろう『地下水・井戸・地震』	○	○				○
		9	セブン・イレブンとめざす未来～地域や社会と共に～	○	○		○	○	○
		10	気候変動 大人の責任【ゼロカーボン学習プログラム】	○	○				○
		11	デジタル地球儀で学ぶ地球環境問題、地球温暖化問題 とゼロカーボン【ゼロカーボン学習プログラム】	○	○				○
	たべる	12	ぬかくどご飯炊き体験	○			○		○
		つくる	13	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり			○		
	14		自然素材で簡単工作			○		○	○
	15		つくってみよう！私たちのまわりの温暖化対策マップ 【ゼロカーボン学習プログラム】	○	○				○
	実験する	16	木質バイオマスエネルギー利用方法		○				○
		17	あかりのエコ教室		○				○
		18	ワクワク下水道教室		○				○
		19	小水力発電機等による自然エネルギー体験		○				○
		20	アウトドアから学ぶ防災・災害対策		○		○	○	○
		21	手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ）	○	○				○
		22	着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学		○		○	○	○
		23	校庭の生き物（小動物）を探し、観察、実験してみよう！	○	○				○
校外	公園等	24	身近な自然観察		○			○	○
		川	25	水辺の観察会	○	○			○
	26		水辺の生物の観察会	○	○			○	○
	27		水辺の生き物観察から考えよう！		○			○	○
	28		地元の川大好き！リバーアドベンチャー					○	○
	29		梓川&奈良井川&犀川ラフティング					○	○
	30		水殿ダムラフトピクニック（ダム見学付き）					○	○
	山	31	地元の山が100倍好きになる登山学					○	○
		32	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？					○	○
	特定の場 所・その他	33	謎解きウォーク体験	○			○		○
34		手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はげかけ 精米工場の見学と、流通、循環について	○				○	○	
校内外両方で可	35	いきもの探しと観察及び環境教育講座		○			○	○	
	36	プランター菜園講座					○	○	
	37	体験！体感！ 外あそび！！	○	○			○	○	
	38	体験して学ぶ「自然や環境」について	○	○	○		○	○	
	39	火おこしと簡単な野外料理、農業体験	○			○	○	○	
	40	自然体感プログラム		○			○	○	
	41	外あそびの達人講座					○	○	
	42	キャンプ・野外生活 基礎					○	○	

● 講師の選定、講座内容の作成に関して、環境教育講師団体、中信地区環境教育ネットワーク等の協力をいただいています。


【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	気候変動とSDGs	(講座 No. 1)
支援事業内容	<p>気候変動とSDGsを学びます。 気候変動とはどんなことで、地球上で何が起きているのか 私たちはこれからどうしたらよいか SDGsとは何か、その本質はどのようなことなのか</p> 	
対象	小学4年生以上	
時間数	1時間程度	
講師人数	子どもの人数に関係なく講師1人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>	
学校制で必要な準備	プロジェクターとスクリーン(なければ講師が持参します)	
講師からの持込資料等	説明用教材	
講師について	2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。	
開催実績	2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス	
その他	<p>・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.10、16の講座も提供しています。</p>	
講師連絡先	<p>【団体名】自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】平島安人 【代表者名】平島安人 【TEL】0266-52-0160(留守電) 【FAX】0266-52-0160 【Eメール】nematsu@gmail.com 【HP】http://www.enet-matsumoto.net 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3</p>	
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>	

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	ツキノワグマの生態を知ろう	(講座 No. 2)
支援事業内容	<p>講師を派遣し学校近隣(校内を含む)で行う学習支援 パワーポイントを用いた講義 学習教材(紙芝居・かるた)を用いた学習</p> 	
対象	小学1年生から中学3年生まで	
時間数	45～90分程度	
講師人数	子ども100人に講師2人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>	
学校制で必要な準備	<p>・スクリーン ・プロジェクター</p>	
講師からの持込資料等	<p>・パソコン ・トランクキット(クマの毛皮、頭骨等)、クマの紙芝居、かるた</p>	
講師について	ツキノワグマの生息環境の保護保全を図り、野生動物と人間の共存を実現することを目的として、25年以上に渡り、ツキノワグマの生態研究および保護管理の活動を行っています。授業は、実際にツキノワグマの研究を行うメンバーが実施します。	
開催実績	<p>平成28年度 奈川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう 平成30年度 田川小学校 山の動物 ツキノワグマってどんな動物？ 令和2年度 大野川小学校 ツキノワグマの生態を知ろう クマ授業 令和3年度 安曇小中学校 クマ授業 令和5年度 安曇小学校 クマ授業 令和6年度 大野川小学校 クマ授業</p>	
その他		
講師連絡先	<p>【団体名】NP0法人 信州ツキノワグマ研究会 【担当者名】瀧井晴子・浜口あかり 【代表者名】岸元良輔 【TEL】0263-36-1884 (不在が多いため、他の方法でご連絡ください) 【FAX】0263-36-1884 【Eメール】kumaken_shinshu@yahoo.co.jp 【HP】https://kumakenshinshu.wixsite.com/kumaken 【住所】〒390-0876 松本市開智2-9-8</p>	
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>	

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	山へ行く！歩いて。感じて。学が自然環境。(講座 No. 3)
支援事業内容	<p>学校登山の事前学習とあわせて、信州の山を知って楽しむための講座。山の魅力、山の特徴、登山の効用、山の楽しみ方、山との関わりなどについて、講義とアクティブラーニング(能動的な学習)を通して学びます。子ども達が山を好きになることは、これからの地域の魅力作りパワースタットの源になります。そして、SDGs(持続可能な開発目標)を意識した地域づくりの原点にもなります。また、先生方にも現在の登山のスタンダードを知っていただき、きつい訓練登山的な考え方からの解放を目指します。</p>  
対象	小学4年生から中学3年生まで、特別支援学校
時間数	45分程度
講師人数	1学年に講師1人(学年単位で実施できます。)
費用	<p>① 講師謝礼 → 【手数料】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間分毎)</p> <p>② コース・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③ 個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p> <p>④ 交通費 37円/km(市旅費規程) × (学校から住所までの距離)</p>
学校側に必要な準備	パワーポイントの使用できると、軽い運動ができるスペース
講師からの持ち込み資料等	パソコン
講師について	2005年に設立された、長野県の中岳地帯を主な活動場所とするNPO法人です。登山ガイド・自然ガイドのライセンス保持者で構成されています。登山ガイドの松場省吾他、学校登山サポータープログラムを長年担当しているガイドが実施いたします。信州の子ども達が、山好きになるきっかけを作りたい。山好きになって、山での遊びを沢山知ってもらえば、登山や野外での活動は大人になっても続けられることができます。“持続可能な登山と自然体験”を目指して活動しています。
開催実績	2012、14年度 会田中 2022年 源池小 2023年 源池小、並柳小 その他学校登山、上高地学習など多数実績があります。
その他	学校登山実施の申し込みがなくてもご利用いただけます。 小学校の美ヶ原登山などへの出前講座も可能です。
講師連絡先	<p>【団体名】信州まつもと山岳ガイド協会やまたみ 【担当者名】福田浩道【代表者名】植松晃岳 【TEL】0263-34-1543 【© FAX】0263-55-6194 【メール】info@yamatami.com 【HP】http://www.yamatami.com 【住所】〒390-0304 松本市大村1082-4</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記FAX番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	まつもとの環境について学ぼう 「松本市環境基本計画関連講座」 (講座 No. 4)
支援事業内容	<p>私たちの暮らす松本市には、どんな「環境」があるでしょうか。また、その「環境」をよくするために何ができるでしょうか。</p> <p>松本市環境基本計画に基づき、スライドを用いて一緒に考える講座を行います。</p> <p>学習内容は、以下の1～5の分野の中から、ご要望に応じて組み合わせることも可能です。</p> <p><環境の「5つの柱」></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地球にやさしく ゼロカーボンって何?地球温暖化を防ぐために、一人ひとりができることについて学びます。 2 資源を大切に 「もったいない」をキーワードとした3Rの取組みや、ごみの現状、食品ロスなどについて学びます。 3 安心・安全な暮らし 市内の騒音や水質などの環境の状況や、私たちの行動がどのような環境に影響を与えるのかについて学びます。 4 自然の恵み 松本市にはどんな自然環境があるでしょうか。生きものの特徴や課題について、わかりやすく学びます。 5 心地よいまち 身近にある緑や心地よい環境、松本らしい街なみを守るための取組みについて学びます。 <p>小学4年生以上</p>
対象	小学4年生以上
時間数	1時間
講師人数	講師1～2名
費用	<p>① 講師謝礼 ・無料</p> <p>② クラス・学年全体に必要なもの ・なし</p> <p>③ 児童個人に必要なもの ・なし</p> <p>学校側に必要な準備 電源の確保、モニター(必須ではありません。)</p> <p>講師からの持ち込み資料等 プロジェクター、スクリーン、PC、配布資料等</p>
講師について	
開催実績	R5年度 源池小4年、安曇小6年、R6年度 島内小6年
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】松本市環境・地域エネルギー課 【担当者名】環境政策担当 【TEL】34-3268(平日8時30分～17時15分のみ対応可) 【© FAX】34-3202 【メール】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp 【住所】〒390-8620 松本市丸の内3-7</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記FAX番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No. 5)
支援事業内容	<p>気象予報士が、地球環境や身近な環境問題について、スライドや教材を用いて講習します。地球環境、異常気象と自然災害、ごみ問題、省エネエネルギー・自然エネルギー、SDGs 等について学べます。</p>  
対象	小学校高学年から中学生まで
時間数	要相談
講師人数	1クラス～1学年に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン (※体育館、講堂などで実施する場合はマイク)
講師からの持込資材等	パソコン、教材
講師について	気象予報士の資格を持ち、市内で地球温暖化防止活動を行う市民団体「エコネットまつもと」の代表を務めています。市の環境審議会委員、県の地球温暖化防止活動推進員等としても活動しています。
開催実績	随時開催 市民向けワークショップ・松本市環境学習講座(エコスクールの)内での講習 平成30年度 明善小 令和2年度 山辺小
その他	「竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり(講座No.13)」、「小水力発電機等による自然エネルギー体験(講座No.19)」と同日実施が可能です。(要相談)
講師連絡先	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】 宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【© FAX】0263-57-5460 【メール】 ruri-5460@ezweb.ne.jp (鈴木) canopus@go.tvm.ne.jp (宮澤) s-kankyo@city.maizumoto.lg.jp (松本市環境・地域エネルギー課) 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan kyojoho/kankyo_kyoiku/econet.html 【住所】—</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記FAX番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	生きものから学ぶ環境学習 (講座 No. 6)
支援事業内容	<p>身近な生き物を含む、いろいろな生き物に見られる不思議、驚き、賢さ、美しさ、面白さ等を、スライドを用いながら楽しく分かりやすく説明させて頂きます。それらについて質問をしながら理解を深める中で、人ととって生物多様性や生き物の棲む環境がいかに大切かを学べる講座となっています。なお、くみ入られる内容に関しましてご要望が御座いましたら、ご相談ください。</p>   
対象	アレジゴク観察の例 小学校4年から中学校まで、特別支援学級
時間	45分、または90分程度(生き物観察を含める事も可; 講座27参照)
講師人数	子ども人数に関係なく講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン、マイク。講義レジメの印刷配布
講師からの持込資材等	パソコン 生き物観察を含む場合、必要物について要、打ち合わせ
講師について	講師は信州大学で30年以上教鞭をとるとともに、現在も非常勤講師を務めています。各種の講演会での講師経験を持ち、毎年、小学生から大人までを対象に県内外で講演させて頂いています。
開催実績あっこう	令和2年度 四賀小学校、田川小学校、鎌田中学校、信明中学校、波田小学校 等 令和3年度 田川小学校、開明小学校 等 令和4年度 四賀小学校、田川小学校、石芝小学校、開明小学校 等 令和5年度 四賀小学校、本郷小学校、源池小学校、筑摩小学校 等 令和6年度 四賀小学校 開智小学校、塩尻市立桔梗小学校
その他	講師は市外の県内、県外で年間10件以上の講演、学習会を行っています。- No.23、27の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】松本ホテル学(まなぶ)会 【担当者名】横山 裕己 【TEL】携帯090-1736-6771(横山) 【FAX】なし 【メール】riders22@camel.plala.or.jp 【HP】https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ 【住所】〒390-0311 松本市水汲25-6</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	梓川大好き！大河の一滴プロジェクトスライドショー (講座 No. 7)
支援事業内容	山&川&水の繋がり、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 奈良井川バリエーションも完成。奈良井川流域の学校もぜひご利用ください。
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級
時間数	1時間程度 (内容によって変動有)
講師人数	子ども30人に講師1名(1クラスor 学校単位で1講師も可能)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし
学校側に必要な準備	スクリーン・プロジェクター
講師からの持込資材等	PC・レスキュー用品など
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーニングツアーなど、地域の地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	【令和6年度実施】 安曇小学校5・6年「犀川ラフティング」3・4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 源池小学校2・4年「薄川リバーアドベンチャー」 大野川小学校1・2・3年「スノーシュー体験」(乗鞍さんぽ) 開智小学校2・3年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」 「大河の一滴スライドショー」他 〃 4年「梓川リバーハイク」 梓川小4年「梓川リバーアドベンチャー」 「水殿ダムラフトピクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 清水小2年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 ※増水により中止 槽川小・中学校「山中に学ぶ」 「川中に学ぶ」 ※増水により中止 日養小2・3年「正沢川リバーアドベンチャー」 「野上川生き物探し」
その他	・No.28、29、30、31の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】リトルピークス【代表者名】小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 【TEL】0263-93-1243/090-3561-5351 【FAX】0263-93-1243 【メール】mine@littlepeaks.jp 【HP】https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】松本市安曇4306-7
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。



【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	学校の地下はどんな？知ろう触ろう 「地下水・井戸・地震」 (講座 No. 8)
支援事業内容	私たちの足元を流れる地下水。普段は意識しませんが、水道や農業・工業など身近なところで利用されています。そんな地下水や地下の地層について、模型や実物を通して触れ合うことができます。 また、地震時の液状化現象の実験や、災害に強い手押しポンプ体験を通して、地震と地下水の関係についても学べる講座です。 本講座内容以外にも、松本城周辺の井戸巡りツアー・圃水軟水飲み比べ・パックテストを利用した水質調査など、各学校の学習内容に合わせた講座内容に調整いたしますので、お気軽にお問い合わせください。
対象	小4から中3まで
時間	90分程度(学習内容によって調整できます)
講師人数	1クラス当たり講師2人、補佐2人 ※少人数グループにも対応いたします
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側に必要な準備	理科室などの外へ出やすい教室の確保・スクリーンまたはモニター
講師からの持込資材等	PC、地質サンプル、地下水模型、手押しポンプ など
講師について	1950年に設立し、70年以上にわたって長野県で井戸掘削を行ってきた会社です。 技術士：3名 地質調査技士：14名 1級さく井技能士：19人在籍
開催実績	令和4年度 豊科北小学校 地下水講座 令和5年度 豊科北小学校、旭町小学校 地下水講座
その他	実施の1カ月前までを目安にお申し込みください。 ※1カ月前を切っても対応可能な場合がありますので、お気軽にご連絡ください。
講師連絡先	【団体名】株式会社サクセン 【担当者名】 鍋持 龍司 【TEL】0263-29-2810 (8時~17時なら連絡可能) 【FAX】0263-25-2215 【メール】educ@sakusen.co.jp 【HP】https://sakusen.co.jp 【住所】〒390-0833 松本市双葉6番1号
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。



【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	セブーン-イレブンとめざす未来～地域や社会と共に～ (講座 No. 9)
支援事業内容	食品ロスおよびプラスチック削減等、環境について学べる講座です。  
対象	小3から中2まで、特別支援学級
時間	約90分程度
講師人数	子ども約100人(1学年)に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき0円(授業1時限毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・アンケート用紙を置く机等 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・筆記用具
学校側で必要な準備	投影用プロジェクター、スクリーン、机(講師台)、マイク、延長コード、HDMIコード類、指示棒(ポインタ)
講師からの持込資材等	スライド、PC、サンブル(可能な場合に限る)、アンケート用紙
講師について	地区の現場責任者およびフィールドカウンセラー
開催実績	令和6年度 川中島小、朝陽小、信州新町小(長野市) 岡田小、中山小(松本市)
その他	事前に授業内容を打ち合わせ及び授業の日程調整をお願いします
講師連絡先	【団体名】セブーン-イレブン・ジャパン 【担当者名】田澤 恵康 【代表者名】 【TEL】0263-35-9491 (午前9時以降なら連絡可能) 【FAX】0263-35-0099 【メール】 tazawa-yoshiyasu@sei.7andi.co.jp 【HP】 https://www.sei.co.jp/company/ 【住所】〒386-0012 松本市中央1-2-25 松田屋本店ビル4階
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	気候変動 大人の責任 (講座 No. 10)
支援事業内容	気候変動の根本的な構造と環境倫理について学べる講座です。  ・なぜここまで気候変動を深刻化させたのか ・気候変動を深刻化させてきたのは誰か ・今のままではどうなるか 以上のようなことを話したうえで、児童・生徒とともに、大人は子どもたちのために何をしたいのかを話し合います
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	45分程度(1時限程度)
講師人数	子ども30人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時限毎)、交通費 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	黒板またはホワイトボード(ともにマグネットが貼り付くもの)
講師からの持込資材等	KPシート(説明に用いるA4サイズの手書きのシート)
講師について	2012年2月設立の任意団体です。[地域にあるものをいかした暮らし]の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。
開催実績	2021～2024年度 教職員を対象としたゼロカーボン研修 富士見町森のオフィスでの環境問題教室講師、その他多数の講師経験
その他	・プログラム実施の2カ月前にはメールで申込連絡をお願いします。 ・No.1,16の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】自然エネルギーネットワーク 【担当者名】平島 安人 【代表者名】平島 安人 【TEL】0266-52-0160 (留守電) 【FAX】0266-52-0160 【メール】 nematsu@gmail.com 【HP】 https://www.enet-matsumoto.net/ 【住所】〒392-0023 諏訪市小和田南9-3
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - きく・みる】

講座名称	デジタル地球儀で学ぶ地球環境問題、地球温暖化問題とゼロカーボン (講座 No. 11)
支援事業内容	 <p>気象予報士が、さまざまな地球環境問題を、デジタル地球儀「スフィア」とスライド、教材等で講習します。地球環境全般、地球温暖化、異常気象と自然災害、自然エネルギー、ゼロカーボン、SDGs等が学べる講座です。</p>
対象	小4から中3まで
時間	40分～1時間程度 (調整可能)
講師人数	講師1人 小人数が適する。1クラス程度 (20～30人程度)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター、スクリーン
講師からの持込資料等	デジタル地球儀一式、パソコン、教材 (パンフレットなど)
講師について	気象予報士。松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと) の代表を務め、イベントや講座等で啓蒙活動を行っています。松本市環境審議会委員、長野県地球温暖化防止活動推進員としても活動しています。
開催実績	松本市あるいはエコネットまつもと主催の環境講座など県内各地の公民館講座 (夏休みなども講座など) 実績多数
その他	講座 No. 5 のデジタル地球儀版となります。少人数向けです。講座 No. 13、19 と同日開催が可能です。
講師連絡先	<p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと)</p> <p>【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】 宮澤 信</p> <p>【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715</p> <p>【© FAX】0263-57-5460</p> <p>【メール】ruri-5460@ezweb.ne.jp (鈴木) canopus@eo.tvm.ne.jp (宮澤)</p> <p>【HP】s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp (松本市環境・地域エネルギー課) https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan kyojohto/kankyo_kyoiku/eoclub/econet.html</p> <p>【住所】—</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。


【分類：校内 - たべる】

講座名称	ぬかくどご飯炊き体験 (講座 No. 12)
支援事業内容	<p>昔ながらの「ぬかくど釜」でご飯を炊き、塩むすびを作って美味しいお米を味わいます。「ぬかくど釜」は、昭和初期に農家で使用されていた「ぬか」=「もみ殻」を使った釜です。</p> <p>炊き上がりまでの時間に、有機米農家によるお米の話や紙芝居等で、お米と水の大切さやぬかくどについて学びます。</p>  
対象	小学3年生以上中学3年生まで、特別支援学校
時間数	2時間程度
講師人数	子ども30人に講師4人程度
費用	<p>① 講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (応相談)</p> <p>② クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・安曇野産無農薬米 6 拵 (おむすび約180個) で7,650円</p> <p>③ 児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資料等	ぬか、釜、クッキングシート、紙芝居、その他の備品
講師について	Iターン者と地域住民との交流による新しいふるさとづくりを目指して2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふるさとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2021年度から子ども達の探究学習支援「ふるさと探究」を実施。2022年度長野県元気づくり支援金活用優良事業として県知事表彰受賞
開催実績	二子小3年、菅野小3年、堀金小3年、豊科北小3年、波田小6年、会田中1年
その他	・No. 33の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団</p> <p>【担当者名】宮崎 崇徳 【代表者名】 望月 彰</p> <p>【TEL】0263-81-1325 (10-17時なら連絡可能)</p> <p>【© FAX】0263-81-1280</p> <p>【©メール】lifepor@nifty.com</p> <p>【HP】http://azumino-furusato.com/ 【住所】〒399-8304 安曇野市穂高柏原 1132-2</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	竹筒と蜜ろうを使ったキャンドルづくり (講座 No. 13)
支援事業内容	竹材を加工・装飾したキャンドルフード、蜜ろう製のろうそくを作りま す。作品は、地球温暖化防止の啓発イベント「キャンドル・ナイト in MATSUMOTO」(6月：松本市美術館、12月：松本駅前) にて展示・点灯します。竹資源の利活用や地球温暖化防止について、作 品づくりを通して楽しく学べます。 
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間数	2～3時間程度
講師人数	子ども5～6人に講師1人
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で 必要な準備	工作室の確保 (※蜜ろうそくを製作する場合は、火気使用可能な教室の確保)
講師からの 持込資材等	竹材、のこぎり、電動ドリル、軍手、蜜ろう、ガスコンロ等
講師について	平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワーク です。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャン ドル・ナイト(6月、12月)」、「打ち水大作戦(8月)」等を行っていま す。
開催実績	令和元年度 梓川小、市民向けワークショップ2回 令和2年度 菅野小 令和3年度 梓川小 令和4年度 梓川小、明善小
その他	・「地球環境問題・地球温暖化問題と自然エネルギー」を学ぶ(講座No.5) と同日実施が可能です。(要相談) ・竹筒キャンドルのみの製作も可能です。 ・No.5、11、19の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク(エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】 宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【© FAX】0263-57-5460 【メール】 ruri-5460@ezweb.ne.jp (鈴木) canopus@eo.tvm.ne.jp (宮澤) s-kankyo@city.matsumoto.lg.jp (松本市環境・地域エネルギー課) 【HP】 https://www.city.matsumoto.nagano.jp/snph/shisei/kan kyo.joho/kankyo_kyoiku/ecocub/econet.html 【住所】
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成した シートを上記 FAX 番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の 打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	自然素材で簡単工作 (講座 No. 14)
支援事業内容	木の輪切りや木の葉を使って簡単な工作をします。ノコギリや小刀など 道具が安全に使えるようになる講座です。 
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45分～90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ・交通費(自家用車) → @37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・工作の材料費 100～200円程度(内容による)
学校側で 必要な準備	工作が実施可能な場所の確保
講師からの 持込資材等	工作に使う道具(のこぎり、小刀など)、自然素材(枝、木の葉)
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出 前講座を行っています。
開催実績	令和元～6年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」 開智小学校「自然素材で簡単工作」 波田小学校「自然体感プログラム」
その他	・No.40、41の講座も提供しています。
講師 連絡先	【団体名】NP0法人わおん 【代表者名】 山田 勇 【担当者名】 山田 勇 【TEL】0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【© FAX】0263-87-4024 【メール】 waon@ppowaon.com 【HP】 http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】〒399-0704 塩尻市広丘郷原 685
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成した シートを上記 FAX 番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の 打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内 - つくる】

講座名称	つくってみよう！ 私たちのまわりの温暖化対策マップ (講座 No. 1 5)	
支援事業内容	<p>身近な地域の環境や人びとの暮らしぶりを SDGs の視点から観察し、地球温暖化との関連で気づいたことをマップ(可視)化して共有し、議論することを通じて、自分たちにとってどのような行動や配慮が必要かを考える講座です。</p>   	
対象	小3から中3まで、特別支援学級(可)	
時間	120分～160分程度	
講師人数	子ども30人に講師1人	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報酬費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・構造紙、付箋(3色)、シール(3色)、マーカー、サインペン、プロジェクター ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>	
学校側で必要な準備	調べさせたいエリアの想定(講師と相談しながら)	
講師からの持込資材等	ノートパソコン、消耗品については講師側で一括手配することも可能	
講師について	<p>2002年発足。①地元での自然エネルギーを活かした地域おこし活動、②参加型アセスメントの推進を両輪に活動している。地球温暖化防止活動環境大臣表彰(2005年度、2013年度)、日本水大賞「未来開拓賞」(2013年度)、佐野市田中正造記念賞(2014年度)など</p>	
開催実績	<p>2023年度 須坂市立豊丘小学校(3～6年生)、中野市立高社中学校(1年生) 2024年度 上田市立第一中学校(2年生)、中野市立高社中学校(1年生)</p>	
その他		
講師連絡先	<p>【団体名】 NPO 地域づくり工房 【担当者名】 中村正樹、傘木宏夫 【代表者名】 傘木宏夫 【TEL】 0261-22-7601 (午前9時～午後5時) 【FAX】 0261-85-8040 【メール】 npo@machi.org 【HP】 https://npo.omachi.org/ 【住所】 〒398-0002 大町市大町 3302</p>	
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX: 32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>	

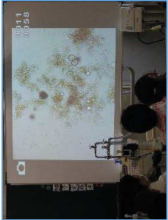

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	木質バイオマスエネルギー利用方法 (講座 No. 1 6)	
支援事業内容	<p>木質バイオマス活用の重要性和活用方法を学びます。ロケットストーブを使って、松ぼっくりや木の枝、竹などの木質バイオマスからエネルギーを取りだす体験をします。</p> 	
対象	小学5年生以上	
時間数	1.5時間～3時間程度	
講師人数	子ども30人に対して講師1人必要(体験型の場合は10人に1人)	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報酬費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・(炊飯を伴う場合) ポリ袋 ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・(炊飯を伴う場合) 米代</p>	
学校側で必要な準備	火を使っても大丈夫な場所の確保	
講師からの持込資材等	体験用の機材一式	
講師について	<p>2012年2月設立の任意団体です。「地域にあるものをいかした暮らし」の追求をポリシーとして活動しています。 講師は、東京工業大学で3年間、信州大学で4年間の非常勤講師を務めた経験があります。</p>	
開催実績	<p>2014～2017年度 会田中学校 木質バイオマス活用 2017年度 清水小学校 防災とバイオマス</p>	
その他	<p>・プログラム実施の2カ月前には、申込の連絡をしてください。 ・No.1、10の講座も提供しています。</p>	
講師連絡先	<p>【団体名】 自然エネルギーネットまつもと 【担当者名】 平島安人 【代表者名】 平島安人 【TEL】 0266-52-0160 (留守電) 【FAX】 0266-52-0160 【メール】 nematsue@gmail.com 【HP】 http://www.enet-matsumoto.net 【住所】 〒392-0023 諏訪市小和田南 9-3</p>	
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX: 32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>	




【分類：校内 - 実験する】

講座名称	あかりの工口教室 (講座 No. 1 7)
支援事業内容	<p>3種類のランプ（白熱灯・蛍光灯・LED）を使った実験で特徴や違いを発見し発表します。ランプのしくみや省エネについて学べる講座です。</p>  
対象	小学校4年生から6年生まで
時間	1時間（45分）
講師人数	子ども40人に講師3名
費用	<p>①講師謝礼 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③原簿個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	スクリーンもしくはモニター・TV・プロジェクター
講師からの持込資材等	手回し発電機・電力測定器（4～5人で1台）
講師について	第9回「キャリア教育アワード」優秀賞 受賞 2023年度環境省グッドライフアワード（実行委員会特別賞） 平成27年 波田小学校6年・平成28年 安曇小学校5・6年 平成29年 鎌田小学校5年・清水小学校4年 令和5年 梓川小学校5年
開催実績	・プログラム実施の3カ月前には申込の連絡をお願いします。
その他	<p>【団体名】 パナソニック(株) エレクトロニックワークス社 松本電材営業所 【代表者名】 増田 真一 【担当者名】 丸山 貴世 【TEL】 0263-27-4501 【Eメール】 maruyama_kivo@jp.panasonic.com 【HP】 https://panasonic.co.jp/ew/company/education/ 【住所】 〒390-0841 松本市渚2-9-45 長野パナソニックビル2階</p> <p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>
講師連絡先	
申込み方法	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	ワクワク下水道教室 (講座 No. 1 8)
支援事業内容	<p>下水道の仕組みについて学べる講座です。 (内容) 1 浄化センターまでの下水の流れ 2 ペットボトルを使った紙の溶け方の実験 3 顕微鏡映像をモニターに映して微生物を観察</p>   <p>社会科学見学で下水の浄化センターに行く前に、予習として利用していただく効果的です。</p>
対象	小学4年生
時間	1時間（1クラス毎）
講師人数	講師2～3名
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・無料 ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③原簿個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	教室の確保（テーブルごとに水道のある理科室または家庭科室等） 電子黒板またはモニターの確保 電源の確保 ペットボトル（500ml キヤップ付き 1人2本）
講師からの持込資材等	顕微鏡カメラセット、パソコン等
講師について	松本市上下水道局 下水道課 宮瀬及び河島浄化センター職員
開催実績	令和4年度 松本市内小学校4校（すべて小学4年生） 令和5年度 松本市内小学校3校 令和6年度 松本市内小学校5校
その他	開催前に機材等の確認を兼ねて打合せをお願いします。（20分程度） 5～7月に社会科学見学の学校が多いため、ご希望の日程に添えない場合があります。
講師連絡先	<p>【団体名】 松本市上下水道局 下水道課 【担当者名】 水質担当 【TEL】 27-4465（平日8時30分～17時15分） 【FAX】 29-0933 【Eメール】 gesui@city.matsumoto.lg.jp 【住所】 〒390-0848 松本市河島3-1（河島浄化センター）</p> <p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>
申込み方法	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	小水力発電機等による自然エネルギー体験 (講座 No. 19)
支援事業内容	<p>可搬式の小水力発電機を使って、水力発電の仕組みを学びます。また、ソーラーカーや発電自転車の試乗体験を通して自然エネルギーについて学びます。</p>   
対象	小学校高学年から中学生まで、特別支援学級
時間数	60分程度
講師人数	子ども30人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で必要な準備	校内の流水 (落差) がある箇所
講師からの持込資材等	可搬式小水力発電機、ソーラーカー、発電自転車
講師について	平成17年に設立された、市内で地球温暖化防止活動を行うネットワークです。構成13団体それぞれの環境保全活動の持ち味を活かし、「キャンドル・ナイト (6月、12月)」、「打ち水大作戦 (8月)」等を行っています。
開催実績	平成18年度～松本市消費生活展への出展 (ソーラーカー、発電自転車の試乗体験) 安曇小
その他	<p>・「地球温暖化問題・地球温暖化問題と自然エネルギーを学ぶ (講座 No. 5)」と同日実施が可能です。(要相談) ・No. 5, 11の講座も提供しています。</p> <p>【団体名】松本市地球温暖化防止市民ネットワーク (エコネットまつもと) 【担当者名】鈴木 喜一郎 【代表者名】 宮澤 信 【TEL】0263-57-5460/080-5109-9715 【© FAX】0263-57-5460 【メール】ruri-5460@ezweb.ne.jp (鈴木) canopus@ko.tvm.ne.jp (宮澤) s-kankyo@city.maizumoto.lg.jp (松本市環境、地球エネルギー課) 【HP】https://www.city.matsumoto.nagano.jp/smph/shisei/kan-kyojo/ho/kankyo_kyoiku/ecoclub/econet.html</p> <p>【住所】—</p> <p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記FAX番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>
講師連絡先	
申込み方法	

【分類：校内 - 実験する】

講座名称	アウトドアから学ぶ防災・災害対策 (講座 No. 20)
支援事業内容	<p>何を失った人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、非常時に身近な物を使って確保する考え方を学ぶ。その中から一番大切な体温保持する方法や火や火を入れる体験をする講座です。</p>  
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人 (2人以上いれれば尚良い)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ (5人以下) で、新聞紙、ビニール袋、カップが必要。着火の道具約1,000円/セット ③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	火を扱うので理科室が適当かと思えます。体温保持に関する資料 (1人1枚) の印刷
講師からの持込資材等	着火の道具などを必要数
講師について	<p>大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。</p>
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度 本郷図書館、公民館講座 平成30年度 塩尻市広丘小 PTA 講演 令和5年度 旭町小
その他	<p>・体験部分は幾つかあるので要相談。飲み水の確保に変更も可能。 ・No. 21, 22, 42の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】すえなみBC防災スクール 【講師名】代表：末次克洋 (すえなみ かつひろ) 【連絡先】同上 【TEL】携帯：090-9122-6032 【FAX】なし 【©メール】k-suenami@wagamama.live.com</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。


【分類：校内 - 実験する】

講座名称	手作りろ過器で飲み水作り（水の循環と森の役割を学ぶ） （講座 No. 2 1）
支援事業内容	<p>飲み水とは？をテーマに、飲める水と飲めない水の違い、地球規模の水の循環、森の役割について解説します。その後、ペットボトルで簡易ろ過器を作り、泥水を濾過する実験をします。</p> 
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人（2人以上いければ尚良い）
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ（5人ほど）に1.5ℓペットボトル2本ずつ、麵棒1本ずつ クラスに燻炭1袋（50ℓ、500円）、砂1袋（20kg500円）、砂利1袋（10kg500円）が必要。 ③児童個人で必要なもの → 【学費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	水を扱うので理科室が最適です。時間を短縮するため、事前にペットボトルの加工をお願いいたします。 泥水を入れるバケツや水を汲むための容器、シャベル。
講師からの持込資材等	
講師について	<p>大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。</p>
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 令和2年度 鎌田小 令和5年度 梓川小 令和6年度 田川小
その他	・No. 20、22、42の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】すえなみBC防災スクール 【講師名】代表：末次克洋（すえなみ かつひろ） 【連絡先】同上 【TEL】携帯：090-9122-6032 【FAX】なし 【Eメール】k-suenami@wagamama.live.com</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。


【分類：校内 - 実験する】

講座名称	着火、焚火体験から学ぶ燃焼の科学 （講座 No. 2 2）
支援事業内容	<p>燃焼に必要な（可燃物、熱、酸素）の話と、様々な着火方法の仕組みを解説します。その後、実際にマッチ、ライター、火打ち石、虫眼鏡、弓きり式火おこしを使った着火体験をする講座です。</p> 
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人（2人以上いければ尚良い）
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ（4人以下）で着火道具1セット/500円、弓きり式火おこし1,000円/セット ③児童個人で必要なもの → 【学費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備	火を扱うので理科室が良いと思います。
講師からの持込資材等	着火道具を必要数
講師について	<p>大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。</p>
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度 本郷図書館、公民館講座 平成30年度 芳川小 令和4年度 島立小
その他	・着火体験の代わりに焚火（片付けまで）体験もできます。 ・No. 20、21、42の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】すえなみBC防災スクール 【講師名】代表：末次克洋（すえなみ かつひろ） 【連絡先】同上 【TEL】携帯：090-9122-6032 【FAX】なし 【Eメール】k-suenami@wagamama.live.com</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。


【分類：校内 - 実験する】


講座名称	<p>校庭の生き物（小動物）を探し、観察、実験してみよう！ (講座 No. 23)</p> <p>校庭の中の生き物を探し観察して生き物や環境について学ぶ講座です。 1. 教室で講座の内容を説明し、次に生き物観察についての解説をします。 2. 生き物の採集：校内には意外とたくさんの昆虫などがいます。これらを見 んなで探し、採集し、教室に持ちかえります。 3. 観察・実験：見つけた生き物を観察・実験します。動き方、習性、面白い 点? いやな点? 不思議な点? 等、感じたこと、考えた事を記録し、描いたり、 語ったりしてもらいます。これらを通して、生き物の嫌いな子、興味を持て ない子にも関心がもてるように指導します。 4. 観察会後「生き物に見られる不思議、面白さ、すごさ」を主題とする講演を します(講演時間：要望で20-60分の範囲)。子どもたちに感想を述べ てもらい、最後には捕まえた生き物は校庭に返します。</p>
支援事業内容	<p>写真左：捕まえた 生き物の観察。 写真右：捕まえた 虫の顕微鏡観察。</p> 
対象	<p>小学校中高学年、中学生(生き物観察会は低学年も可)</p>
時間	<p>1 45分2コマ(通常90分) 2 45分</p>
講師人数	<p>1 1回に対して講師1人必要、補助者1-2名(10人当たり1名) 2 講師1名 補助者2名を予定</p>
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 講師1人につき5,000円(授業1時限毎、通常2時間)計10,000円 補助者1名につき2000円 計2000-4000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 なし</p>
学校側で 必要な準備	<p>1 不要 2 個人の名札、筆記用具、記録用ノート。(可能なら、バット、ピンセット、 虫メガネ、捕虫網と虫かご)</p>
講師からの持込資材等	<p>顕微鏡、実体顕微鏡、バット、図鑑等、捕虫網、虫かご</p>
講師について	<p>応じて対応が可能です。 子ども向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で年20回程度開催してい ます。須坂市内の小学校6年生を対象にはほぼ毎年実施しています。 主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に 応じて対応が可能です。</p>
開催実績	<p>令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等 令和4年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等 令和5年度 四賀小学校、本郷小学校、源池小学校、筑藤小学校 等 令和6年度 四賀小学校、開智小学校、塩原市立桔梗小学校</p>
その他	<p>No.6.27の講座も提供しています。</p>
講師 連絡先	<p>【団体名】松本ホテル学(まなぶ)会 【担当者名】横山 裕己 【TEL】携帯090-1736-6771(横山) 【FAX】なし 【Eメール】riders22@camel.plala.or.jp 【HP】https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ 【住所】〒390-0311 松本市水汲25-6</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシー トを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32- 7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをす る。⑤当日を迎える。</p>


【分類：校外 - 公園等】

講座名称	<p>身近な自然観察 (講座 No. 24)</p> <p>自然の楽しみ方、自然と人や動物と植物のつながりなど、自然保護や 環境保全の考え方を学年に応じ、自然観察から学びとります。 四季折々を楽しむながら、身近な場所の校庭や水辺(小川)、まちな か等で自然観察のガイドを行います。 また、外来植物(外来生物)のお話をすることもできます。 必要に応じて、フィールドに出る前あるいは後に、教室内でのレク ャーを希望される場合は対応いたします。別の日程で組んでいただくこ とも可能です。</p>
支援事業内容	
対象	<p>小学生以上、学年に応じた授業内容を相談しながら内容決定 特別支援学級(要相談)</p>
時間	<p>1 講座で2~2.5時間程度</p>
講師人数	<p>子ども15人に対して講師1人が理想的 (先生と協力して1クラス程度まで)</p>
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(1講座) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・なし</p>
学校側で 必要な準備	<p>申込時・事前の打合せを通じて別途相談</p>
講師からの持込資材等	
講師について	<p>1996年、自然を学び環境を考える仲間と会をつくる。「自然観察から始ま る自然保護」を目指して、自然観察会やボランティア活動などを実践。 自然と人、動物、植物などのつながりや気付きから、自然保護、環境保 全へと展開する環境学習を、大人や子どもと共に学び合っている。</p>
開催実績	<p>平成27年度～令和6年度 今井小学校 身近な自然観察、松本市エコスクール講師 地区公民館、福祉ひろば 自然観察ガイド</p>
その他	<p>上高地パークボランティアとして安曇小中学校に对应</p>
講師 連絡先	<p>【団体名】自然観察の会 ひこばえ 【代表者名】村上さよ子 【担当者名】村上さよ子 【TEL】0263-26-1573 / 090-7204-8140(いつでも連絡可能) 【FAX】0263-26-1573 【Eメール】arupusu0712@docomo.ne.jp 【住所】〒390-0847 松本市笹部3-11-3</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシ ートを上記FAX番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の 打合せをす。⑤当日を迎える。</p>

講座名称	水辺の観察会 (講座 No. 2 5)
支援事業内容	<p>○水辺の生物観察の指導を行います。 ・生物採取の方法を指導し、採取した生物の名称やどんな生き物かを解説します。 ・水生生物の生息状況と、透明度やCODなどの化学的測定をあわせて行い、河川の汚染を解説します。</p>  
対象	小学校1年生～6年生 (学年に合わせた授業を行います。)
時間数	1～1.5 時間
講師人数	子ども 20 人に講師 1 名
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 回分毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p>
学校側で必要な準備	水辺観察会の手引書 (カラーコピーでも可)
講師からの持込資材等	バケツ、バット、手網、透視度計、他
講師について	水辺の自然環境の調査、環境学習、国際協力を実施する団体で主に梓川や松本地域で活動しています。
開催実績	梓川での水辺学習会 田んぼでの生きもの観察会
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】 NPO 法人 えんどっこ 【担当者名】 大月健二 【TEL】 090-4463-5887 【HP】 http://endotuko.web.fc2.com</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。③必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。④当日を迎える。

講座名称	水辺の生物の観察会 (講座 No. 2 6)
支援事業内容	<p>市内の河川などにいる水生生物の採取と観察を行います。実際に川に行き、水生生物の採集を行い、水生生物の種類ごとに分類する等、観察方法を学び、川の面白さについて実感する講座です。 【これまでに実施した学習会のテーマ】 ・日本人の川と水への意識 ・アルプスの水がもたらす恵みと課題 ・里地・里山の森と暮らしと水 ・千曲川水系における水生昆虫類の個体群構造と遺伝的構造 ・松本、伊那盆地におけるトノサマガエル・ダルマガエルの分布と交雑について ・河川繁殖する鳥類への増水の影響と役割 ・トンボ類からみた日本と台湾の繋がりが ・父親が子育てをすすめるコオロギシジミ科昆虫の繁殖生態と系統進化・種分化について ・安曇野の魚と人とのかかわり</p>  
対象	全学年 (学年に合わせた授業を行います)
時間数	3 時間程度
講師人数	子ども 10 人に講師 1 人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・材料費 開催内容による (事前の相談で決定) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・材料費 開催内容による (事前の相談で決定)</p>
学校側で必要な準備	事前講義 (安全等)、網、内面が白色のプラスチック皿、ピンセット、虫めがね (10～20 倍)、バケツ、ノート (スケッチ用紙、画用紙、色鉛筆)
講師からの持込資材等	網類、バット、ピンセット
講師について	身近な川を調べ、地域文化との関係や生き物のすみかとして成立ちを考へ、今後の川の姿に関して提言する団体です。 ・平成 27、28、29、30、令和元年度 田川小学校 ・平成 28 年度 信州大学教育学部附属松本小学校 年間を通して定期的に女鳥羽川を散歩してきた子どもたちが、講師の先生から川の生物の解説を聞いたり、川の生物の見つけ方を教わったりする事を通して、女鳥羽川への関心を更に高めた。 ・令和元年度 安曇小学校、島内小学校 ・令和 3 年度 安曇小学校、中山小学校、田川小学校 ・令和 4 年度 安曇小学校、鎌田小学校 ・令和 5 年度 源池小学校 (松本ほたる学 (まなぶ) 会と共催)
その他	
講師連絡先	<p>【団体名】 川の自然と文化研究所 【担当者名】 美馬純一 【TEL】 090-7017-9943 【FAX】 0263-50-8502 【Eメール】 kawa.shizen.kansatsu@gmail.com</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記 Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師の打合せをする。⑤当日を迎える。

講座名称	水辺の生き物観察から考えよう！ (講座 No. 2 7)
支援事業内容	 <p>身近な川の環境に、どんな生き物がいるかを探し、見つけたものを観察します。身近なものに、予想外にいるいろいろな生き物があることが分かるだけでなく、見つけた生き物についていろいろな疑問がわきます。それらについて考え、子ども達の関心に合わせて、彼らの発する疑問や感想について共に考え、答えを見つけてくれることで子どもたちの学びの楽しさを広げます。自然に関心をもち、積極的に支援します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生き物の採集と観察(校内および川も含め身近な自然の場所。学内ビデオテープでも可)。観察では見つけた生き物について何を感じたか？面白い点は？いやな点は？等、感じたこと、考えたことについて語ってもらいます。これらを通して、生き物に興味を持ってもらった子どもたちにも関心をもてるよう指導します。 2 観察会後「生き物に見られる不思議、面白さ、すごさ」を主題とする講演をします(時間は要望に応じ20-60分の範囲)。最後に、子どもたちに感想を述べてもらいます。 <p>小学校中高学年、中学生(生き物観察会は低学年も可)</p>
対象	小学校中高学年、中学生(生き物観察会は低学年も可)
時間数	1 45分2コマ(通常90分) 2 45分
講師人数	1 1回に対して講師1人必要、補助者1-2名(10人当たり1名) 2 講師1名 補助者2名を予定
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 講師1人につき5,000円(授業1時間毎、通常2時間)計10,000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 なし</p>
学校側で必要な準備	1 不要 2 個人の名札、筆記用具、記録用ノート。(可能なら、バット、ピンセット、虫メガネ 実体顕微鏡)
講師からの持込資材等	顕微鏡、実体顕微鏡、バット、図鑑等
講師について	主講師は小、中、高、大学での講師経験がありますので、学校からの要請に応じて対応が可能です。
開催実績	子ども向けの「生き物観察会」を市内公民館行事等で 令和3年度 四賀小学校、田川小学校、開明小学校 等 令和4年度 四賀小学校、田川小学校、石芝小学校、開明小学校 等 令和5年度 四賀小学校、本郷小学校、源池小学校、筑摩小学校 等 令和6年度 四賀小学校、開智小学校、塩尻市立梧梗小学校
その他	<p>・【団体名】 松本ホテル学(まなぶ)会 ・【担当者名】 横山 裕己 ・【TEL】 携帯090-1736-6771(横山) ・【FAX】 なし ・【Eメール】 riders22@camel.plala.or.jp ・【HP】 https://www.facebook.com/matsumoto.hotaru/ ・【住所】 〒390-0311 松本市水波25-6</p> <p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>
講師連絡先	【代表者名】 藤山静雄
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

講座名称	地元の川大好き！リバーアドベンチャー (講座 No. 2 8)
支援事業内容	 <p>地元で流れる川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます!!どんな川、どこの川でも出張します! 川は山と海をつなぐ血管です。</p>
対象	小1から中3まで、特別支援学級(応相談)
時間数	3時間程度(内容・河川によって変動有)
講師人数	子ども10人に講師1名(内容・河川によって変動有)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥200/参加者(学校保険にて対応可能) ・レンタル料¥500(ヘルメット・ウエットスーツ・ライフジャケットを含む)</p>
学校側で必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウエットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	<p>2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアラー協会。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティーを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、グリーンアップ梓川などの地域貢献活動など、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアラーコンセプトは「風流であれ!アナログであれ!」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。</p> <p>【令和6年度実施】 安曇小学校5・6年「犀川ラフティング」3・4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 源池小学校2、4年「瀧川リバーアドベンチャー」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」(乗鞍さんぽ) 開智小学校2、3年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」 「大河の一滴スライドショー」他 4年「梓川リバーハイイク」 梓川小4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 「水殿ダムラフトビクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 清水小2年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」※増水により中止 榎川小・中学校「山中に学ぶ」 「川中に学ぶ」※増水により中止 日義小2、3年「正沢川リバーアドベンチャー」 「野上川生き物探し」 ・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください! ・No.7、29、30、31の講座も提供しています。</p>
開催実績	<p>梓川小4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 「水殿ダムラフトビクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 清水小2年「女鳥羽川リバーアドベンチャー」※増水により中止 榎川小・中学校「山中に学ぶ」 「川中に学ぶ」※増水により中止 日義小2、3年「正沢川リバーアドベンチャー」 「野上川生き物探し」 ・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでコーディネートいたします。まずはお気軽にご要望をお聞かせください! ・No.7、29、30、31の講座も提供しています。</p>
その他	<p>・【団体名】 リトルビークス【代表者名】小峰邦良 ・【担当者名】 小峰邦良 ・【TEL】 0263-93-1243 / 090-3561-5351【FAX】 0263-93-1243 ・【Eメール】 mine@litttlepeaks.jp ・【HP】 https://www.litttlepeaks.jp/</p> <p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>
講師連絡先	【代表者名】 小峰邦良
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

講座名称	梓川 & 奈良井川 & 犀川ラフティング (講座 No. 2 9)
支援事業内容	川の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 川からの眺めは、流域の人々の生活を覗けます。仲間と共にパドルをこぎ、ゴールを目指す。より地元の水を知り、身近な存在になること間違いなし。
対象	小学1年生から中学3年生まで、特別支援学級 (応相談)
時間数	3時間程度 (内容・河川によって変動有)
講師人数	子ども7人に講師1名 (内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者 (学校保険にて対応可能) ・レンタル料金¥500 (ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)
学校側に必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアラー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリューンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアラーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	【令和6年度実施】 安曇小学校5・6年「犀川ラフティング」3・4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 源池小学校2・4年「薄川リバーアドベンチャー」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」(乗鞍さんぽ) 開智小学校2、3年「女鳥羽リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」「大河の一滴スライドショー」他 〃 4年「梓川リバーハイク」 梓川小4年「梓川リバーアドベンチャー」[大河の一滴スライドショー] 「水殿ダムラフトピクニック」[乗鞍スノーアドベンチャー] 清水小2年「女鳥羽リバーアドベンチャー」※増水により中止 榎川小・中学校「山中に学ぶ」[川中に学ぶ]※増水により中止 日義小2、3年「正沢川リバーアドベンチャー」[野上川生き物探し] ・梓川だけでなく、身近な川での体験も喜んでください！ ・梓川だけではなく、身近な川での体験も喜んでください！ ・梓川だけではなく、身近な川での体験も喜んでください！
その他	【令和6年度実施】 安曇小学校5・6年「犀川ラフティング」3・4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 源池小学校2、4年「薄川リバーアドベンチャー」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」(乗鞍さんぽ) 開智小学校2、3年「女鳥羽リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」「大河の一滴スライドショー」他 〃 4年「梓川リバーハイク」 梓川小4年「梓川リバーアドベンチャー」[大河の一滴スライドショー] 「水殿ダムラフトピクニック」[乗鞍スノーアドベンチャー] 清水小2年「女鳥羽リバーアドベンチャー」※増水により中止 榎川小・中学校「山中に学ぶ」[川中に学ぶ]※増水により中止 日義小2、3年「正沢川リバーアドベンチャー」[野上川生き物探し] ご紹介したプログラム (No.7、28、29、31) を繋ぐことで山・川・水を源流から河口までアクティビティで繋ぐことが実現！是非ともご体験ください。まずはお気軽にお電話でもご要望をお聞かせください！！
講師連絡先	【団体名】リトルピークス (代表者名) 小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 TEL 0263-93-1243 / 090-3561-5351 FAX 0263-93-1243 【メール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】松本市安曇4306-7
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

講座名称	水殿ダムラフトピクニック (ダム見学付き) (講座 No. 3 0)
支援事業内容	川&水の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 自分たちの上流で今何が起きているのか？これからのダムとの付き合い方。水害対策など。水遊びしながら本質に迫ります。
対象	小1から中3まで、特別支援学級 (応相談)
時間数	3時間程度 (内容によって変動有)
講師人数	子ども7人に講師1名 (内容・河川によって変動有)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥350/参加者 (学校保険にて対応可能) ・レンタル料金¥500 (ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケットを含む)
学校側に必要な準備	プロジェクター・水着・運動靴・飲み物など
講師からの持込資材等	ヘルメット・ウェットスーツ・ライフジャケット・PC・レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアラー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリューンアップ梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるプログラムを展開中。ガイド&ツアラーコンセプトは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	【令和6年度実施】 安曇小学校5・6年「犀川ラフティング」3・4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 源池小学校2、4年「薄川リバーアドベンチャー」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」(乗鞍さんぽ) 開智小学校2、3年「女鳥羽リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」「大河の一滴スライドショー」他 〃 4年「梓川リバーハイク」 梓川小4年「梓川リバーアドベンチャー」[大河の一滴スライドショー] 「水殿ダムラフトピクニック」[乗鞍スノーアドベンチャー] 清水小2年「女鳥羽リバーアドベンチャー」※増水により中止 榎川小・中学校「山中に学ぶ」[川中に学ぶ]※増水により中止 日義小2、3年「正沢川リバーアドベンチャー」[野上川生き物探し] ご紹介したプログラム (No.7、28、29、31) を繋ぐことで山・川・水を源流から河口までアクティビティで繋ぐことが実現！是非ともご体験ください。まずはお気軽にお電話でもご要望をお聞かせください！！
その他	【団体名】リトルピークス (代表者名) 小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 TEL 0263-93-1243 / 090-3561-5351 FAX 0263-93-1243 【メール】 mine@littlepeaks.jp 【HP】 https://www.littlepeaks.jp/ 【住所】松本市安曇4306-7
講師連絡先	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校外 - 山】

講座名称	地元の山が100倍好きになる登山学 (講座 No. 3 1)
支援事業内容	山の楽しさ、大切さ、危険性、成り立ち、現状が学べます！！ 今期のテーマは、登山から「有限」を学ぶ。 時間も空気も水、食べものも… 意識することで明日からの生活が変わる！
対象	小1から中3まで、特別支援学級（応相談）
時間	半日～一日程度（内容・山域によって変動有）
講師人数	子ども10人に講師1名（内容・河川によって変動有）
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・特になし ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・保険料¥200/参加者（学校保険にて対応可能）
学校側で必要な準備	登山に必要な資機材・昼食・飲み物など
講師からの持込資材等	レスキュー用品・ファーストエイドなど
講師について	2014年12月に松本市安曇に産声を上げたアウトドアガイド&ツアー会社。登山ガイド、沢登り、ラフティング、スノーシューなどのアクティビティを中心に、各種安全講習会、子ども冒険キャンプ、クリーニング、梓川などの地域貢献活動などと、松本の大自然を春夏秋冬365日全身で感じられるブログラムを展開中。ガイド&ツアーコンセプツは「風流であれ！アナログであれ！！」。松本を愛する個性豊かなメンバーでお待ちしております。
開催実績	【令和6年度実施】 安曇小学校5・6年「犀川ラフティング」3・4年「梓川リバーアドベンチャー」 「大河の一滴スライドショー」 源池小学校2、4年「薄川リバーアドベンチャー」 大野川小学校1、2、3年「スノーシュー体験」 「乗鞍さんぽ」 開野川小学校2、3年「女鳥羽リバーアドベンチャー」 波田小学校3年「上高地環境学習」「大河の一滴スライドショー」他 〃 4年「梓川リバーハイク」 梓川小4年「梓川リバーアドベンチャー」「大河の一滴スライドショー」 「水鏡ダムラフトピクニック」 「乗鞍スノーアドベンチャー」 清水小2年「女鳥羽リバーアドベンチャー」※増水により中止 樽川小・中学校「山中に学ぶ」 「川中に学ぶ」※増水により中止 日義小2、3年「正沢川リバーアドベンチャー」 「野上川生き物探し」 ・乗鞍岳に留まらず、皆様のお近くに暮らす身近な山での体験も喜んでコーディネートいたします。昨今学校登山での事故やトラブルが増えております。是非ともご不安な場合はプロの山ガイドにお任せ頂けると幸いです。まずはお気軽にお電話でもメールでもご要望をお聞かせください！！
その他	・No.7、28、29、30の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】リトルピークス【代表者名】小峰邦良 【担当者名】小峰邦良 TEL 0263-93-1243 / 090-3561-5351 FAX 0263-93-1243 mine@littlpeaks.jp HP https://www.littlpeaks.jp/ 【住所】安曇4306-7
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。



【分類：校外 - 山】

講座名称	里山ってどんなところ？林業ってどんな仕事？（講座No.32）
支援事業内容	山・森・木について、体験を伴って学べる講座です。 ・様々な特色を持ったヤマト牧場周辺の里山の景色を観察しながら、山、森、木、そして林業について学びます。 ・伐採の見学、除伐体験、馬糞の見学、里山の木材を使った木工体験などの活動を通して、山や森、木についての理解を深めます。 *実施場所や時間、対象年齢によって内容は異なります。
対象	小1から中3まで、特別支援学級
時間	半日～一日分程度
講師人数	子ども10人に講師1人 (小学校低学年や特別支援学級の場合は、子ども6～7人に講師1人)
費用	①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円（授業1時間毎） ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・その都度、内容に応じて異なります。 ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・その都度、内容に応じて異なります。
学校側で必要な準備	その都度、内容に応じて異なります。
講師からの持込資材等	その都度、内容に応じて異なります。
講師について	
開催実績	令和4年度 旭町小学校、安曇小学校、女鳥羽中学校（校内） 令和5年度 岡田小学校、女鳥羽中学校、長野県立松本盲学校 令和6年度 三郷小学校、女鳥羽中学校、長野県立松本盲学校
その他	
講師連絡先	【団体名】株式会社柳沢林業 【担当者名】田島政樹【代表者名】原薫 TEL 0263-87-5361（8時15分以降なら連絡可能） FAX 0263-87-5362 【メール】info@yanagisawa-ringyo.jp 【HP】http://yanagisawa-ringyo.jp/ 【住所】〒390-0313 松本市岡田下岡田774-1
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当（FAX：32-7604）に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校外 - 特定の場所・その他】

講座名称	謎解きウォーク体験 (講座 No. 3 3)
支援事業内容	地域の地形、歴史、文化の謎を解きながらまちを歩き、探索型謎解きウォークラリー体験。1 班 5~6 人+講師で探偵団を編成し、地図を見ながらポイントを探してミッションに記された謎を解く。 ウォークラリー終了後に学校に戻り、班毎のワークシヨップでフィールドワークの成果をまとめて発表。  
対象	小学3年生以上中学3年生まで、特別支援学校
時間数	3時間程度
講師人数	生徒5~6人に講師1人程度
費用	① 講師謝礼 → 【報償費】 ・生徒1人につき1,000円 (応相談) ② クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし ③ 児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・なし
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師からの持込資材等	マップ、ワークシート、解説用フリップその他備品
講師について	I タウン者と地域住民との交流による新しいいふさきとづくりを目指して2006年に設立。2007年度から自然、歴史、文化を学びながら歩く「ふさきとウォッチング」、2015年度から地域ガイド育成講座「案内人の教室」、2021年度から子ども達の探究学習支援「ふさきと探究」を実施。2022年度長野県元気づくり支援金活用優良事業として県知事表彰受賞
開催実績	堀金小3年、豊科東小3年、豊科東小4年、梓川小6年、武蔵野大中1年
その他	・No.12の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 【担当者名】 宮崎 崇徳 【代表者名】 望月 彰 【TEL】 0263-81-1325 (10-17時なら連絡可能) 【FAX】 0263-81-1280 【Eメール】 lifeport@nifty.com 【HP】 http://azumi-no-furusato.com/ 【住所】 〒399-8304 安曇野市穂高柏原 1132-2
申込み方法	① 学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。② 作成したシートを上記EメールまたはFAX番号に送付する。③ 同じものを教育文化センター担当講師へ送付する。④ 必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤ 当日を迎える。

【分類：校外 - 特定の場所・その他】

講座名称	手植えでの田植え・手刈りでの稲刈り・はぜかけ 精米工場の見学と、流通、循環について (講座 No. 3 4)
支援事業内容	お米について学べる講座です。 年間を通じてお米の肌ヌカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生みの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は5月~9月が活動時期です。精米工場の見学は年中できます。学校や近隣に出向き、農業体験や自然体験等の講座を実施することも可能です。  
対象	小学1年生から中学3年生の児童・生徒 (特別支援学校含む)
時間数	90~110分程度 (2時間程度) 年間3回程度
講師人数	子ども15人程度に講師1名目安
費用	① 講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) +交通費相当2,000円 ② クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代、実習用資材使用代等 (応相談) ③ 児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・資料代、実習用資材使用代等 (応相談)
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	田植え、稲刈りに必要な資材
講師について	いきものみつけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度~令和5年度 主催事業で実施
その他	・主にグリーンシーズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月目安にはしています。 ・No.35、36の講座も提供しています。
講師連絡先	【団体名】 いきものみつけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】 事務局担当 藤村哲 【代表者名】 会長 降旗 一路 【TEL】 090-2219-2457 (9時~19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市寿北 9-7-17
申込み方法	① 学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。② 作成したシートを上記Eメールに送付する。③ 同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④ 必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤ 当日を迎える。

【分類：校内外両方で可】

講座名称	いきもの探しと観察及び環境教育講座 (講座 No. 3 5)
支援事業内容	<p>身近にある自然と環境について学べる講座です。生き物を観察する活動は5月～9月が活動時期の目安です。学校や近隣に外向き、自然体験などの講座を実施することも可能です。</p> 
対象	小1から中3までの児童・生徒 (特別支援学級含む)
時間数	90～110分程度 (2時限程度)
講師人数	子ども15人に講師1名が目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) +交通費相当1,000円程度 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習用資材使用料金 (応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習用資材使用料金 (応相談)</p>
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	自然体験・環境教育学習に必要な資材
講師について	いきものみっけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成27年度～30年度 菅野小 令和元年度 安曇小 令和5、6年度 源池小
その他	<p>主にグリーンシズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。 ・No. 34、36の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみっけファーム in 松本推進協議会 【代表者名】会長 降旗一路 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>

【分類：校内外両方で可】

講座名称	プランター菜園講座 (講座 No. 3 6)
支援事業内容	<p>年間を通じてお米の肌スカ(米の精)を使用した農法の実演と体験により、土壌を豊かにする健康な作物作りと生きものの溢れる農地作りを行い、その場所を環境学習に使用しています。作物を育てる活動は5月～9月が活動時期の目安です。学校や近隣に外向き、農業体験の講座を実施することが可能です。</p> 
対象	小学1年生から中学3年生まで児童・生徒 (特別支援学級含む)
時間数	90～110分程度 (2時限程度)
講師人数	子ども30人に対し1人以上の講師
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円 (授業1時限毎) +交通費相当1,000円 ②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・プランター、苗代、肥料代等 (応相談) ③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・応相談</p>
学校側で必要な準備	児童・生徒の持ち物(屋外実習できる)の指導
講師からの持込資材等	申込時・事前の打合せを通じて別途相談
講師について	いきものみっけファーム in 松本推進協議会には、産官学民の様々な立場、能力を持つメンバーがおり、多様なプログラム提供が可能です。
開催実績	平成25年度～令和6年度 主催事業で実施
その他	<p>主にグリーンシズン(4月から12月)の開催で、事前打ち合わせを開催1か月前目安にはしたいです。 ・No. 34、35の講座も提供しています。</p>
講師連絡先	<p>【団体名】いきものみっけファーム in 松本推進協議会 【担当者名】事務局担当 藤村哲 【代表者名】会長 降旗一路 【TEL】090-2219-2457 (9時～19時連絡可能) 【FAX】0263-88-7595 【Eメール】ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】松本市寿北9-7-17</p>
申込み方法	<p>①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。</p>

【分類：校外内両方で可】

講座名称	体験！体感！外あそび！！ (講座 No. 3 7)	
支援事業内容	<p>1 火起こし教室～舞切り式、古代から現代の人と火の繋がり マツ、ラビ、新聞を使わない火の起し方、育て方等 (燻製、保存食の知恵)</p> <p>2 ネイチャージャーゲーム、アイスブレイクゲーム、各種</p> <p>3 木育体験…森のかけらのお守り作り (バングラント、ストラップ)</p> <p>4 ツリーハウス/秘密基地造り</p> <p>5 その他松柱れ、湧水等地域探検、自然観察</p>	   
対象	小学生全学年：プログラムにより個別にご相談	火起こし器
時間数	2 時間分 (80～90分)～3 時間分 (120分)	
講師人数	※移動時間含まず遠隔地や校外学習可、別途ご相談 子ども 30 人に対して 3～4 人の講師	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・材料費等は別途 (事前打ち合わせのうえ決定します。)</p> <p>③原簿個人で必要なもの → 【学年費等】 ・材料費等は別途 (事前相談のうえ決定します。)</p>	
学校側で必要な準備	基本的には学校で準備頂くものは有りません。	
講師からの持込資材等	火起こし用具のセット、燻製用具のセット、ツリーハウス、ネイチャージャーゲーム等、体験に必要な機材一式	
講師について	四賀地区中川の、廃校小学校 (旧中川小学校) 活用について、平成 25 年松本市が募集したプロポザル事業へ応募を行い採択され、平成 26 年 4 月より活動運営開始。 現在出前 (出張による) プログラム企画、運営) をメインに活動中です。公民館、児童会の主催する外あそび体験学習、小学校の総合学習支援参加、民間運営のキャンプ支援等に参加しています。	
開催実績	令和 4 年度 梓川小学校：人と火の繋がり/ネイチャージャーゲーム/燻製試食 令和 5 年度 梓川公民館：人と火の繋がり/ネイチャージャーゲーム/燻製試食 令和 5 年度 梓川小中学校：人と火の繋がり/ネイチャージャーゲーム/燻製試食 令和 5 年度 梓川小学校：人と火の繋がり/ネイチャージャーゲーム/燻製試食 令和 6 年度 梓川小中学校：人と火の繋がり/ネイチャージャーゲーム/燻製試食	
その他	ツリーハウスキャンプ、冒険くらぶ支援、公民館、育成会等地域体験活動企画運営	
講師連絡先	<p>【団体名】 信州やがたいけん楽校ぶらす 【担当者名】 降幡光幸 【TEL】 090-3042-0744 (随時連絡可能) 【FAX】 0263-87-2038 【Eメール】 m.furiga.tlc2010@way.ocn.ne.jp 【HP】 http://yt-plus.com/ 【ブログ】 http://yt-plus.blogspot.jp/ 【住所】 〒390-0315 松本市岡田町 630-6</p>	
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記 Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。	

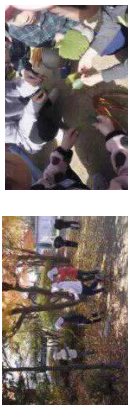
【分類：校外内両方で可】

講座名称	体験して学ぶ「自然や環境」について (講座 No. 3 8)	
支援事業内容	<p>自然と環境について学べる講座です。プロジェクトWILDなど体験型環境教育プログラムを通じて、児童・生徒に身近な自然や、環境について学びと気づきを得ていただけます。これまで県内の小中学校や環境イベントなどで披露した実績もあります。</p>	  
対象	小1から中3までの児童・生徒、特別支援学級も対応可能	
時間数	45～100 分程度	
講師人数	子ども 15 人に講師 1 名目安	
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師 1 人につき 5,000 円 (授業 1 時間毎)</p> <p>②クラス・学年全体で必要なもの → 【消耗品費】 ・資料代金、実習資材 (必要な場合) の代金 (応相談)</p> <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】 ・資料代金、実習資材 (必要な場合) の代金 (応相談)</p>	
学校側で必要な準備	打ち合わせ時に確認	
講師からの持込資材等	同上	
講師について	自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで 8 年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。	
開催実績	平成 29～令和 2 年度 波田小学校 平成 29～令和元年度 松島中学校 平成 30 年 10 月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和 2 年度 安曇小学校 令和元年度～6 年度 波田小学校特別支援学級	
その他	・No.39 の講座も提供しています。	
講師連絡先	<p>【団体名】 体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (9 時～19 時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【Eメール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市波田 4507-3</p>	
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記 Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当 (FAX: 32-7604) に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。	

【分類：校内外両方可】

講座名称	火おこしと簡単な野外料理、農業体験 (講座 No. 3 9)
支援事業内容	<p>自然体験と農業について学べる講座です。身近にある田んぼや畑での仕事を児童・生徒に体験してもらおうことができます。また、キャンプなどで活用できる火熾しや、野外調理についてそのやり方を知ることができます。</p> 
対象	小1から中3までの児童・生徒 (特別支援学級対応可能)
時間数	45～100分程度
講師人数	子ども10人に講師1名目安
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習器材1,000円程度 (事前相談のうえ決定します。) <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料費1人約300円 (事前相談のうえ決定します。)
学校側で必要な準備	打ち合わせ時に確認
講師からの持込資材等	同上
講師について	自然体験と環境教育の指導者資格を複数保有。これまで9年間以上毎年松本市内の小中学校で指導経験あり。民間イベントでの講座実施経験も多数あります。代表を務める団体で、自然体験・農業体験・各種講習会を年間多数実施しています。
開催実績	<p>平成29年度 田川小学校 平成29～令和元年度 波田小学校 平成29～令和元年度 松島中学校 平成30年10月「安曇野環境フェア」イベント講師 令和2年度 菅野小学校</p>
その他	・No.38の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】体験創庫かけはし 【代表者名】 藤村哲 【担当者名】 藤村哲 【TEL】 090-2219-2457 (10時～19時連絡可能) 【FAX】 0263-88-7595 【メール】 ts_kakehashi@yahoo.co.jp 【住所】 松本市西4507-3</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校内外両方可】

講座名称	自然体感プログラム (講座 No. 4 0)
支援事業内容	<p>学校の校庭など身近な自然を遊びながら観察し、心と身体で自然を感じます。発見や気づきを大切に、「自然を見る目」を育てることができる講座です。</p> 
対象	学年に合わせた内容で実施可能、特別支援学級
時間数	45～90分程度 (希望時間に応じたプログラムを実施することもできます。)
講師人数	子ども20人に講師1人
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師1人につき5,000円 (授業1時間毎) ・交通費2日分 (下見・当日) →@37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復×2日分 (下見・当日) <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし <p>③児童個人で必要なもの → 【学年費等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なし
学校側で必要な準備	申込時・事前の打合せを通じて別途相談 (基本的には特にありません。)
講師からの持込資材等	プログラムに使用する備品
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出張講座を行っています。
開催実績	<p>令和元～6年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」 開智小学校「自然素材で簡単工作」 波田小学校「自然体感プログラム」</p>
その他	・No.14、41の講座も提供しています。
講師連絡先	<p>【団体名】NP0法人わおん 【代表者名】 山田 勇 【担当者名】 山田 勇 【TEL】 0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能) 【FAX】 0263-87-4024 【メール】 waon@powaon.com 【HP】 http://waon.naganoblog.jp/ 【住所】 〒399-0704 塩尻市広丘郷原 685</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記FAX番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校外外両方で可】

講座名称	外あそびの達人講座 (講座 No. 4 1)
支援事業内容	<p>【ロープワーク】ロープの基本的な結び方、ロープの活用方法を実践から学ぶことが出来ます。木があれば、ハンモックや基地づくりができます。</p> <p>【たき火】火のつけ方から始末の方法まで、実践から学ぶことが出来ます。たき火は、たき火台を使って行います。</p> 
対象	小学校1年生～中学校3年生、特別支援学級
時間数	45分～90分程度
講師人数	子ども15人に講師1人 (安全確保の観点から、最低2名での実施を希望します。)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎) ・交通費(自家用車) →@37円/km×(以下住所から学校までの距離)×2往復</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・なし</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・食料費(たき火で焼いて食べたい物があれば)</p>
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	たき火が実施可能な場所の確保(たき火の場合) ロープ、ハンモック、たき火台、たき火に必要な道具
講師について	塩尻市を拠点に、自然体験活動を実施している法人です。 小学生を対象にした年間の自然体験活動や、保育園、児童館などへの出張講座を行っています。
開催実績	令和元～6年度 安曇小学校、菅野小学校、並柳小学校 「自然体感プログラム」 菅野小学校、波田小学校、二子小学校 「自然素材で簡単工作」 大野川小学校、開明小学校「外あそびの達人講座」 安曇小学校「上高地探検・陸編」 開智小学校「自然素材で簡単工作」 波田小学校「自然体感プログラム」
その他	<ul style="list-style-type: none"> 希望があれば、校外でも実施できます。 ロープとたき火のどちらかを選んでいただくこともできますし、時間によっては両方実施することもできます。 No.14、40の講座も提供しています。
講師 連絡先	<p>【団体名】 NPO法人わおん 【代表者名】 山田 勇</p> <p>【担当者名】 山田 勇</p> <p>TEL) 0263-87-3005 (朝9時以降なら連絡可能)</p> <p>◎ FAX) 0263-87-4024</p> <p>メール) waon@powaon.com</p> <p>H P) http://waon.naganoblog.jp</p> <p>住所) 〒399-0704 塩尻市広丘郷原685</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記FAX番号に送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

【分類：校外外両方で可】

講座名称	キャンプ・野外生活 基礎 (講座 No. 4 2)
支援事業内容	<p>何を失ったら人は生きていけないのか。生きていく為に最低限必要な要素を知り、野外において確保する考え方を学ぶ。その中で一番大切な体温保持するシェルター(雨風を防ぐもの)作りを体験する講座です。</p> 
対象	小4から中3まで、特別支援学級
時間	2時間程度
講師人数	1クラスに講師1人(2人以上いれれば尚良い)
費用	<p>①講師謝礼 → 【報償費】 ・講師1人につき5,000円(授業1時間毎)</p> <p>②クラス・学年全体に必要なもの → 【消耗品費】 ・1グループ(5人以下)で、タープ(1)、ロープ(4)、ペグ(4)、ハンマー(1)、ポール(2)が必要。レンタル代1,000円/セット</p> <p>③児童個人に必要なもの → 【学年費等】 ・特になし</p>
学校側で必要な準備 講師からの持込資材等	屋内で座学とロープワークを学び、屋外でシェルターを作ります。 体温保持に関する資料(1人1枚)の印刷 タープ、ロープ、ペグ、ハンマー、ポールを必要数
講師について	大人が楽しむアウトドアサバイバル学校の運営。 ○里山を舞台に、年間を通じて、大人向けのアウトドア教室を運営しています。 ○学校や自治体での出張講師、企業様での防災・災害対策研修を提供しています。
開催実績	平成30年度、31年度 鎌田児童センター 平成30年度 本郷図書館、公民館講座 平成30年度 芳川小学校
その他	<ul style="list-style-type: none"> No.20、21、22の講座も提供しています。
講師 連絡先	<p>【団体名】 すえなみBC 防災スクール</p> <p>【講師名】 代表：末次克洋(すえなみ かつひろ)</p> <p>【連絡先】 同上</p> <p>【TEL】 携帯：090-9122-6032</p> <p>【FAX】 なし</p> <p>【メール】 k-suenami@wagamama.live.com</p>
申込み方法	①学校から講師へ連絡し、申込書兼打合せシートを作成する。②作成したシートを上記Eメールに送付する。③同じものを教育文化センター担当(FAX:32-7604)に送付する。④必要に応じて、学校と講師で、開催前の打合せをする。⑤当日を迎える。

環境学習の活動内容や支援する団体等が検索できるWEBサイト

中信地区環境教育ネットワークによる

信州の環境学習サポートサイト

どんな環境学習
プログラムがあるかな？
どんな活動を
していきたいかな？
ぜひ、ご活用ください！



信州の環境学習サポートの目的

- 環境学習の実践例を示し、環境学習の面白さや効果を伝えます。
- 中信地域の学校や地域で環境学習が実施できるよう支援団体や窓口を紹介します。
- 良質な環境学習の体験プログラムを紹介します。
- 環境学習が未来の希望となるよう、関係者が協力して環境体験学習の内容の向上と学習提供システムの整備に努めます。

作成/運営

中信地区環境教育ネットワーク

URL <http://www.econoschool.org/>

信州の環境学習

検索



【附録】松本市環境エネルギー部からのお知らせ

1 食品ロスをテーマとした環境教育（小学生向け）

本市では、小さいころから「もったいない」という意識を持ってもらうため、市内全小学校3年生対象に食品ロスをテーマとした出前講座を行っています。

食品ロスをテーマとした環境教育にご興味があればぜひご相談ください。

パワーポイント等を用いた学習のほか、歌・すごろく・DVD教材など、さまざまコンテンツをご用意しています。



◇食品ロスすごろくのご紹介◇

食べものが収穫されるまで・購入されるまで・料理するまで・食べるまでに、それぞれどんな食品ロスがあるのか、減らしていくためにはどうすればいいかを楽しく学べるすごろくです。必要部数を印刷してお渡しすることもできます。
※対象：小学校3年生以上



2 温暖化対策ワークシート（5・6年生向け）の実施について

子どもたちがワークシートを通して地球温暖化問題について知り、家庭や学校で節電・節水等を実践することにより、温暖化対策・省エネルギーに対する意識の醸成を図るものです。

<ワークシート（A3両面印刷・二つ折り）の構成>

① 知る・考える

現代のライフスタイル、化石燃料、省エネ等について

② 行動する

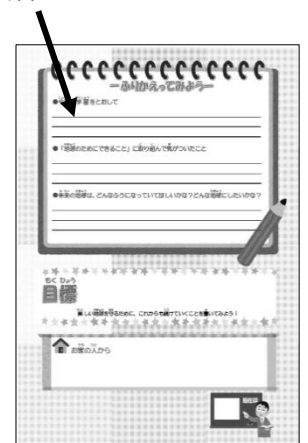
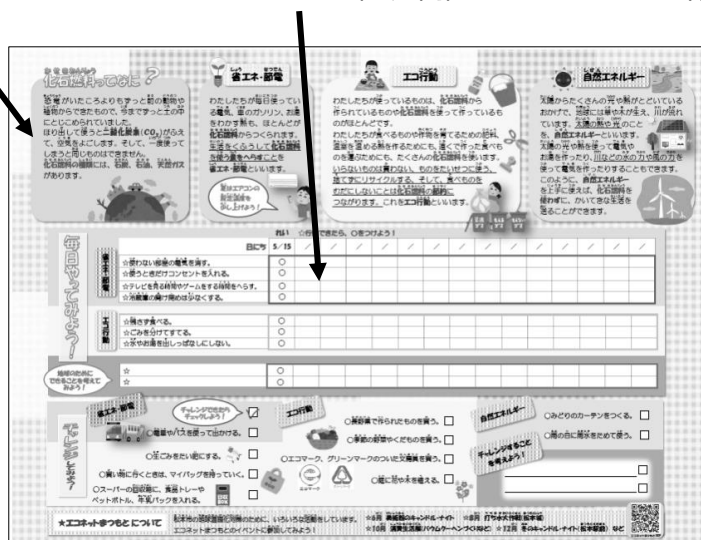
省エネ・エコ行動の実践、チェック（2週間）

③ 振り返る

最後に感想等を記入し、保護者からコメントをもらう。



表紙



裏表紙

☆実施希望の場合は、環境・地域エネルギー課までご連絡ください。必要部数をカラー印刷してお届けします。

年会費
登録料無料



3 全国ネットワーク「こどもエコクラブ」への参加について

○こどもエコクラブとは？

環境省事業として平成7年度に発足した「こどもエコクラブ」は、公益財団法人 日本環境協会が引き継ぎ、実施しているもので、地域における子どもたちの自主的な環境学習や実践活動を支援するものです。

○こどもエコクラブって何をするの？（登録から活動までの流れ）

一緒に活動する仲間（3歳～18歳）と、活動を支える大人（20歳以上）を集めてクラブをつくり、登録します（家族でも可）。

子どもたちの興味や関心に基づき、自然観察・調査やリサイクル活動、地球温暖化を防ぐ活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる「地球にやさしい活動」に自由に取組みましょう。

活動を報告すると、アーススタンプと専門の先生からのアドバイスがもらえます。アーススタンプを5個集めるとアースレンジャー認定証を授与！また継続して活動すると3年で銀バッジ、6年で金バッジがもらえます。

○登録すると、活動に役立つツールがもらえます！

希望に応じてメンバーズバッジやエコカード（幼児対象）がもらえます。ウェブサイトからメンバー手帳等をダウンロードして使用することもできます。

また、わかりやすい環境情報や取り組みやすい環境活動・学習プログラム、他のクラブの活動の様子などを掲載したメールマガジンが無料で提供されるなどの特典があります。



○活動をはじめするには・・・

こどもエコクラブウェブサイトから直接登録ができますので、興味がありましたら以下の URL からホームページにアクセスしてみてください。

【こどもエコクラブ URL】 <http://www.j-ecoclub.jp>

令和7年度
松本市小中学校
環境教育支援事業報告書

発行 松本市
〒390-8620
松本市丸の内3番7号
電話 0263-34-3268
E-mail kankyo_kyoiku@city.matsumoto.lg.jp
編集 松本市環境エネルギー部
環境・地域エネルギー課
協力 中信地区環境教育ネットワーク
印刷 庁内印刷

